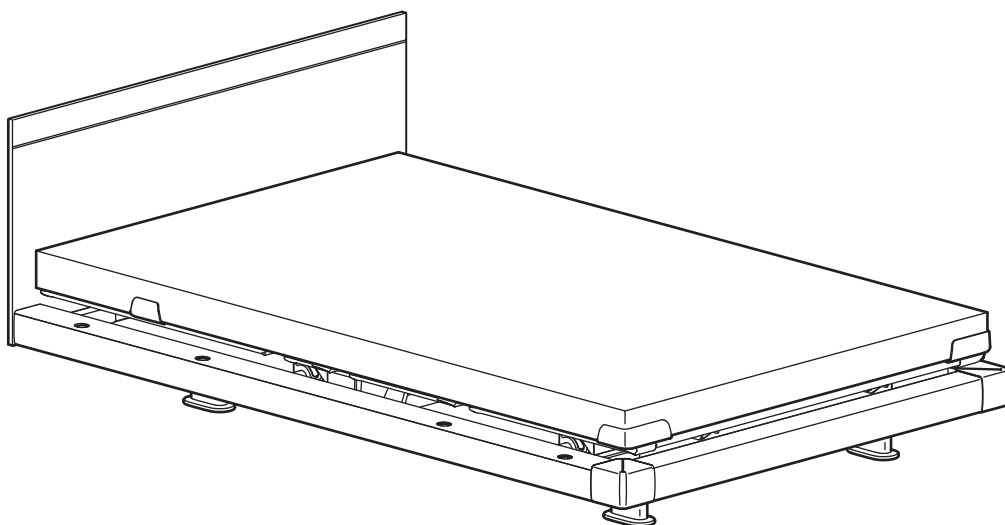


電動リモートコントロールベッド
INTIME 1000シリーズ
セミダブル



※イラストは別売のマットレスを載せた状態です

このたびは、INTIME 1000シリーズをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- ベッドをお使いになる前に、「取扱説明書」を必ずお読みいただき、正しく安全にご使用ください。
- お読みになった後も、いつでも見られる場所に「取扱説明書」を保管してください。

7F11470900A1


■この製品は、ご家庭でのライフスタイルにあわせて多目的にご利用いただくために作られたベッドです。

こんなことができます

1. ベッドポジションを自在にコントロール

3 モーター : 背・膝・高さが調節できます

1+1 モーター : 背・膝が調節できます

 このマークの数字は、説明のあるページを示しています。

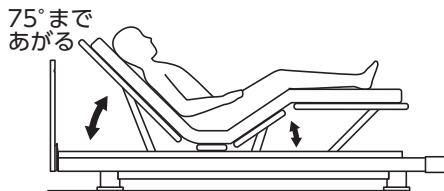
①らくらくモーション

[☞ 21・22ページ]

機能：背を水平から75°まで無段階に動かせる
その際、背の動きと連動して膝も自動で動く

- 身体のずれを軽減する背あげ/背さげ

使用シーン：起床時のサポート
ベッド上で読書する・TVを観るときなど

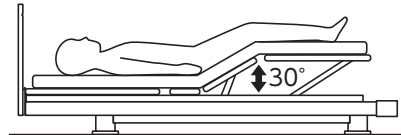


③膝あげ [☞ 25ページ]

機能：膝を水平から30°まで無段階に動かせる
足先を腰よりも高くあげることができる

- 身体のずれを軽減する背あげ/背さげ

使用シーン：足が疲れたり、むくんだりしたときなど
起床時のサポートなど

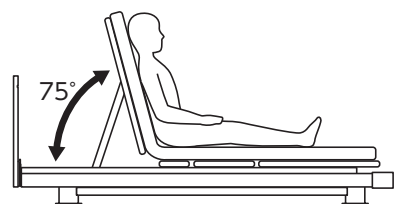


②背あげ [☞ 23ページ]

機能：背を水平から75°まで無段階に動かせる

- ベッドからの起きあがりやすいになる
- 上体を起こした姿勢を保持しやすい

使用シーン：起床時のサポート
ベッド上で読書する・TVを観るときなど



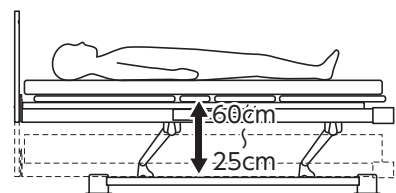
④高さ調節 **3** モーター [☞ 24ページ]

機能：ベッドの高さを25~60cmまで無段階に動かせる

- ベッドの乗り降りや介護の負担を軽減

使用シーン：ベッドへの乗り降り時、介護のときなど

※ **1+1** は組立時に高さ（3段階）を選択できます。（☞ 84ページ）



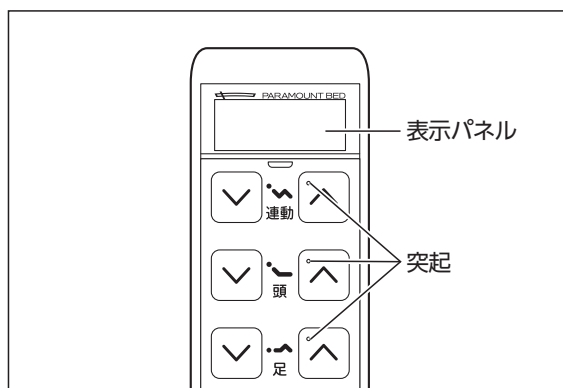
2. ベッドポジションのメモリー

[P.26ページ]

よく使う角度や高さで一旦停止させることができます。

3. ベッドの情報を画面表示

- 手元スイッチの画面にベッドの状態（背の角度など）が表示されます。ベッドの調節時に角度や高さが一目でわかります。
- 操作ボタンの突起により、触感で $\square \wedge$ / $\square \vee$ を区別できます。

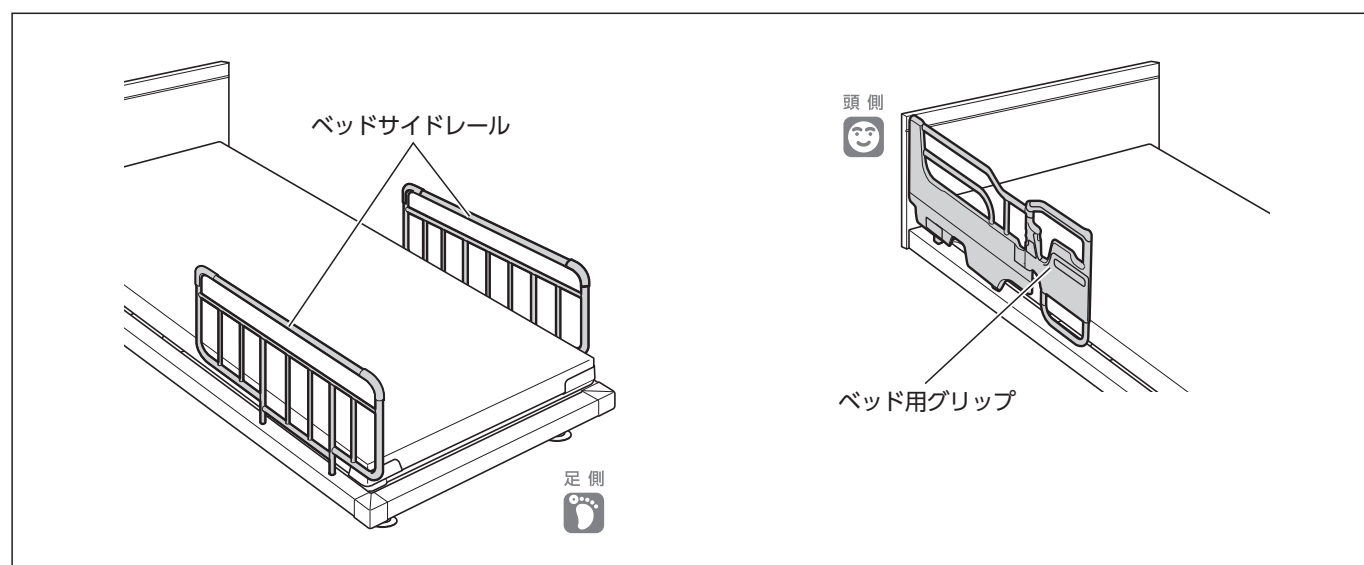


4. 静かなベッド動作

動作音が静かなアクチュエーター（モーター）を使用しています。




5. サポートオプションが使えます

身体の状態にあわせて、サポートオプションであるベッドサイドレール（別売）やベッド用グリップ（別売）を取付けることができます。



「安全上の注意」「設置上の注意」を必ずお読みください。(P.6～15ページ)

もくじ

1 各部の名称	5
2 安全上の注意	6～14
3 設置上の注意	15
4 キューブ (宮付) ※RQ-137□M△・117□M△のみ	16
5 手元スイッチの取付位置	17
1. 手元スイッチの配線方向について	17
2. 手元スイッチの取付けかた	17
6 ベッドの使用方法	18
1. 手元スイッチの各部の名称と働き	18・19
2. ベッド/手元スイッチの電源の入れかた	20
3. 背の動かしかた	21～23
4. ベッドの高さ調節のしかた 	24
5. 膝の動かしかた	25
6. メモリーポジションへの動かしかた	26
7 手元スイッチによるベッドの設定のしかた	27
1. 設定モードへの切換え	27
2. ベッドの各動作設定	28・29
3. 操作ボタンのロック (操作禁止) の設定	30
4. メモリーポジションの設定	31
5. 設定のリセット	32
6. 手元スイッチの交換お知らせ表示	32
8 緊急時のベッド操作のしかた	33
1. 手動による背さげのしかた/戻しかた	33～36
2. スマートハンドル (NN-2000 : 別売) について	36
9 サイドパネルの取付向き変更方法	37～40
10 適合オプション	41
1. ベッドサイドレール	42
2. ソフトカバー付/クリアカバー付/サクッとポケット付ベッドサイドレール	42
3. ベッド用グリップ (スイングアーム介助バー/サイドグリップ)	43
4. ソフトカバー付ベッド用グリップ	43
5. キャスター	43
6. ハイトスペーサー 	44
7. フットボード	44
8. ベッドサイドテーブル/サイドテーブル	44・45
9. 脚座ゴムシート 	46
10. 脚座カーペット	46
11. スマートハンドル	46
11 適合オプションの組合せと取付位置	47
1. ベッド用グリップ (スイングアーム介助バー/サイドグリップ) を 使用する場合	47・48
2. ベッドサイドレールを使用する場合	48
12 マットレス (別売)	49
13 電動介護リフト (床走行式リフト) の使用上のご注意 ..	50・51
14 定期点検と日常のお手入れ	52
1. 定期点検について	52
2. 日常のお手入れについて	52

15 故障かな?と思ったら	53・54
16 長期保管と移動(移設)	55
1. 長期保管	55
2. 移動(移設)	55
17 仕様	56
1. ベッド本体	56~58
2. 電装品	58
組立・分解方法	60~96
アフターサービス	裏表紙

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

アフターサービス

- お買い上げの製品は改良などにより、この「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。
- 動作範囲・寸法・角度・質量などの数値の記載がある場合、その数値には多少の誤差が含まれます。特別なものを除き、この「取扱説明書」では表示を見やすくするため、約・およそといった言葉を省略しております。
- ご不明な点がありましたら、直接弊社までお問い合わせください。(裏表紙)
- このベッドは日本国内専用です。海外では電源電圧が異なるため使用できません。

おことわり

- 「**1** 各部の名称」(裏表紙5ページ)以降、本文中に記載の名称を一部以下のように略しております。
 - ・ベッド用グリップ(スイングアーム介助バー/サイドグリップ) ⇒ ベッド用グリップ

この取扱説明書に記載されているマークと用語について

3 **1+1** について

2つのタイプを右記のマークで分類しています。

項目によっては該当しない内容もありますので、ご購入されたタイプを確認の上、該当するマークが記載された項目をご覧ください。

なお、これらのマークが記載されていない項目は、共通の項目であり、すべてのタイプが該当します。

3
モーター

本体品番：RQ13700

1+1
モーター

本体品番：RQ11700



について

このマークは、特に重要な内容や間違いやすい内容、注意点などを記載していることを表しています。

頭側 足側



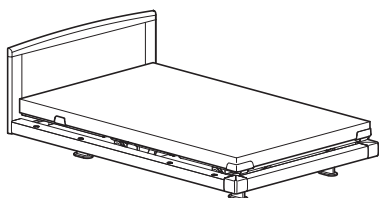
について

このマークは、ベッドの方向(頭側と足側)を表しています。

用語について

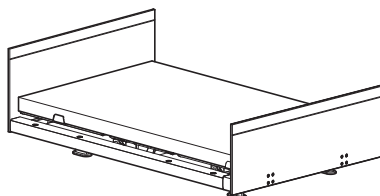
・ハリウッドスタイル

フットボードがないベッド



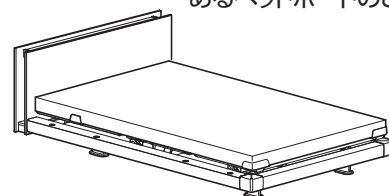
・ヨーロピアンスタイル

フットボードがあるベッド



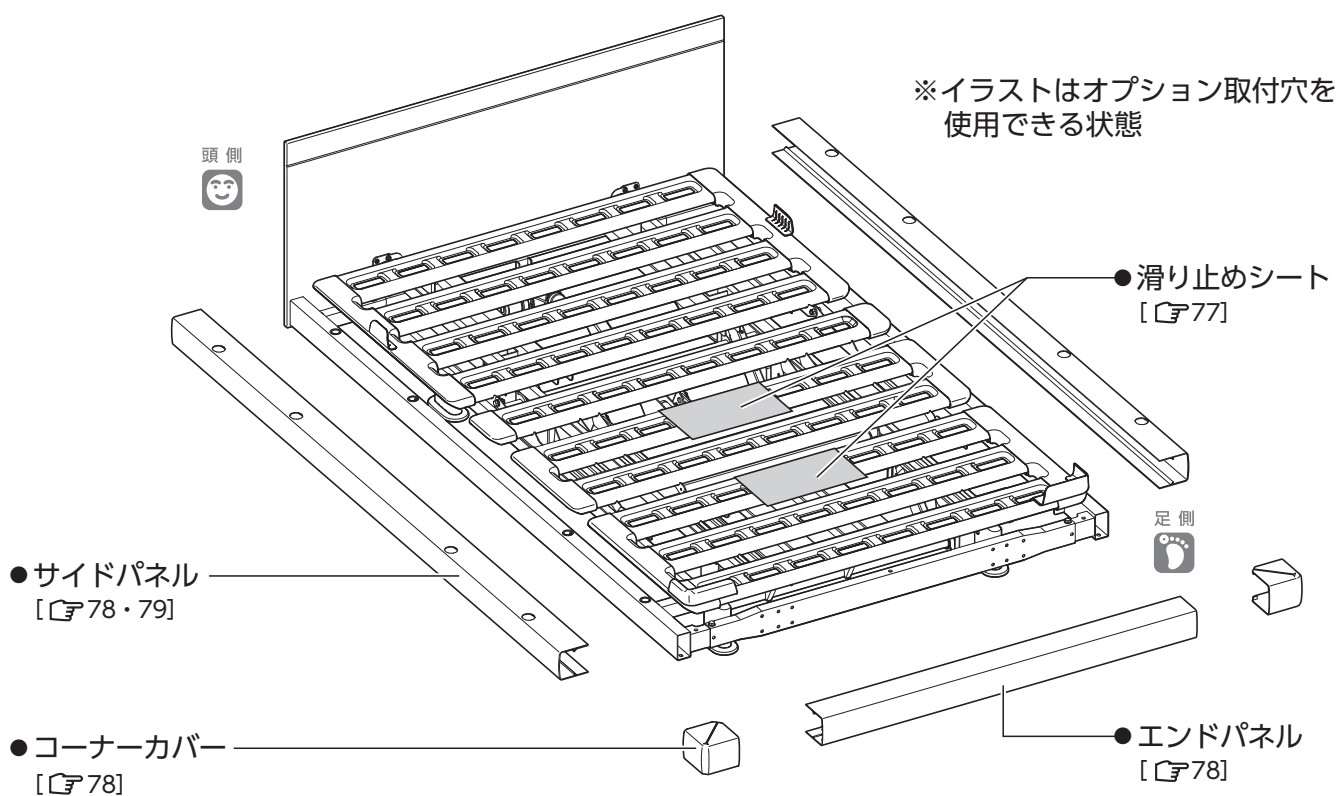
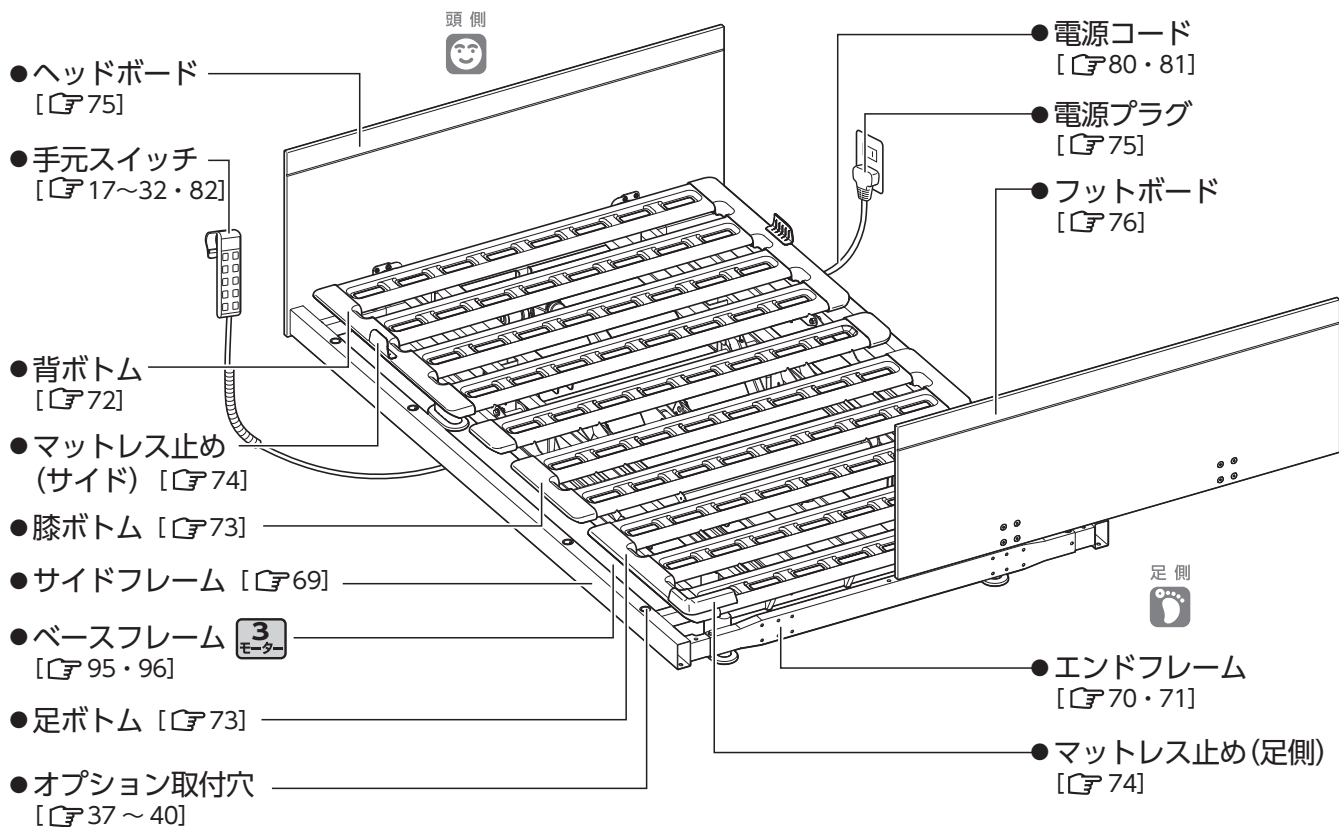
・キューブ(宮付)

ものを置くスペースがあるヘッドボードのこと





1 各部の名称

このマークの数字は、
説明のあるページを示しています。



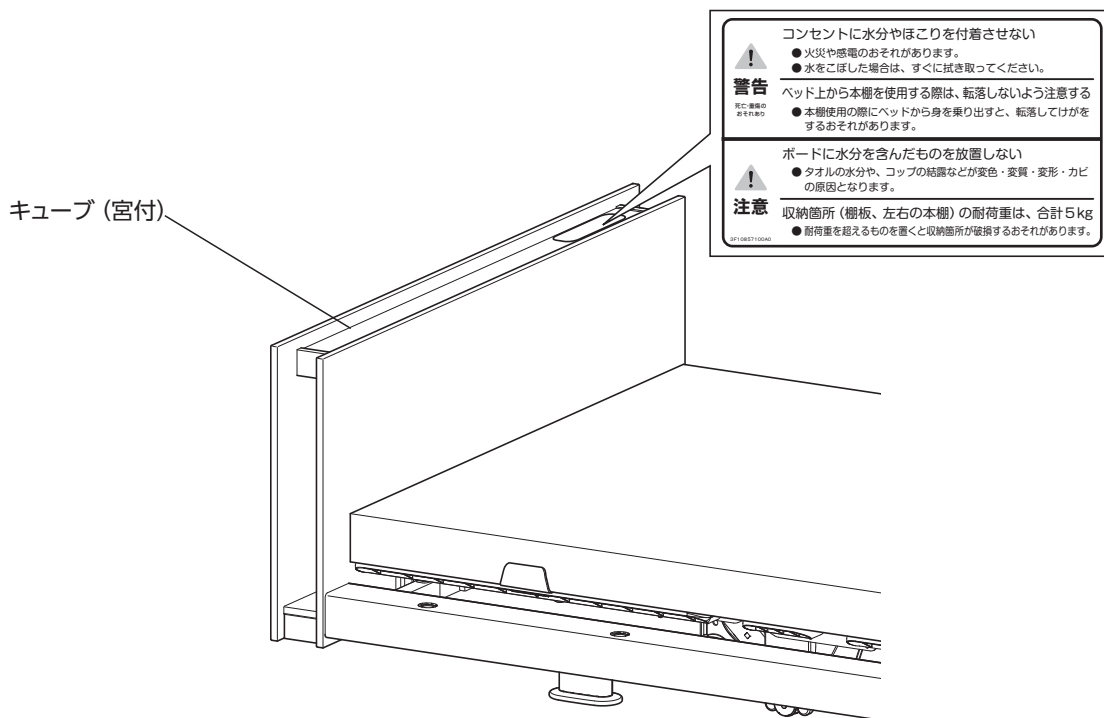
●ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度に応じて「警告」と「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

※取扱説明書をお読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

 <p>警告</p>	<p>この表示を無視して誤った取扱いをすると、死亡または重傷（骨折・圧迫・麻痺など）を負う可能性が想定される内容を示しています。</p>
 <p>注意</p>	<p>この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷（打撲・すり傷・切り傷など）を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。</p>
<p>★『安全上の注意』などに記載の項目で、特に【すき間についての注意】は、生命にかかわる重大な事故につながる可能性のある重要な項目です。本取扱説明書とあわせ、製品に別添の『すき間および電装品についての注意事項』を必ずお読みいただき正しく安全にお使いください。なお、特に予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。</p>	

【安全ラベルについて】 ※キューブ（宮付）

- 注意事項の中で、ベッドをお使いになる方に特に注意していただきたい項目をラベルにしてキューブ（宮付）の棚板上面に貼ってあります。はがしたり、傷つけたりしないでください。
- 安全ラベルが傷ついたり、はがれたりした場合にはパラテクノコールセンター（☎裏表紙）から新しい安全ラベルを取り寄せ、貼り直してください。



警告

組合せについて

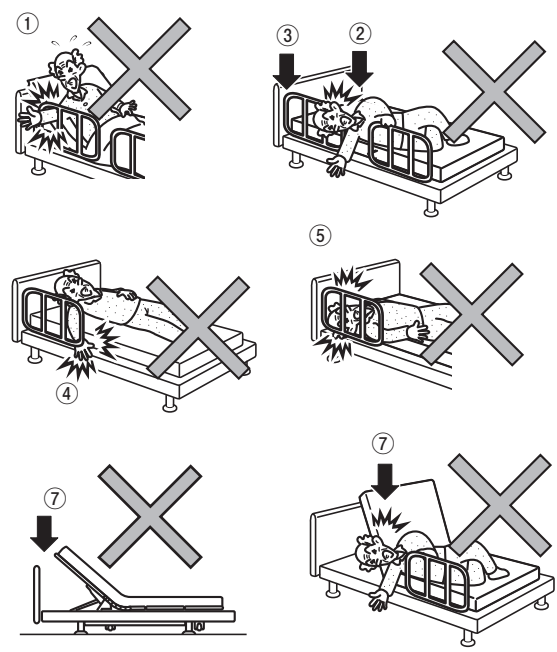
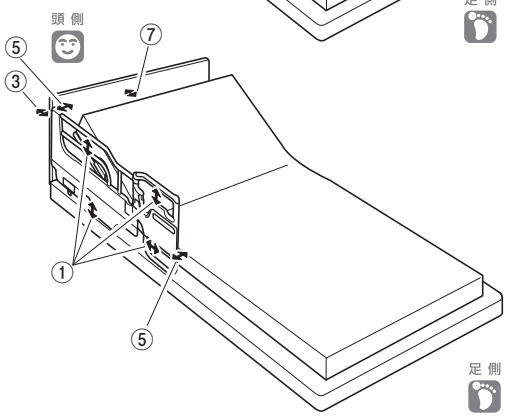
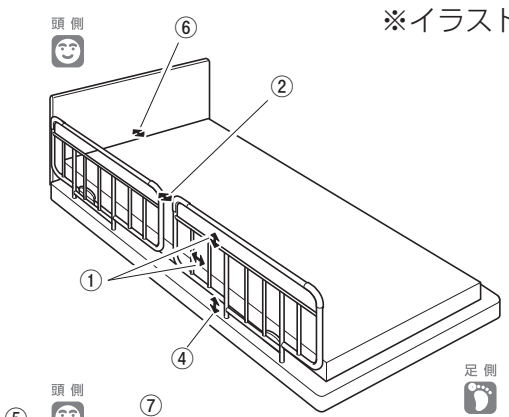
2 安全上の注意

ベッドに直接取付けて使用するベッドサイドレール、マットレスなどは、弊社が指定する適合品を使用してください

指定以外の製品や他社製品と組合せると、意図せぬすき間の発生や製品同士の接触、安定性の低下などにより、けがをしたり、ベッドが故障したりするおそれがあります。

すき間について

※イラストは一例



すき間に注意してください

- ベッドやベッドサイドレール・ベッド用グリップなどにはすき間があります。また、ベッドサイドレールやベッド用グリップなどを組合せるとすき間ができます。これらのすき間に身体の一部（特に頭や首など）をはさむと、けがをするおそれがあります。
- 下記のすき間に注意してください。

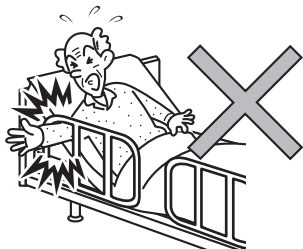
- ① ベッドサイドレールなどの内部のすき間
 - ② 2本のベッドサイドレールなどの間のすき間
 - ③ ベッドサイドレールなどとボードのすき間
 - ④ ベッドサイドレールなどとボトム・マットレスのすき間(高さ方向)
 - ⑤ ベッドサイドレールなどとボトム・マットレスのすき間(幅方向)
 - ⑥ ボードとマットレスのすき間
 - ⑦ あがっているボトムとボード・ベッドサイドレールなどのすき間
- など

- 特に、予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。
- ベッドサイドレールやベッド用グリップは「**III** 適合オプションの組合せと取付位置」(P.47・48ページ)を参照して、正しい組合せでご使用ください。



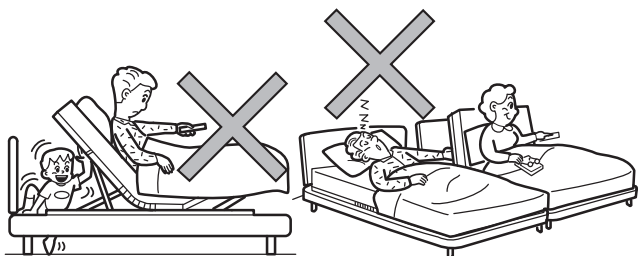
ベッド操作について

身体の一部がすき間に入った状態で、ベッドの操作をしないでください



- はさまれて、けがをするおそれがあります。
- 特に、予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。

ベッド操作を行う際は、動く部分に身体の一部を入れないでください



- ベッドの可動部とフレームやベッドサイドレール・ベッド用グリップなどとの間にはさまれて、けがをするおそれがあります。
- 2台のベッドを並べて使用する場合は、隣のベッドの動作にご注意ください。
- ベッド操作を行う際は、ベッドの下や内部および周りに人や障害物がないことを確認してください。
- ベッドの動作を止めたい場合は、手元スイッチの操作ボタンから手を離してください。

ボトム角度やベッドの高さを調節するときは、ベッドをご使用の方の状態に注意してください

- ベッドをご使用の方がボトム角度やベッドの高さ調節中に動くと、ベッドから転落したり、すき間にはさまれたりして、けがをするおそれがあります。
- 特に体位を自分で保持できない方の場合は、身体を支えながら操作してください。

ベッドは正しい向き、姿勢で使用してください



- ベッドの頭側・足側を間違えて寝た状態で背あげ・膝あげ動作を行うと無理な姿勢となり、けがをするおそれがあります。
- うつ伏せや横向き（仰向け以外）で寝た状態での角度調節は、関節を逆に曲げることになり、けがをするおそれがあります。

操作が理解できないと思われる方（12歳以下のお子様や認知症の方など）に、操作させないでください

- 誤ってベッドに身体がはさまれるなど、思わぬけがをするおそれがあります。1人で手元スイッチに触れる可能性がある場合には、次のいずれかの方法により操作を制限し、誤操作による事故を未然に防いでください。
 - 操作禁止ボタンで手元スイッチの操作ボタン（すべての操作ボタンまたは各動作部位の操作ボタン）をロック（操作禁止）する。（操作方法はP.30ページ）
 - 電源プラグを抜く。

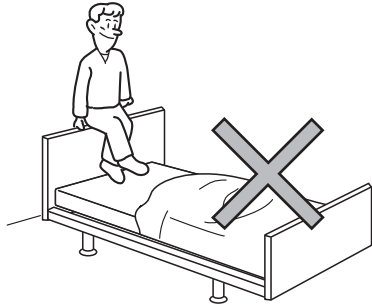
介護者の方などがベッドから離れたりベッドをご使用の方から一時的に目を離したりするときは、ボトムの高さやベッドの高さに注意してください

万一のベッドからの転落や背あげ時の上体の倒れに備え、ご使用の方の状況に応じて、ボトムの角度を水平にしてベッドの高さを一番低い位置にしてください。

警告

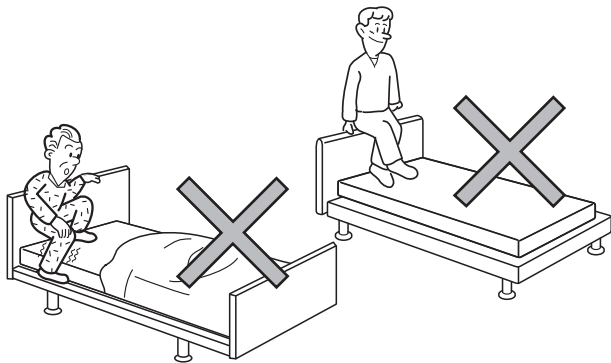
転落・転倒について

ベッドサイドレール・ベッド用グリップやヘッドボード・フットボードなどに腰掛けたりしないでください



ベッドから転落・転倒してけがをしたり、ベッドやベッドサイドレール・ベッド用グリップなどが破損・変形して、けがをしたりするおそれがあります。

サイドフレーム・エンドフレームやヘッドボード・フットボードを手すり代わりにしたり、足をかけて乗り降りしたりしないでください

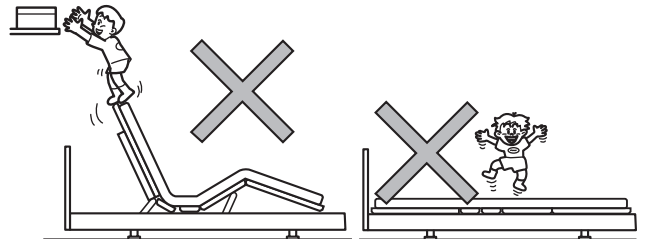


- ベッドから転落・転倒してけがをするおそれがあります。
- サイドフレーム・エンドフレームやヘッドボード・フットボードに大きな力がかかり、サイド／エンドパネル・コーナーカバーが外れるなどして、破損・変形するおそれがあります。

あがった状態の背ボトムを手すり代わりにしないでください

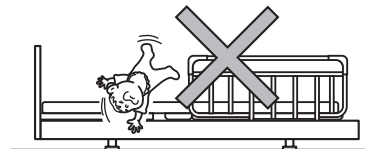
つかまったり、立ちあがったりするときなどに支えとして使用すると背ボトムが倒れ、転倒してけがをするおそれがあります。

ベッドを踏み台代わりにしたり、ベッド上で飛び跳ねたりしないでください



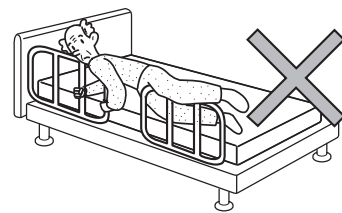
ベッドから転落・転倒してけがをしたり、ベッドが故障したりするおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。

乳幼児やお子様には使用しないでください



- 本製品は乳幼児やお子様向けに設計されていません。ベッドサイドレールなどのすき間に身体の一部をはさみ、けがをするおそれがあります。
- ベッドサイドレールを使用してもすき間から転落して、けがをするおそれがあります。

ベッドサイドレール使用時もベッドからの転落に十分注意してください

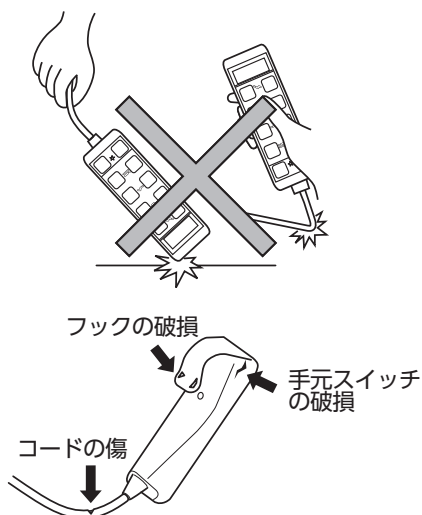


- ベッドサイドレールとベッドサイドレール、各ボードとベッドサイドレールのすき間から転落し、けがをするおそれがあります。
- ベッドサイドレールの上から身を乗り出して転落し、けがをするおそれがあります。
- 厚みのあるマットレスを使用する場合、相対的にサイドレールが低くなります。そのため、サイドレールを乗り越えやすくなり、転落してけがをするおそれがありますのでご注意ください。
- ベッドの背をあげた状態で使用される場合は、転落予防としての効果を十分に発揮できないおそれがあります。
- 特に、予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。



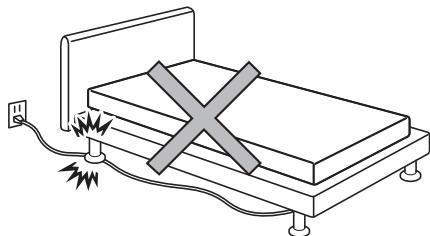
電装品について

手元スイッチなどの電装品の取扱いに注意してください



- ベッドが誤作動してけがをしたり、故障したりする原因となります。また、感電・火災のおそれがあります。
 - ・ぶついたり傷をつけたりしないでください。
 - ・落としたり、コードを無理に引っ張ったりしないでください。
- 傷んだ手元スイッチなどの電装品は、修理（交換）を依頼してください。

コード類（電源コードなど）は正しく配線し、傷つけないでください



- コード類が破損し、感電・火災のおそれがあります。
 - ・ベッドの可動部でコード類をはさまないようにしてください。
 - ・コード類に重いものを置いたり、無理な力を加えたりしないようにしてください。
 - ・ベッドでコード類を踏みつけしないでください。
- 傷んだコード類は修理（交換）を依頼してください。

電源コードや手元スイッチのコードに、足を引っ掛けしないでください

- 電源プラグやコードが破損し、感電・火災のおそれがあります。
- 転倒して、けがをするおそれがあります。

ベッド、適合オプション以外のコード類は、ベッド内部やベッドの下を通さないでください

- コード類が破損し、感電・火災のおそれがあります。
- やむを得ずその他の機器のコードをベッド内部やベッドの下を通す場合は、ベッドの可動部などでコードを圧迫するなどしないでください。

電子治療器を使用するときは、電源プラグを抜いてください

電子治療器（マイクロ波治療器、超短波治療器など）を同時に使用した場合、ベッドの故障や誤動作の原因となります。

なお、他のME機器と併用するときは、安全をご確認の上ご使用ください。

お手入れや掃除などの際は、電源プラグを抜いてください

誤操作によりベッドが動作し、けがをするおそれがあります。

電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って抜いてください

電源コードのみを持って引っ張るとコードが傷んで、感電・火災のおそれがあります。

電源プラグに無理な力を加えないでください

電源プラグが破損し、感電・火災のおそれがあります。



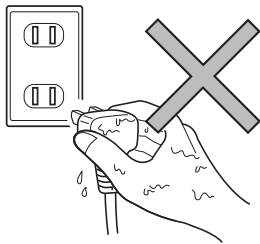
電装品について

電源プラグにほこりなどを付着させないでください



- 湿気などで絶縁不良となり、感電・火災のおそれがあります。
- 電源プラグにほこりなどが付着した場合は、乾いた布などでよく拭き取ってください。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください



感電したり、故障したりするおそれがあります。

アクチュエーター（モーター）や手元スイッチなどの電装品に、水などをかけないでください

感電したり、故障したりする原因となります。誤って水などをかけてしまった場合は、電源プラグをコンセントから抜き、パラテクノコールセンター（☎裏表紙）までご連絡ください。

点検・修理について

お客様による修理・改造はしないでください

意図せぬすき間の発生や異常動作などにより、けがをするおそれがあります。

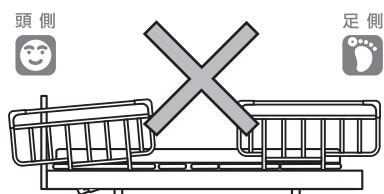
■ ベッドは定期的に点検してください

使用の頻度や環境により、製品は摩耗・劣化します。定期的に各部のゆるみ、可動部の動作、破損の有無などを点検してください。思わぬけがをするおそれがあります。

■ 被災したベッドは点検・修理を依頼してください

地震・火災・水害などで被災したベッドは、パラテクノコールセンター（☎裏表紙）まで、点検・修理をご依頼ください。感電・火災の原因となったり、ベッドの動作異常で、けがをしたりするおそれがあります。

■ ベッドサイドレール・ベッド用グリップなどを取付けるときは、正しい向きで確実に取付けてください



- ベッドから転落したり、発生した意図せぬすき間に、身体の一部がはさまれたりしてけがをするおそれがあります。
- 誤った向きやオプション取付穴に異物が入っていると確実に差込むことができず、ベッドサイドレール・ベッド用グリップなどが不意に外れるなどして、けがをするおそれがあります。正しい向きでの取付けかたについては、各オプションの「取扱説明書」を参照してください。
- 誤った向きでは、ベッドの頭側・足側から大きくとび出る場合があります、けがをするおそれがあります。

■ ベッドのフレームとボトムの間などに手(指)や足などを入れないでください

サイドフレームやエンドフレームとボトムの間に、手(指)を入れた状態でボトムの端に座ると、はさまれてけがをするおそれがあります。

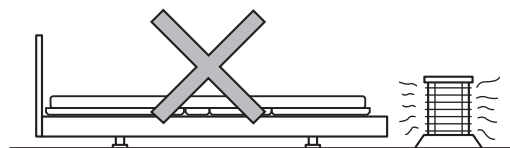
■ ベッドと壁や周りのものとのすき間に注意してください

- 身体の一部をはさむと、けがをするおそれがあります。
- 特に、予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。

■ オプションや突起物に衣類などが絡まないように注意してください

- 衣類などが絡まった状態でベッドを操作すると、けがをするおそれがあります。
- ベッドの乗り降りなどのときに転倒して、けがをするおそれがあります。

■ 火気に近づけないでください



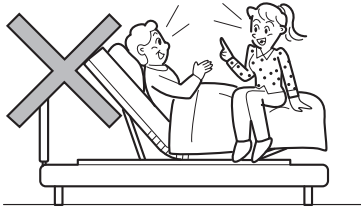
ベッドの近くで、ストーブなどの熱器具を使用しないでください。変質・変形・火災などの原因となります。

■ ベッドをご使用の方の容体にあわせて使用し、治療中の方は医師に相談をしてください

- ベッドの操作により容体を悪化させる可能性があります。
- ベッドのご使用に際して不安や疑問があるときは、かかりつけの医師にご相談ください。

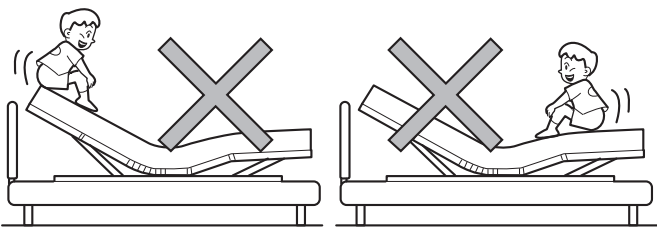
注意

2人以上で使用しないでください



- このベッドは1人用の設計になっています。2人以上で使用すると、ベッドが破損してけがをするおそれがあります。このベッドの最大利用者体重は138kgです。一時的に、介護者がベッドに乗る必要がある場合は、次の点を確認してください。
 - ベッドに乗る方の合計体重が138kgを超えていないこと。
 - ボトムがさがってフラットになり、最低高さになっていること。
- 介護者がベッドに乗る機会の多い場合は、パラテクノコールセンター（☎裏表紙）に依頼して、ベッドの定期点検を受けてください。

あがっているボトムに乗らないでください



ボトムの支持部に大きな力がかかり、破損・変形の原因となります。

ベッドに安全動作荷重を超える荷重を加えないでください

ベッドが破損してけがをするおそれがあります。このベッドの安全動作荷重は1700N（174kgf）です。安全動作荷重は、ベッドを安全に使用できる荷重であり、利用者体重とマットレスやオプションなどの付帯物の合計荷重です。

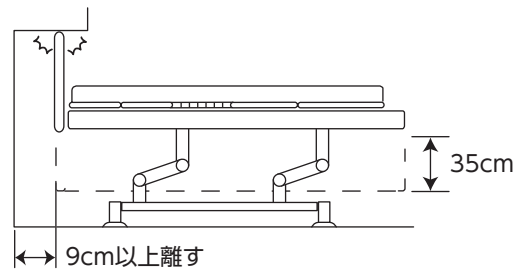
スプレータイプの殺虫剤を、ベッドに直接噴射しないでください

殺虫剤に含まれる溶剤によって、ベッドが破損・変色・溶解するおそれがあります。また、破損・溶解した部分で思わぬけがをするおそれがあります。

手元スイッチ操作時は周囲を確認してください

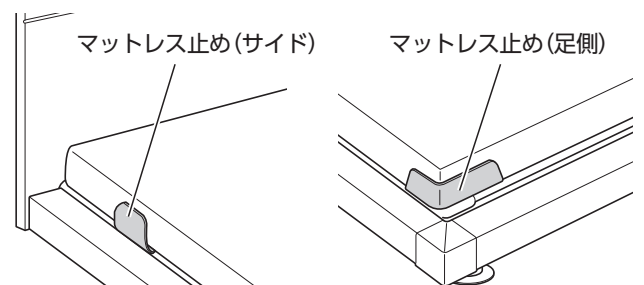
手元スイッチ操作によって周囲のものを破損させたり、ベッドが破損・変形する原因となったりします。

高さ調節をするときは、壁や梁、壁のコンセントに気をつけてください



- ベッドや壁・ゆかなどが破損・変形するおそれがあります。ベッドは高さ調節操作で上下に35cm動きます。ご使用のときには、ベッド動作でベッドが壁や梁、電源プラグに当たらないことを確認してください。
- ベッドは高さ調節のときに前後に動作するため、ベッドは壁から9cm以上離して設置してください。

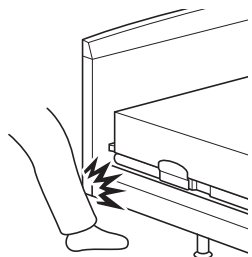
移乗のときなどに、マットレス止め（サイド/足側）に身体をぶつけないように注意してください



けがをするおそれがあります。

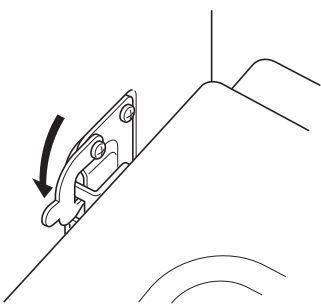
注意

■ ベッドの角に注意してください



足などをぶつけて、けがをするおそれがあります。

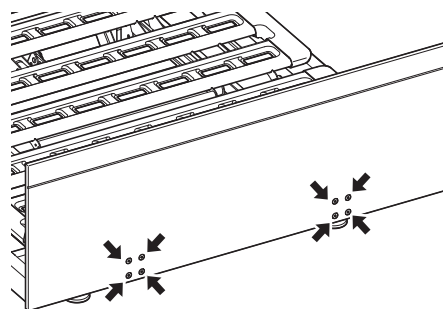
■ ヘッドボードはストッパーを掛けてください



ヘッドボードの取付けが不完全な場合、身体を支えるためヘッドボードにつかまったときやベッド移動でヘッドボードを押す（引く）ときなどに不意に外れ、転倒などによるけがのおそれがあります。（[P.75](#)ページ）

■ フットボードが、指定の取付位置にボルトで確実に固定されていることを確認してください

スクエア・キューブ（宮付）：8ヶ所
ラウンド：4ヶ所



※イラストはスクエア・キューブ（宮付）

フットボードの取付けが不完全（がたつくなど）な場合、身体を支えるためフットボードにつかまったときやベッド移動でフットボードを押す（引く）ときなどに不意に外れ、転倒などによるけがのおそれがあります。（[P.76](#)ページ）

■ ヘッドボード・フットボードに濡れたタオルなどを掛けないでください

ヘッドボード・フットボードが破損・変質するおそれがあります。水分などが付いた場合は、乾いたタオルなどですみやかに拭き取ってください。

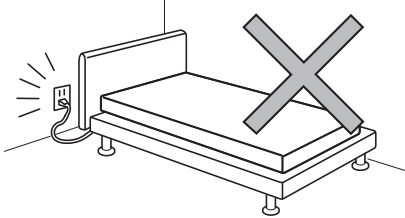
■ ヘッドボード・フットボードに、加湿器などの蒸気を直接当てないでください

ヘッドボード・フットボードが破損・変質するおそれがあります。水分などが付いた場合は、乾いたタオルなどですみやかに拭き取ってください。

ベッドを設置するにあたって、下記の注意事項を守ってください。ベッドは、一度組立てますと、部屋の中での移動、向きの変更が困難な場合があります。

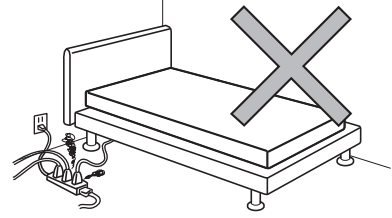
警告

電源プラグの抜き差しができなくなる場所には、ベッドを設置しないでください



- 誤操作を防止するために、電源プラグを抜くことが必要になる場合があります。
- 誤操作によるけがをするおそれがあります。

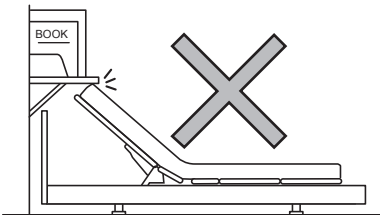
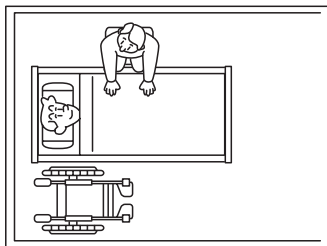
ベッドの電源は直接コンセントからとり、タコ足配線は行わないでください



コンセントや延長コードの容量を超える電気製品を同時に接続して使用すると、電源コードや電源プラグが発熱して火災のおそれがあります。

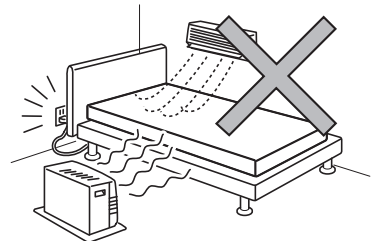
注意

ベッド周辺のスペースを確保してください



- ベッドを使用する方がベッドから起きあがる場合に、ベッドの左右どちら側からの乗り降りが可能か、車いすをご使用の場合は、ベッドのどちら側で使用するかによって、必要なスペースを確保してください。壁やものなどを傷つけるおそれがあります。
- 介護環境で使用する場合、介護する方がベッド周りで介護をするためのスペースをどれだけとるか（シーツ交換だけか、おむつ交換、着替え、洗髪、歯磨き、食事の介助などが必要かどうかによってベッドの周囲をどれだけあけるか）を考慮してください。
- ベッドを操作する際、周りの家具備品、部屋の構造物などに当たらないことを確認してください。家具備品や構造物などが破損するおそれがあります。

故障の原因となるので、次のような場所への設置は避けてください



- 直射日光の当たる場所
- 冷暖房器による冷気や暖気が直接当たる場所
- 過度の水蒸気や油蒸気のかかりやすい場所
- 高温・多湿・低温・乾燥した場所
- ほこり・煙・塩分・イオウ分・腐食性物質などの多い場所
- 換気の悪い場所
- 振動や衝撃のある場所
- ゆかが水平でない場所

ベッド使用時に、ゆかにかかる荷重に耐えられる場所に設置してください

ベッドの質量は最大123kgです。寝具およびオプションやベッドを使用する方の体重を加えた総質量が、ベッド使用時にゆかにかかる荷重となります。この荷重に耐えられる場所に設置してください。ゆかなどが破損するおそれがあります。

キューブ (宮付) の特長

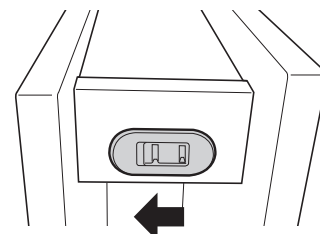
■下図のような特長があります。

【棚板】

携帯電話、めがねなどの小物が置けます

【コンセント】 (1200W まで)

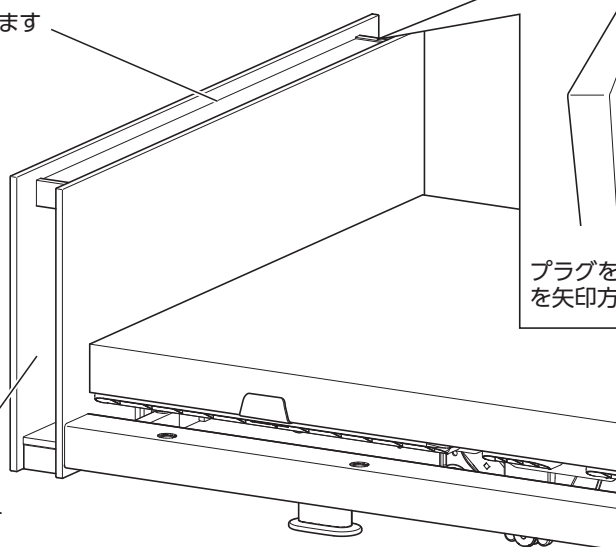
携帯電話などの充電ができます



プラグを差し込む際は、スライドカバーを矢印方向にスライドさせてください

【本棚】 (左右各 1 ヶ所)

A4サイズの本や小物などが置けます



警告

● キューブ (宮付) のコンセントに水分やほこりを付着させないでください。コンセントの表面に水分やほこりが付着していると、火災や感電のおそれがあります。また、故障の原因となります。コンセントの表面に水をこぼしたり、ほこりが付着したりしている場合は、乾いた布などですぐに拭き取ってください。

コンセントを使用する際は、プラグを奥までしっかりと差し込んでください。

● ベッド上から本棚を使用する際は、転落しないように注意してください。本棚使用の際にベッドから身を乗り出すと、転落してけがをするおそれがあります。

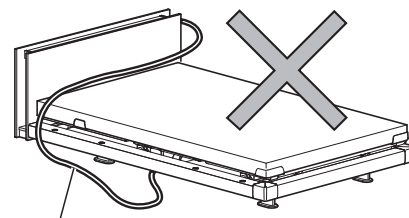
注意

● ベッドの電源はキューブ (宮付) のコンセントからとらないでください。

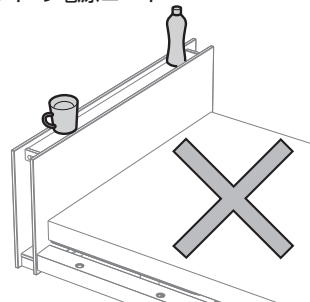
電源コードがベッドの可動部にはさまれて、破損するおそれがあります。

● キューブ (宮付) に水分が入った容器、濡れたものは放置しないでください。表面のシートが劣化するおそれがあります。万一、ボードが濡れてしまった場合は、乾いた布などですぐに拭き取ってください。

● キューブ (宮付) (棚板・左右の本棚) に5kgを超えるものを載せないでください。キューブ (宮付) (棚板・左右の本棚) の最大積載量は5kgです。5kgを超えるものを載せると、キューブ (宮付) (棚板・左右の本棚) が破損・変形する原因となります。



ベッドの電源コード



5 手元スイッチの取付位置

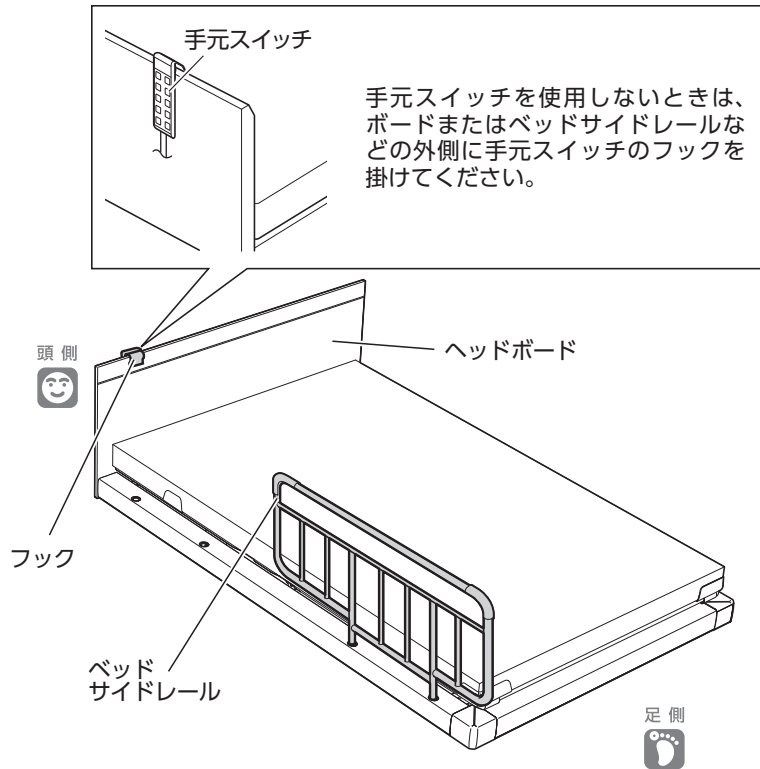
5

手元スイッチの取付位置

1.手元スイッチの配線方向について

手元スイッチは、ベッドの左右どちら側で使用するかによって、コードの配線方向が異なります。必ず正しい配線方向に配線してください。(☞ 82ページ)

2.手元スイッチの取付けかた



警告

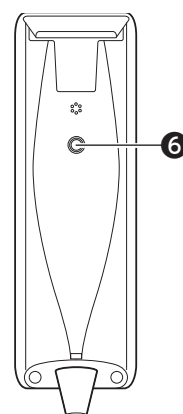
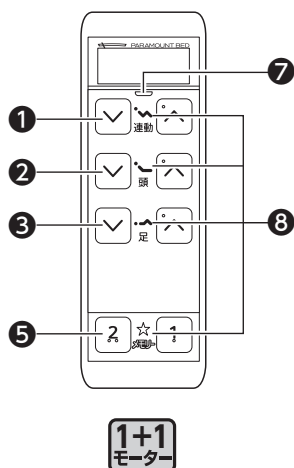
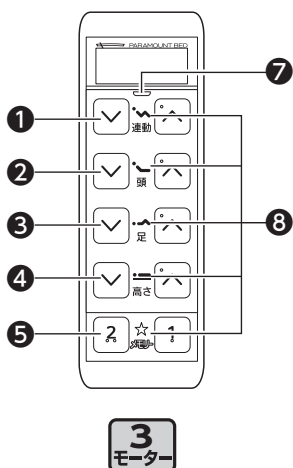
- 手元スイッチを使用しないときは、ボードもしくはベッドサイドレールなどの外側に掛けてください。それ以外の場所に掛けると誤って操作ボタンが押され、意図せぬベッドの動作によりけがをすることがあります。
- 手元スイッチをベッド内側に掛けた状態で操作しないでください。ボトムとベッドサイドレールなどのすき間に手(指)がはさまれてけがをしたり、手元スイッチが破損・変形したりするおそれがあります。

6 ベッドの使用法

※手元スイッチに表示される数値（角度・高さ）は目安としてください。

1.手元スイッチの各部の名称と働き

操作ボタンと表示ランプ



操作ボタン

- ①連動ボタン
「らくらくモーション」の調節
- ②頭ボタン
背ボトムを調節
- ③足ボタン
膝ボトムを調節
- ④高さボタン
ベッドの高さを調節
- ⑤メモリーボタン
あらかじめ設定したメモリーポジションに向かって、背ボトム・膝ボトムの角度、ベッドの高さを調節

設定ボタン

- ⑥設定ボタン
設定ボタンを押すと、操作ボタンで、各種設定が変更できる

表示ランプ

- ⑦電源ランプ
ベッドの通電状態をお知らせ
点灯（緑）：正常な通電状態
消 灯：電源プラグまたは手元スイッチプラグが外れているか、停電や断線などの場合
点滅（赤）：断線や障害物との接触などの異常を表示
「故障かな?と思ったら」(P.53・54ページ)を参照して処置してください。

操作ボタンについて



警告

ベッドの動作を止めたい場合は手元スイッチの操作ボタンから手を離してください。ベッドの可動部ではさまれたり、圧迫されたりするなどで、けがをするおそれがあります。

- 操作ボタンを押すとベッドが動き、離すとその位置で止まります。また、同時に2つ以上のボタンを押した場合も止まります。



同時に2つ以上のボタンを押して止めた場合、再度操作をするときは一度すべてのボタンから手を離してください。

⑧操作選択ランプ

操作ボタンの「有効（操作可能）/ロック（操作禁止）」をお知らせ

点灯（白）：操作が可能な状態

消 灯：電源が「OFF」になっている。もしくは操作が禁止状態

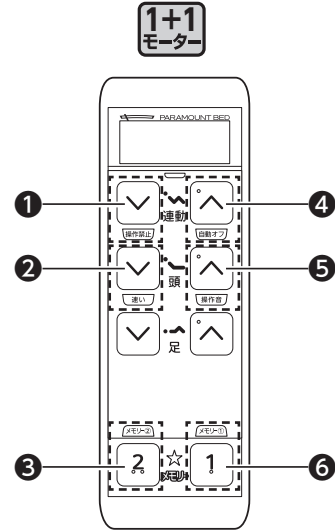
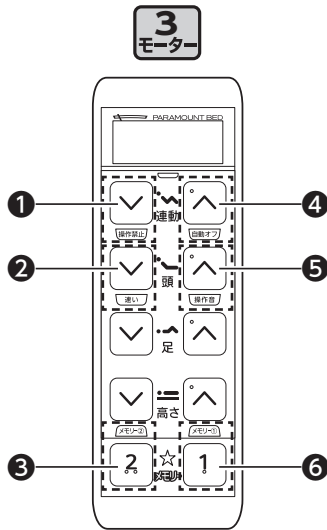


一定時間、操作がないと消灯します。手元スイッチを手に持つなど揺れがあると自動で点灯します。

6 ベッドの使用法

機能選択スイッチ

手元スイッチ裏面の設定ボタンを押すと、操作ボタン（機能選択スイッチ）で各種設定が変更できます。



①操作禁止ボタン

[[P.30](#)ページ]

②速さ切換ボタン

[[P.28](#)ページ]

③メモリーボタン2

[[P.31](#)ページ]

④自動オフボタン

[[P.29](#)ページ]

⑤操作音ボタン

[[P.29](#)ページ]

⑥メモリーボタン1

[[P.31](#)ページ]

表示パネル



①角度/高さ表示/エラーコード

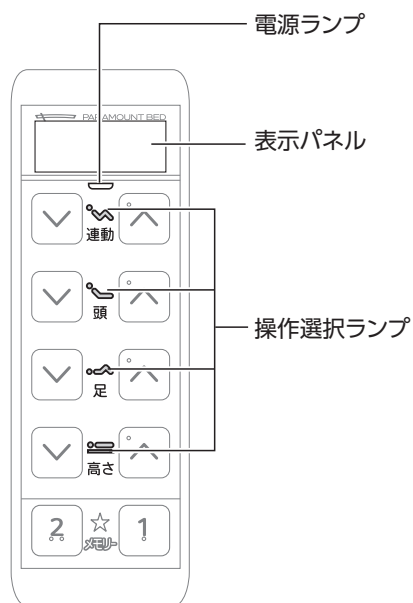
動作中の背ボトム・膝ボトム角度またはボトム上面高さを数字で表示
※エラーが発生したとき、エラーコードを表示します。
背角度表示…0°~75° (0°~74°まで2°間隔で表示)
膝角度表示…0°~30° (0°~30°まで2°間隔で表示)
高さ表示……25cm~60cm(26cm~60cmまで2cm間隔で表示)

②操作禁止表示

押した操作ボタンがロック（操作禁止）に設定されているときに点滅

2. ベッド／手元スイッチの電源の入れかた

自動オフ設定が「無効」の場合



1 電源プラグをコンセントに差込んでください。

手元スイッチの電源ランプが緑色に点灯し、ベッドの操作ができるようになります。

※20～32ページに記載の手元スイッチのイラストは **3** モーター です。

自動オフ設定が「有効」の場合

1 電源プラグをコンセントに差込んでください。

手元スイッチの電源ランプが、緑色に点灯します。

2 手元スイッチの操作ボタン (⏏/⏏) のいずれかを押してください。

操作選択ランプが点灯し、ベッドを動作させる準備ができます。(電源ON状態)

※ボタンを押すと表示パネルに「On」と表示されます。



注記! 電源プラグをコンセントに差込んだだけでは、手元スイッチの電源は「OFF」の状態です。ベッドの操作や設定を行う場合は、一度、操作ボタンを押して電源「ON」の状態にすると、行うことができます。

6 ベッドの使用方法

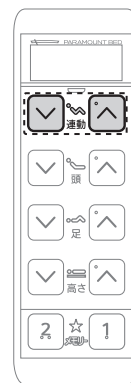
3.背の動かしかた

背あげにはらくらくモーション (連動ボタン) と、背あげ (頭ボタン) の2種類があります。

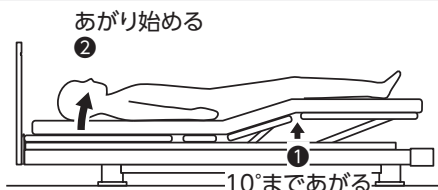
らくらくモーション (連動ボタン) 操作のしかた

連動ボタンでらくらくモーションによる「背あげ/背さげ」の操作をしてください。

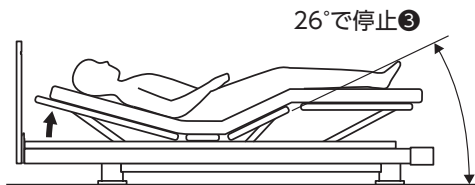
※連動ボタンを押している間は、下記の動作を続けます。



らくらくモーションによる背あげ操作 [連動あげボタン () を押す]



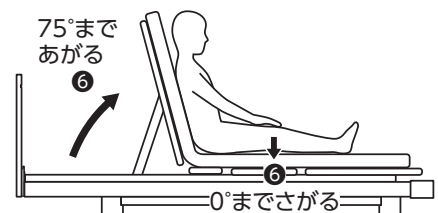
- ① 膝が先行して10°まであがると、背が連動してあがり始める。



- ② 膝が26°で停止する。背はそのまま動く。

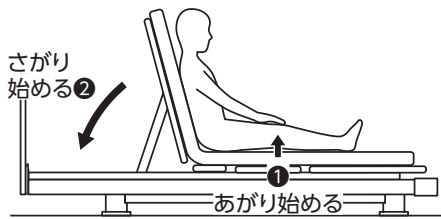


- ③ 背が40°まであがると、膝が連動してさがり始める。

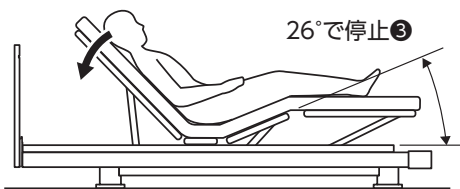


- ④ 背が75°まであがるのとほぼ同時に、膝が0°までさがる。

らくらくモーションによる背さげ操作 [連動さげボタン () を押す]



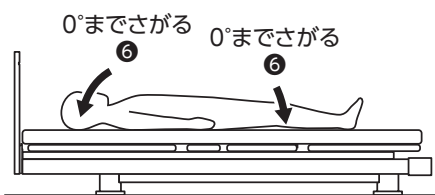
① 膝があがり始め、その後背がさがり始める。



② 膝が26°で停止する。
背はそのまま動く。



③ 背が24°までさがると、膝が連動してさがり始める。



④ 背と膝が連動して、ほぼ同時に0°までさがる。

6 ベッドの使用方法

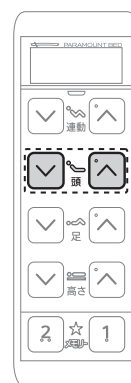
背あげ (頭ボタン) 操作のしかた

頭ボタンで「背あげ (頭) / 背さげ (頭)」の操作をしてください。

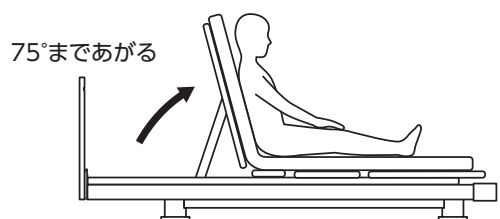
※背ボトムを0°～75°まで調節できます。

動作範囲

背あげ(頭):0°～75°

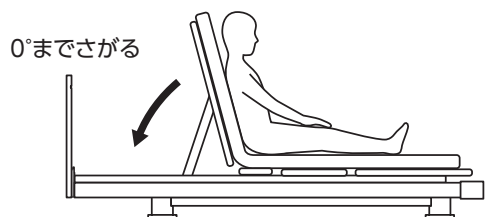


背あげ (頭) 操作 [頭あげボタン (頭アイコン ↑) を押す]



- 背が75°まであがる。
ボタンを離すと、背はその位置で止まる。

背さげ (頭) 操作 [頭下げボタン (頭アイコン ↓) を押す]



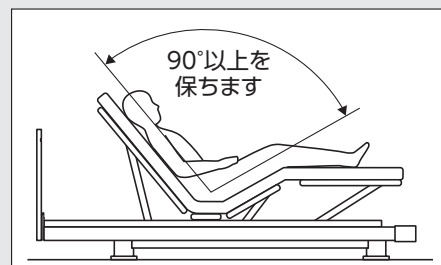
- 背が0°までさがる。
ボタンを離すと、背はその位置で止まる。

角度制限機能について

胸部や腹部にかかる圧迫感を軽減するため、背ボトムと膝ボトムとの角度が90°より小さくならないように自動的に動作します。



- 安全のため、角度制限機能は解除できません。
- 頭・足のボタン操作を禁止にしている場合でも、角度制限機能による自動動作で、背ボトム・膝ボトムは動きます。



4. ベッドの高さ調節のしかた 3 モーター

動作範囲

高さ: 25cm～60cm

高さボタンで「高さあげ/高ささげ」の操作をしてください。

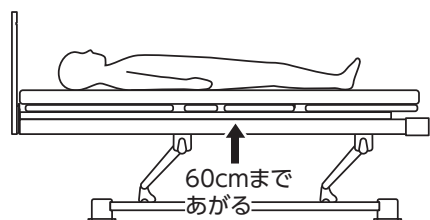
※ゆかからベッドのボトム上面までの高さ（床高）を、25cm～60cmまで調節できます。

※高さボタンを押している間は、下記の動作を続けます。



高さあげ操作

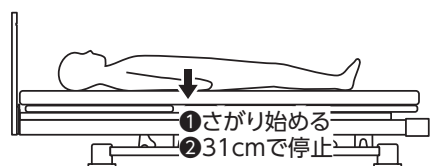
【高さあげボタン（）を押す】



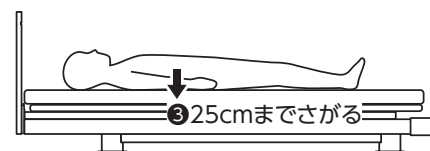
- 高さが60cmまであがる。
ボタンを離すと、ベッドはその高さで止まる。

高ささげ操作

【高ささげボタン（）を押す】



- ① ベッドがさがり始める。
ボタンを離すと、ベッドはその高さで停止する。
ボタンを押していても床高が31cmになると、「ピピッ」と鳴って一旦停止する。



- ② ボタンを離し、再度高ささげボタン（）を押すと「ピピッ」と警告音を鳴らしながら、高さが25cm（最低高さ）までさがる。
最低高さに近づくにつれて、警告音の鳴る間隔が短くなる。

一旦停止後のさげ動作について

- 床高31cm以下の場合、動作速度「普通」より低速でさがります。
- 床高31cm以下で使用しているベッドをさげる場合（低床動作）は、一旦停止せずに25cm（最低高さ）までさがります。



一旦停止時および低床動作中の警告音は、操作音スイッチで操作音「切」に設定しても消すことができません。

6 ベッドの使用方法

5.膝の動かしかた

足ボタンで「膝あげ/膝さげ」の操作をしてください。

※膝ボトムを角度を0°～30°まで調節できます。

※足ボタンを押している間は、下記の動作を続けます。

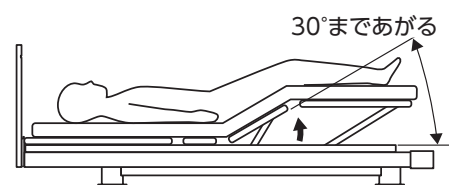
動作範囲

膝あげ(足):0°～30°



膝あげ操作

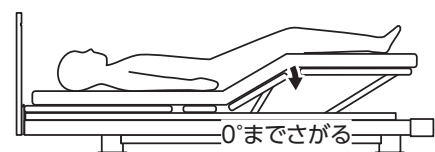
【足あげボタン (●) を押す】



- 膝が30°まであがる。
ボタンを離すと、膝はその位置で止まる。

膝さげ操作

【足さげボタン (●) を押す】




- 膝が0°までさがる。
ボタンを離すと、膝はその位置で止まる。

6.メモリーポジションへの動かしかた

あらかじめ設定したメモリーポジションに向けて、ベッドの「背(頭)・足(膝)」、「高さ」を調節します。

※必要に応じてメモリーポジションを設定してください。

メモリーポジションにはあらかじめ初期設定が登録されています。(設定方法および初期設定は  31ページ)

メモリーボタンの操作をしてください。

※メモリーボタンを押している間は、メモリーポジションに向かって動作を続け、メモリーポジションになると停止します。

メモリーポジション1への操作 [メモリーボタン1 (①) を押す]

- ① メモリーポジション1に向けてベッドが動作する。
ボタンを離すと、ベッドはその位置で止まる。
- ② メモリーポジション1の位置になると、「ピピッ」と音が鳴り、ベッドが停止する。

メモリーポジション2への操作 [メモリーボタン2 (②) を押す]

- ① メモリーポジション2に向けてベッドが動作する。
ボタンを離すと、ベッドはその位置で止まる。
- ② メモリーポジション2の位置になると、「ピピッ」と音が鳴り、ベッドが停止する。

メモリーポジション動作中の一旦停止動作について

メモリーポジションを床高31cmより低く登録している場合、メモリーポジション動作中に床高が31cmになると「ピピッ」と鳴って一旦停止します。メモリーボタンから一度手を離し、再度押すと「ピピッ」と警告音を鳴らしながら、メモリーポジションまで動作します。

7 手元スイッチによるベッドの設定のしかた

■機能選択スイッチを操作することにより、ベッドの設定を変更できます。

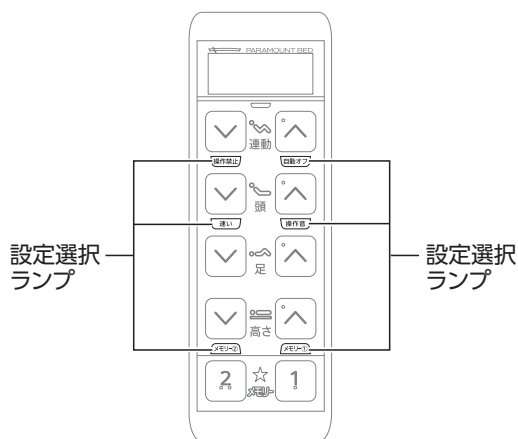
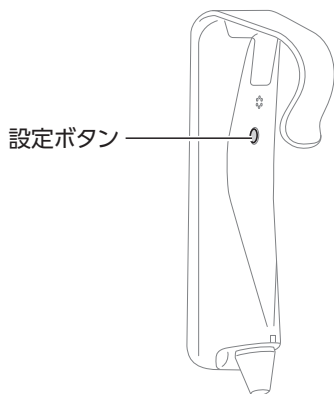
^{けい こく} 警告

- 操作が理解できないと思われる方（12歳以下のお子様や認知症の方など）に操作させないでください。操作が理解できないと思われる方が、1人で手元スイッチを操作した場合、誤ってベッドに身体がはさまれるなど、思わぬけがをするおそれがあります。1人で手元スイッチに触れる可能性がある場合には、次のいずれかの方法により操作を制限し、誤操作による事故を未然に防いでください。
 - ・ 操作禁止ボタンで手元スイッチの操作ボタン（すべての操作ボタンまたは各動作部位の操作ボタン）をロック（操作禁止）する。（操作方法は30ページ参照）
 - ・ 電源プラグを抜く。
- 設定ボタンは、ベッド動作中に操作しないでください。意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。

^{ちゅう い} 注意

設定ボタンを押すときは、鋭利なものを使用しないでください。破損の原因となります。

1. 設定モードへの切換え



手元スイッチ裏面の設定ボタンを押すと、おもて面の設定選択ランプが点灯し、操作ボタンで各種設定ができるようになります。

設定変更が完了したら、再度、設定ボタンを押して、設定を確定してください。設定ボタンを押さないと変更した設定は確定されません。

^{けい こく} 警告

設定ボタンを一度押してから、20秒間ボタン操作が行われない場合は、設定は完了せずに元の設定に戻りますのでご注意ください。意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。

2. ベッドの各動作設定



設定モードへ切換えてから、設定を変更してください(☞ 27ページ)。
各設定の状態によって、設定選択ランプの明るさが変わります。

● ベッドの動作速度の設定

ベッドの動作速度を「普通/速い」に切換えることができます。「速い」は「普通」の1.3倍の速さで動作します。

※初期状態では、動作速度が「普通」になっています。

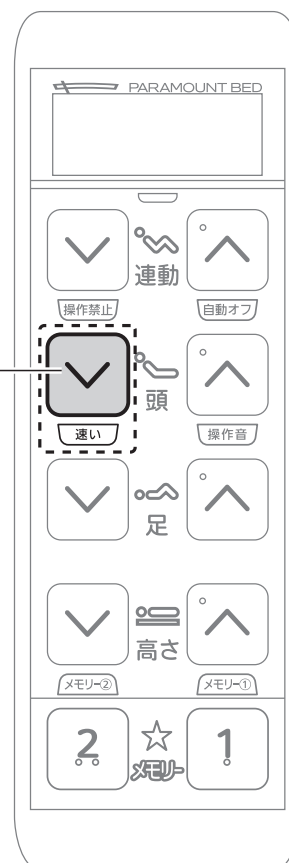
設定選択ランプの明るさ

暗い:普通

明るい:速い



ベッド高さが31cm以下では、高さ調節の動作速度は「普通」より低速でさがります。



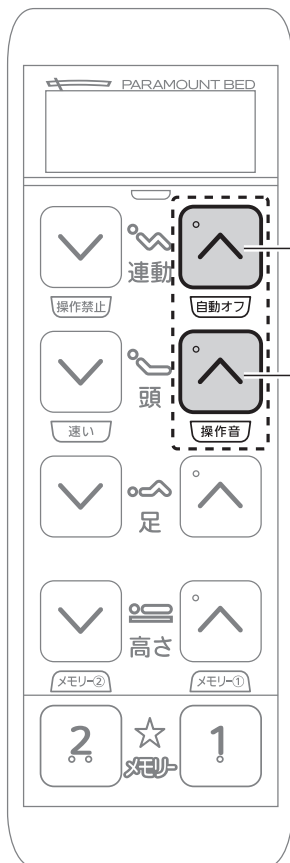
警告

設定変更が完了したら、再度、手元スイッチ裏面の設定ボタンを押して、設定を確定してください。設定ボタンを押さないと変更した設定が確定されず、意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。

7 手元スイッチによるベッドの設定のしかた

7

手元スイッチによるベッドの設定のしかた



● 手元スイッチの無操作時の自動オフ設定

手元スイッチを60秒間操作しないと、手元スイッチを電源「OFF」の状態にすることができます。電源「OFF」の状態の場合、一度、操作ボタンを押して電源「ON」の状態にすることで、ベッドの操作や設定を行うことができるようになります。

※初期状態では、自動オフ機能は「無効」になっています。

※一度電源プラグを抜いても、設定は維持されます。

設定選択ランプの明るさ

暗い:無効

明るい:有効

● 操作音の設定

手元スイッチの操作ボタンを押したときの操作音の「入/切」を切換えます。

※初期状態では「入」になっています。

設定選択ランプの明るさ

暗い:切

明るい:入

警告

設定変更が完了したら、再度、手元スイッチ裏面の設定ボタンを押して、設定を確定してください。設定ボタンを押さないと変更した設定が確定されず、意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。

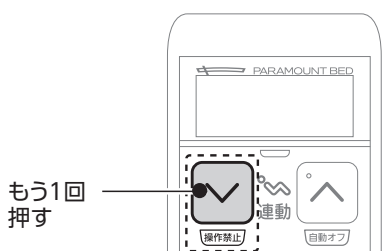
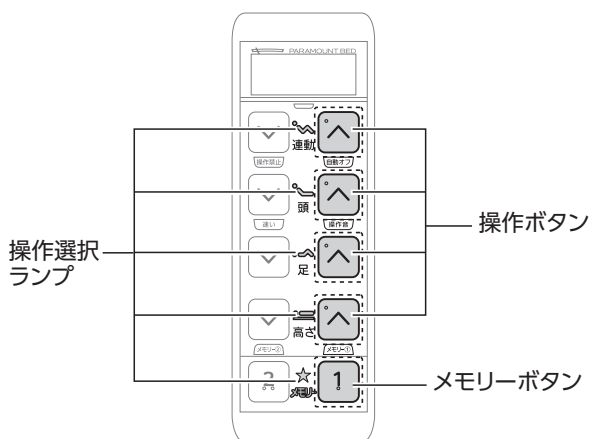
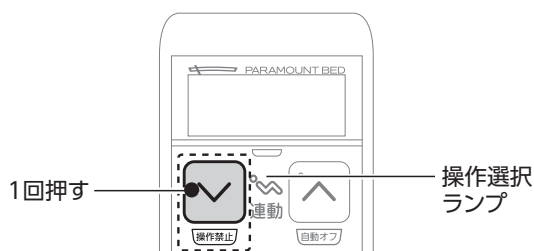
3.操作ボタンのロック (操作禁止) の設定



設定モードへ切換えてから、設定を変更してください。
(P. 27 ページ)

手元スイッチの操作ボタンを使えなくすることができます。
※初期状態では、すべての操作が可能になっています。

設定のしかた



1 操作禁止ボタンを1回押してください。

ロック(操作禁止)されている操作ボタンの操作選択ランプは消灯、ロックされていない操作ボタンの操作選択ランプは点滅します。

2 操作禁止したい、または操作禁止を解除したい操作ボタンの \uparrow ボタンを押してください。また、メモリーボタンを禁止にしたい場合はメモリーボタンの ① ボタンを押してください。

操作ボタンの操作選択ランプが切換わります。

禁止したい：点滅→消灯

解除したい：消灯→点滅

3 操作禁止ボタンを、もう1回押してください。

操作選択ランプの点滅が消えて設定が完了します。

警告

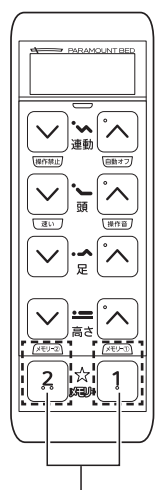
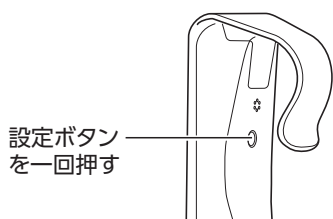
- 頭・足・高さボタンを操作禁止にしても、連動ボタンやメモリーボタンにより、頭・足・高さが動作する場合があります。意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。必要に応じて、連動ボタンやメモリーボタンも操作禁止に設定してください。
- 設定変更が完了したら、再度、手元スイッチ裏面の設定ボタンを押して、設定を確定してください。設定ボタンを押さないと変更した設定が確定されず、意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。

7 手元スイッチによるベッドの設定のしかた

4.メモリーポジションの設定

メモリーボタンを使用し、ベッドのポジションを最大2個まで登録できます。

設定のしかた



メモリーボタン

1 ボタン登録したいポジションまでベッドを動作させてください。

2 手元スイッチ裏面の設定ボタンを押して、設定モードにしてください。

3 ポジションを登録したいメモリーボタン ① / ② を押してください。

現在のベッドのポジションが仮登録されます。



初期設定に戻したい場合は、メモリーボタンを3秒以上長押ししてください。初期設定のポジションが仮登録されます。

4 設定ボタンをもう一度押してください。

現在のベッドのポジションが登録され、設定が完了します。



メモリーポジションを再設定したい場合は、再度1~4を行ってください。

警告

- 設定変更が完了したら、再度、手元スイッチ裏面の設定ボタンを押して、設定を確定してください。設定ボタンを押さないと変更した設定が確定されず、意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。
- メモリーポジションの設定は、すべてのアクチュエーターをコントロールボックスに差込んでから行ってください。意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。



初期設定では、以下のポジションが登録されています。

※初期設定では、メモリーボタンを押しても、高さ調節動作はしません。

メモリーポジション1 **①** : 背 30° 膝 6° 高さ調節動作なし

メモリーポジション2 **②** : 背 0° 膝 0° 高さ調節動作なし

5.設定のリセット

ベッドの操作設定を初期状態に戻します。

手元スイッチ表面のいずれかの操作ボタン2ヶ所と裏面の設定ボタンの計3個のボタンを同時に3秒以上長押しすると、ベッドの操作設定を初期状態に戻すことができます。

初期状態

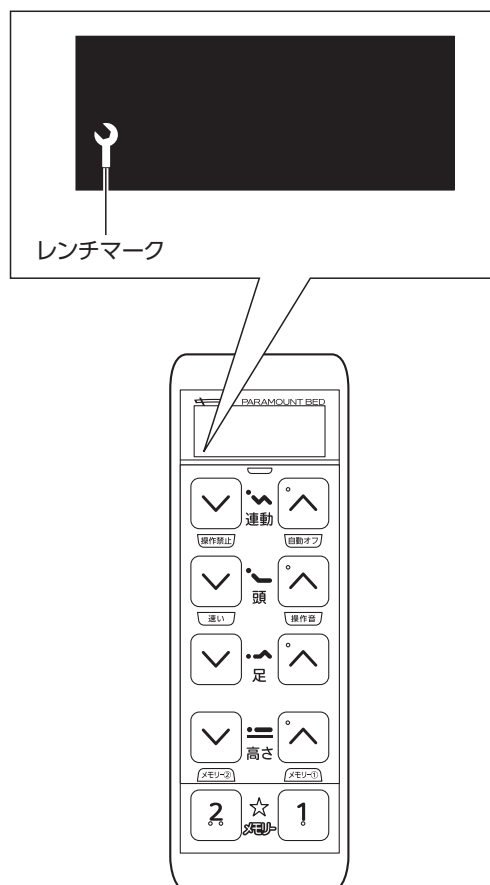
項目	状態
操作禁止	ロック解除 (すべての操作が可能)
動作速度	普通
自動オフ	無効
操作音	入
メモリー①	初期値 (背30° 膝6° 高さ調節動作なし)
メモリー②	初期値 (背 0° 膝0° 高さ調節動作なし)



停電後や電源プラグ、手元スイッチプラグを抜いた場合も、機能選択スイッチで設定した内容は取消しされません。必要に応じて、設定のリセットをしてください。

6.手元スイッチの交換お知らせ表示

手元スイッチの交換時期をお知らせします。



- 設定モードにした際、手元スイッチ上部の表示パネルにレンチマークが点灯しているときは、手元スイッチの交換時期であることを示しています。お買い上げの販売店、またはパラテクノコールセンター（☎裏表紙）までご連絡ください。

8 緊急時のベッド操作のしかた

災害などによる停電時、ベッドの故障などの緊急時に、背ボトムがさげられなくなった場合は、以下の方法で背ボトムをさげることができます。



停電以外の理由で背ボトムがさげられなくなった場合は、「**15** 故障かな?と思ったら」(P.53・54ページ)に従ってチェックを行い、ベッドが故障している場合には、パラテクノコールセンター (P.裏表紙) までご連絡ください。

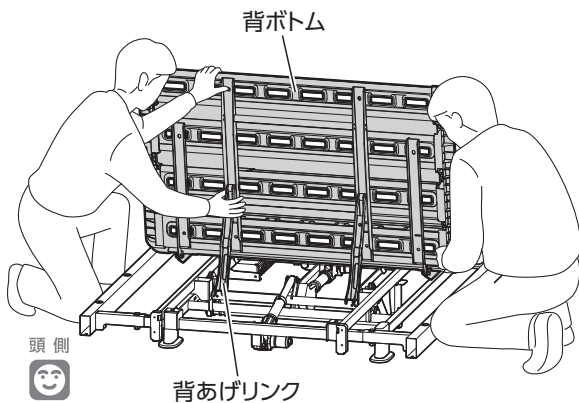
注意

手動による背さげのしかた/戻しかたの作業は、2人以上で行ってください。手や腕などをはさまれて、けがをするおそれがあります。

1.手動による背さげのしかた/戻しかた

背さげのしかた

- ① ベッドの電源プラグを、コンセントから抜く。
- ② ベッドをご使用の方にベッドから降りていただき、寝具・マットレスなどをベッドから降ろす。
- ③ ヘッドボードを取外す。(P.91ページ)
- ④ 背ボトムと背あげリンクを支える。



注意

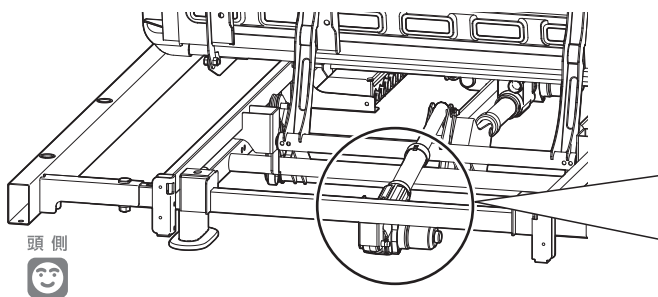
手動による背さげのしかた/戻しかたの作業は、背あげリンクをしっかり持ってください。背あげリンクがさがり、けがをするおそれがあります。

使用する工具

ペンチ・プライヤー (小)

↓ 次ページに続く

※イラストは背ボトムを省略しています。



<スナップピン (赤) の抜きかた>

- スナップピン (赤) を、右図の方向にひねり、そのままスナップピン (赤) の後端部を押して、ピンを抜く。

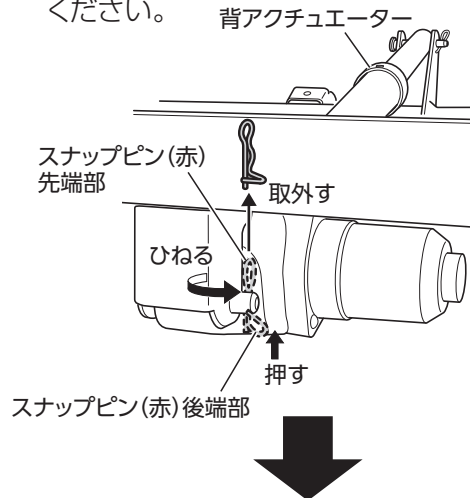
※ペンチで先端部をはさんで引っ掛けて作業を行うと、取外しが容易です。



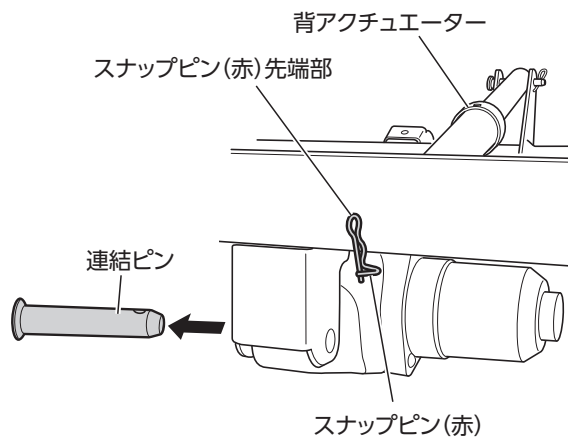
取外した連結ピンは、元の状態に戻すときに使用しますので、紛失しないように保管してください。

⑤ スナップピン (赤) を取外す。

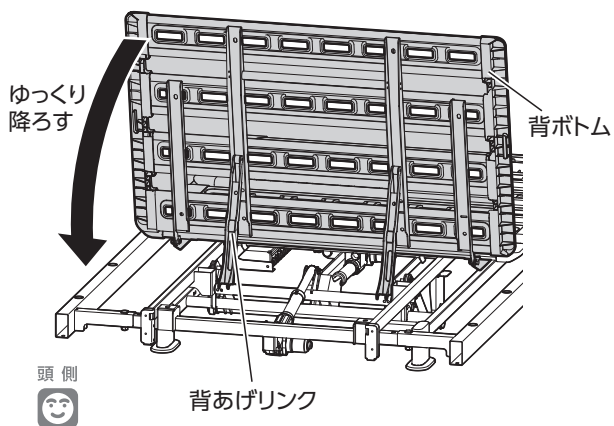
※背アクチュエーターを手で支えながら取外してください。



⑥ 連結ピンを取外す。
背あげリンクが自由に動きます。



⑦ 背あげリンクを降ろし、背ボトムをゆっくり降ろす。



⑧ ヘッドボードを取付ける。(P.75ページ)



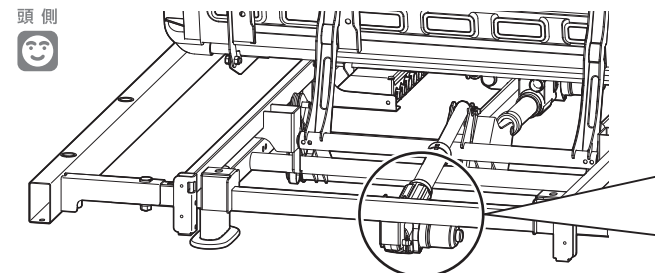
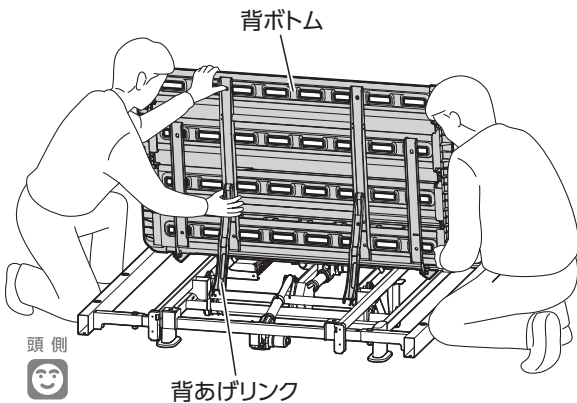
この作業を行ったときは、停電や故障から復帰後元の状態に戻すまで、電源プラグはコンセントから抜いたままにしておいてください。

8 緊急時のベッド操作のしかた

戻しかた

停電時は、電源の復帰後、以下の手順でベッドを元の状態に戻し、「4 組立後の点検」(P.85~89ページ)に従って点検を行ってください。

- ① ベッドをご使用の方にベッドから降りていただき、寝具・マットレスなどをベッドから降ろす。
- ② ヘッドボードを取外す。(P.91ページ)
- ③ 背ボトムと背あげリンクを持ちあげて、支える。



※イラストは背ボトムを省略しています。

④ 背アクチュエーターの穴と背アクチュエーター取付部の穴の位置をあわせ、連結ピンを差込み、スナップピン(赤)で固定する。
※背アクチュエーターを持ちながら取付けてください。

背アクチュエーター

スナップピン(赤)

連結ピン

差込む



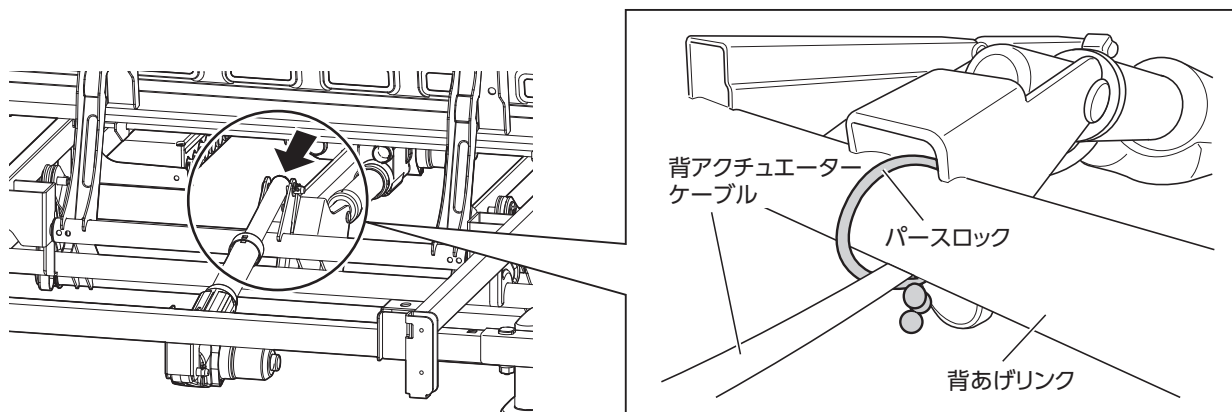
連結ピンは、手動で背さげしたときに取外したものを使用してください。

注意

スナップピン(赤)は、再利用しないでください。ベッドが破損して、けがをするおそれがあります。新しいスナップピン(赤)は、パラテクノコールセンター(P.裏表紙)までご依頼ください。

- ⑤ ベッドの電源プラグをコンセントに差込む。
- ⑥ 手元スイッチを操作して、背ボトムを一番下までさげる。
- ⑦ ヘッドボードを取付ける。(P.75ページ)

↓ 次ページに続く



背あげリンクに付いているパースロック内に、背アクチュエーターケーブルが通っていることを確認してください。

2.スマートハンドル (NN-2000 : 別売) について

■スマートハンドル (NN-2000 : 別売) で、「背あげ/背下げ」「膝あげ/膝下げ」「高さ上げ」の操作を行うことができます。

※ベッドの故障状況によっては、操作ができない場合があります。

注意

スマートハンドル操作時は、ベッドの電源プラグがコンセントから抜けていることを確認してください。操作中にベッドの手元スイッチの操作ボタンが押されると、ベッドが故障するおそれがあります。



詳細な取扱いは、スマートハンドルに添付されている取扱説明書をご覧ください。

9 サイドパネルの取付向き変更方法

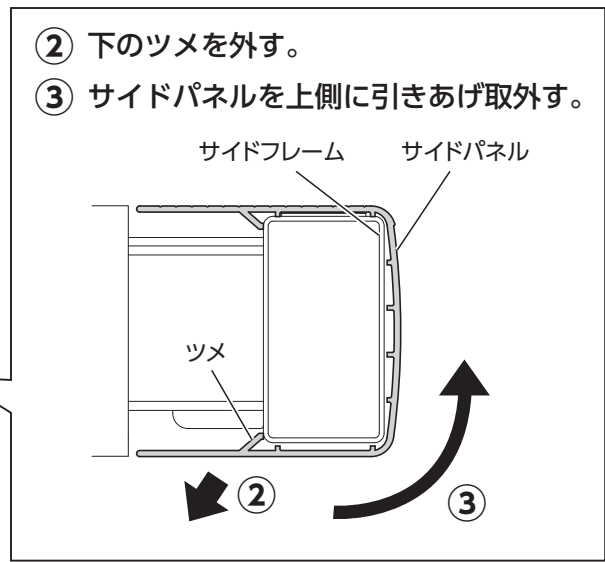
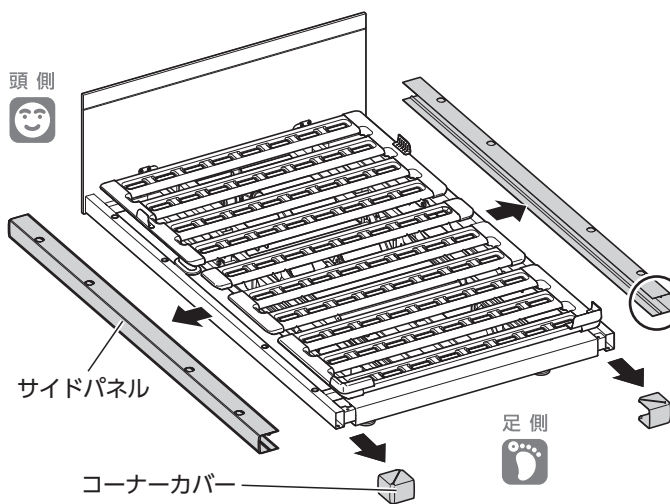
警告

サイド/エンドパネル・コーナーカバーは確実に取付けてください。確実に取付いていない状態で使用すると、思わぬけがをしたり、ベッドが破損したりするおそれがあります。

注意

一度取付けたサイド/エンドパネル・コーナーカバーを取外す場合は十分注意して行ってください。無理に取外そうとすると、破損したり外れやすくなったりします。

ハリウッドスタイル



① コーナーカバー内側上下のツメBを外し (P.38ページ)、コーナーカバーを取外す。

注記 サイドパネルを取外す際は、ボードを傷つけないように注意してください。

④ サイドパネルの向きを選択する。
<オプション取付穴を使用しない場合>

<オプション取付穴を使用する場合>



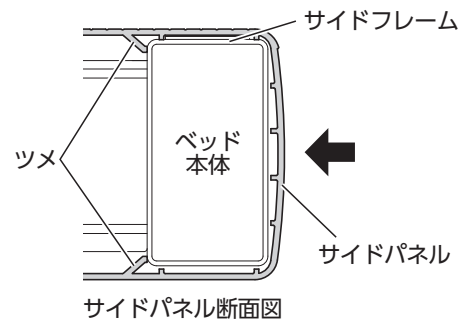
⑤

【サイドパネルの取付け】

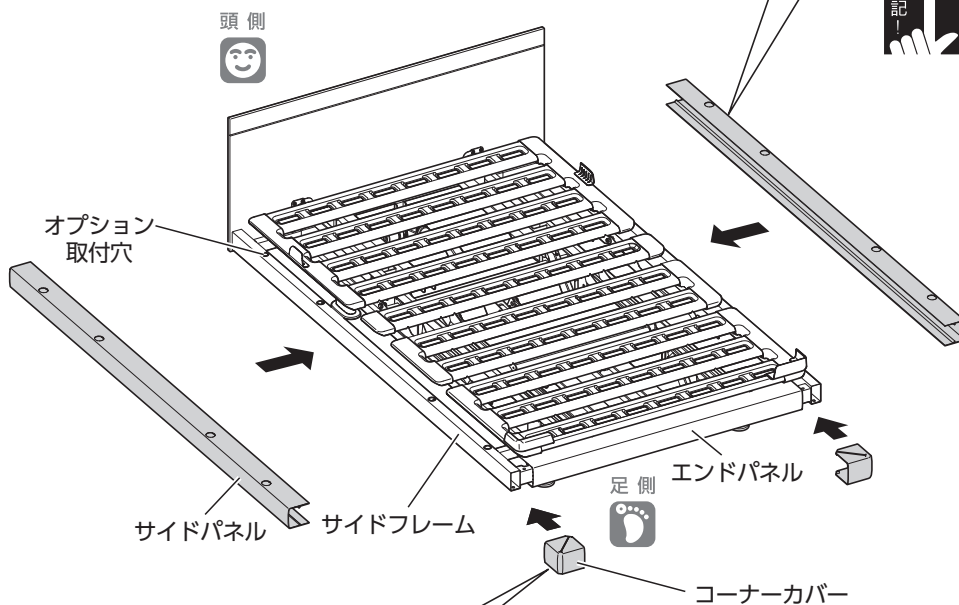
ツメがサイドフレームに引っ掛かるまで、押込む。
(左右各1ヶ所)

※オプション取付穴を使用する場合

- サイドパネルの穴を上側にして取付ける。
- エンドパネル・コーナーカバーの取付け向きは変えない。



サイドパネルを取付ける際は、
ボードを傷つけないように
注意してください。

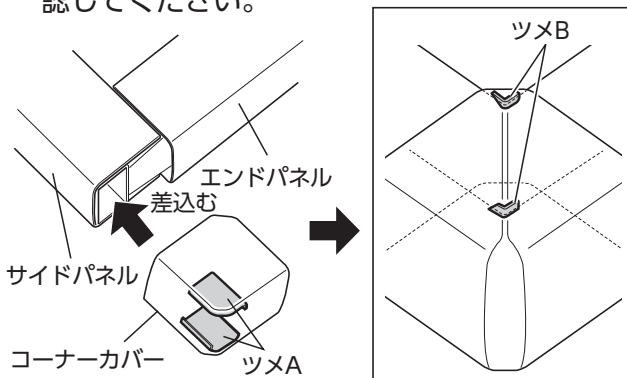


⑥

【コーナーカバーの取付け】

ツメ A をサイドフレームの中に差込む。
(左右各1ヶ所)

※取付け後、ツメ B がサイドパネルとエンド
パネルに確実に引っ掛かっていることを確
認してください。

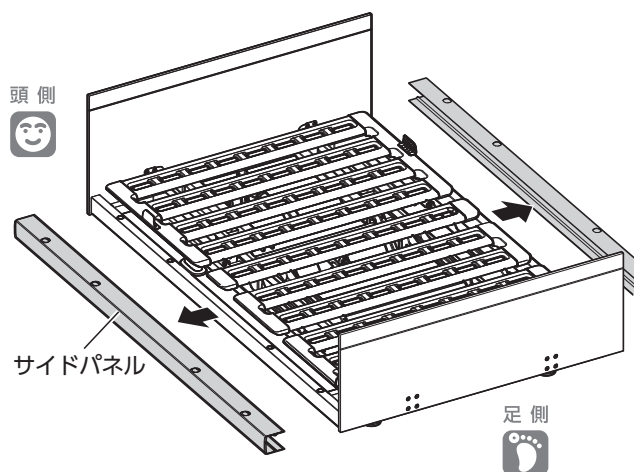


ちゅうい
⚠ 注意

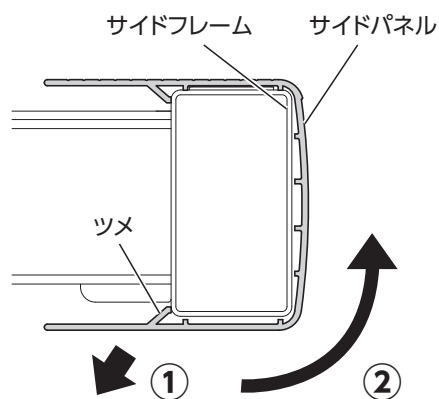
コーナーカバーの左右の向きに注意して取付け
てください。左右を取付け間違えると、破損・
変形の原因となります。

9 サイドパネルの取付向き変更方法

ヨーロピアンスタイル



- ① 下のツメを外す。
- ② サイドパネルを上側に引きあげ取外す。

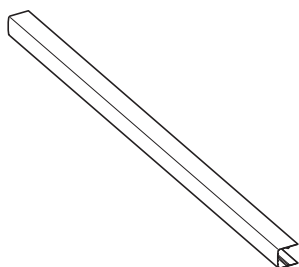


※ヨーロピアンスタイルには、エンドパネルとコーナーカバーはありません。



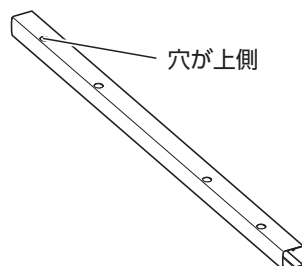
サイドパネルを取外す際は、ボードを傷つけないように注意してください。

- ③ サイドパネルの向きを選択する。
<オプション取付穴を使用しない場合>



ひっくり返す
↔

- <オプション取付穴を使用する場合>

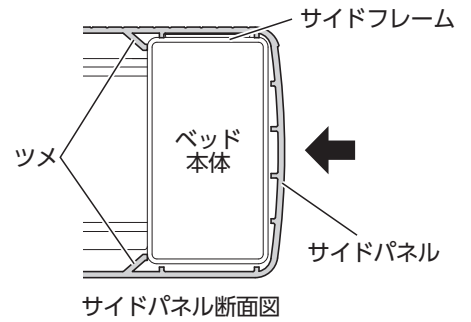


④

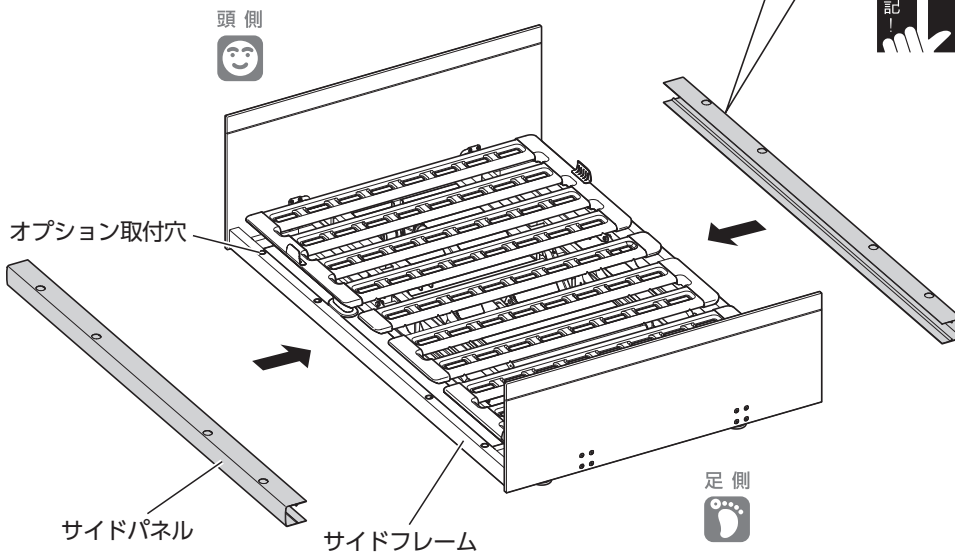
【サイドパネルの取付け】

ツメがサイドフレームに引っ掛かるまで、押込む。
(左右各 1 ヶ所)

※オプション取付穴を使用する場合は、サイド
パネルの穴を上側にして取付けてください。



サイドパネルを取付ける際は、
ボードを傷つけないように
注意してください。



10 適合オプション

ここに記載されているオプション以外を使用する場合は、直接弊社（☎裏表紙）までお問い合わせください。

各オプションの品番は、段ボール箱・製品識別表示ラベルに記載されています。

※製品識別表示ラベル上は、S****、Q****と表示されています。

例) S161Q → KS-161Qを示します。



適合品は、仕様の変更や組合せなどにより変わる場合があります。また、新製品や製品の販売終了により、適合品が記載されていない場合があります。適合品についてご不明な点は、直接弊社（☎裏表紙）までお問い合わせください。



警告

- オプションは正しい組合せを確認した上でご使用ください。誤った組合せで使用すると、思わぬけがや故障の原因となります。
- ここに記載されているオプション以外は使用しないでください。意図せぬすき間の発生や製品の破損・変形などにより、けがをするおそれがあります。
- オプションを使用するときは、各オプションの取扱説明書をお読みください。

適合表

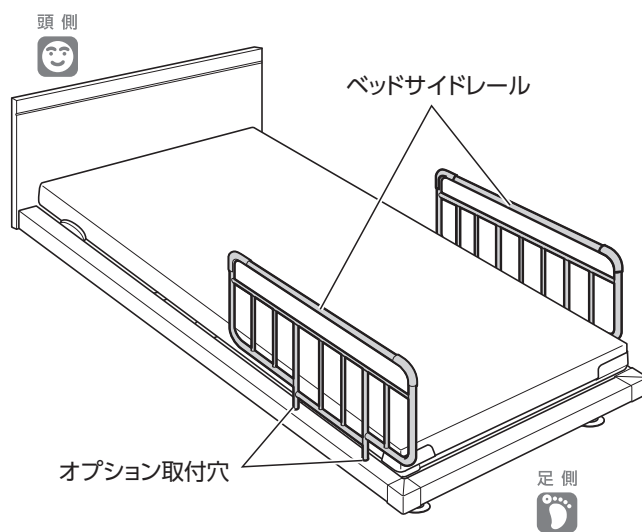
製品名		品番	参照ページ
ベッドサイドレール	KS-161Qシリーズ	KS-161Q・KS-166・KS-126B/C/M/W	42
	KS-171Qシリーズ	KS-171Q・KS-176・KS-146B/C/M/W	42
	KS-191Qシリーズ	KS-191Q	42
	KS-111Qシリーズ	KS-111Q/KS-116Q	42
ソフトカバー付ベッドサイドレール		KS-161QC・KS-171QC・KS-191QC KS-126BC/CC/MC/WC・KS-146BC/CC/MC/WC KS-166QC・KS-176QC	42
クリアカバー付ベッドサイドレール		KS-161QT・KS-171QT・KS-191QT KS-126BT/CT/MT/WT・KS-146BT/CT/MT/WT KS-166QT・KS-176QT	42
サクッとポケット付ベッドサイドレール		KS-161QAP/QBP/QCP KS-171QAP/QBP/QCP KS-191QAP/QBP/QCP	42
ソフトガードサイドレール		KS-019A	42
ベッド用グリップ	スイングアーム介助バー	KS-098A・KS-099A/B	42
	サイドグリップ	KS-030A	42
ソフトカバー付ベッド用グリップ	スイングアーム介助バー	KS-098ACL	43
	サイドグリップ	KS-030AC	43
キャスター		KQ-39A () ・ KQ-38A ()	43
ハイトスペーサー		KQ-37A ()	44
フットボード	ヘッドボードがスクエア・キューブ (宮付) と対応	RQ-17SBFB・RQ-17SCFB・RQ-17SEFB・RQ-17SFFB・ RQ-17SGFB・RQ-17SJFB	44
	ヘッドボードがラウンドと対応	RQ-17[W/A]BFB・RQ-17[W/A]CFB・RQ-17[W/A]EFB・ RQ-17[W/A]JFB RQ-17[B/D]BFB・RQ-17[B/D]CFB・RQ-17[B/D]FFB・ RQ-17[B/D]JFB RQ-17[G/E]BFB・RQ-17[G/E]CFB・RQ-17[G/E]EFB・ RQ-17[G/E]GFB・RQ-17[G/E]JFB	
ベッドサイドテーブル		KF-1900/1920/1930/1950/1960/1970/1924/1934/ 1954/1964/1974/282	44・45
サイドテーブル		RF-30R/Y/W	44・45
脚座ゴムシート		KQ-P732 ()	46
脚座カーペット		KQ-P731	46
スマートハンドル		NN-2000	46
電動介護リフト		KQ-781・KQ-787	50・51

1. ベッドサイドレール

- ベッドの両サイドのオプション取付穴を利用して、ベッドサイドレールが使用できます。
- ベッドサイドレールは、ベッドで寝ている方の転落予防、寝具の落下防止を目的としています。
- 立ちあがり時など、支えとしてお使いになる場合は、ベッド用グリップをお使いください。
- 安全のために、使用者が転落するおそれがある場合は、組合せ可能なベッドサイドレール(☞48ページ)と組合せてお使いください。
- 使用する方の状態に応じて、すき間を少なくしたソフトガードサイドレール(KS-019A)や各種カバーをお使いください。



KS-191QはKS-098A・KS-099A/B・KS-030Aと組合せるもしくは、単独でベッドサイドに取付けて使用するものです。他のベッド用グリップやベッドサイドレールなどと並べて使用したり、KS-191Qを2本並べて使用したりしないでください。詳しくは、「**適合オプションの組合せと取付位置**」(☞47・48ページ)をご覧ください。



ベッドサイドレール適合表

ベッドサイドレール	KS-161Q・KS-171Q・KS-191Q KS-126B/C/M/W・KS-146B/C/M/W・KS-166・KS-176・KS-111Q・KS-116Q
ソフトガードサイドレール	KS-019A

2. ソフトカバー付 / クリアカバー付 / サクっとポケット付ベッドサイドレール

- ソフトカバー付/クリアカバー付/サクっとポケット付ベッドサイドレールは、表のベッドサイドレールと各種カバー/サクっとポケットのセットです。
- 表以外のベッドサイドレールとは組合せないでください。
- ソフトカバー/クリアカバー/サクっとポケットのみでもお求めいただけます。

ソフトカバー付ベッドサイドレール適合表

ソフトカバー付ベッドサイドレール	ベッドサイドレール	ソフトカバー
KS-161QC	KS-161Q	KS-16C
KS-166QC	KS-166	
KS-126BC/CC/MC/WC	KS-126B/C/M/W	
KS-171QC	KS-171Q	KS-17C
KS-176QC	KS-176	
KS-146BC/CC/MC/WC	KS-146B/C/M/W	
KS-191QC	KS-191Q	KS-19CA

クリアカバー付ベッドサイドレール適合表

クリアカバー付ベッドサイドレール	ベッドサイドレール	クリアカバー
KS-161QT	KS-161Q	KS-16T
KS-166QT	KS-166	
KS-126BT/CT/MT/WT	KS-126B/C/M/W	
KS-171QT	KS-171Q	KS-17T
KS-176QT	KS-176	
KS-146BT/CT/MT/WT	KS-146B/C/M/W	
KS-191QT	KS-191Q	KS-19T

サクっとポケット付ベッドサイドレール適合表

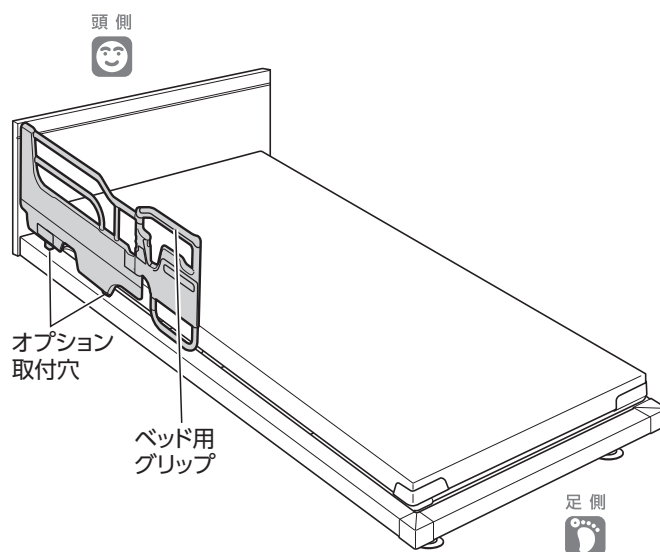
サクっとポケット付ベッドサイドレール	ベッドサイドレール	サクっとポケット
KS-161QAP	KS-161Q	KS-15P
KS-161QBP		KS-16P
KS-161QCP		KS-15P・KS-16P
KS-171QAP	KS-171Q	KS-15P
KS-171QBP		KS-16P
KS-171QCP		KS-15P・KS-16P
KS-191QAP	KS-191Q	KS-15P
KS-191QBP		KS-16P
KS-191QCP		KS-15P・KS-16P

3. ベッド用グリップ (スイングアーム介助バー/サイドグリップ)

- ベッドの両サイドのオプション取付穴を利用して、ベッド用グリップが使用できます。
- 安全のために、使用者が転落するおそれがある場合は、ベッド用グリップと併用して、ベッドサイドレール (KS-191Qシリーズ)・サイドグリップ (KS-030A) をお使いください。
- 使用する方の状態に応じて、すき間を少なくしたソフトカバーをお使いください。

ベッド用グリップ適合表

スイングアーム介助バー	KS-098A・KS-099A/B
サイドグリップ	KS-030A



4. ソフトカバー付ベッド用グリップ

- ソフトカバー付ベッド用グリップは、表のベッド用グリップとソフトカバーのセットです。
- 表以外のベッド用グリップとは組合せないください。
- ソフトカバーのみでもお求めいただけます。



ソフトカバー付ベッド用グリップ適合表

ソフトカバー付ベッド用グリップ	ベッド用グリップ	ソフトカバー
KS-098ACL	KS-098A	KS-98CL
KS-030AC	KS-030A	KS-30C

5. キャスター

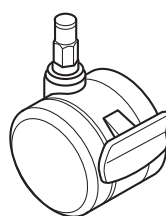
- キャスターを取付けることにより、室内での配置換えや掃除をするときなどのベッドの移動を補助します。

キャスター適合表

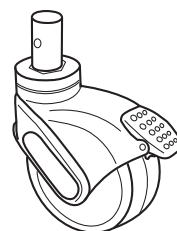
キャスター	KQ-39A ()
	KQ-38A ()

KQ-39A: ベッドの高さは変わりません

KQ-38A: ベッドの高さが11.5cm高くなります



KQ-39A



KQ-38A

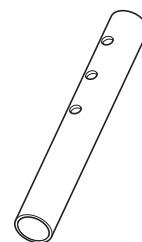
6.ハイトスペーサー 1+1 モーター

ハイトスペーサーを取付けることにより、ベッドの高さを7cm高くすることができます。

ハイトスペーサー適合表

ハイトスペーサー	KQ-37A
----------	--------

※キャスターを取付けることはできません。



KQ-37A

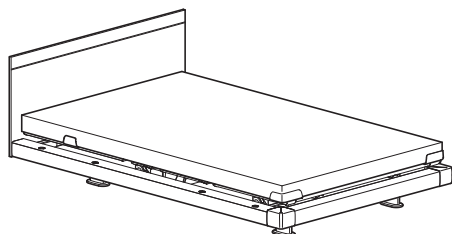
7.フットボード

オプションのフットボードを取付けることでハリウッドスタイルからヨーロッパンスタイルに変更ができます。

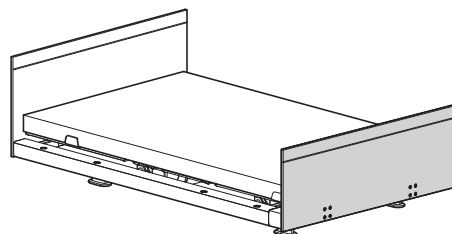
フットボード適合表

ヘッドボードがスクエア・キューブ（宮付）と対応	RQ-17SBFB・RQ-17SCFB・RQ-17SEFB・RQ-17SFFB・RQ-17SGFB RQ-17SJFB
ヘッドボードがラウンドと対応	RQ-17[W/A]BFB・RQ-17[W/A]CFB・RQ-17[W/A]EFB・RQ-17[W/A]JFB RQ-17[B/D]BFB・RQ-17[B/D]CFB・RQ-17[B/D]FFB・RQ-17[B/D]JFB RQ-17[G/E]BFB・RQ-17[G/E]CFB・RQ-17[G/E]EFB・RQ-17[G/E]GFB・RQ-17[G/E]JFB

ハリウッドスタイル



ヨーロッパンスタイル



8.ベッドサイドテーブル／サイドテーブル

ベッドサイドテーブルは、ベッド上で食事や軽作業をするときに使用する製品です。

サイドテーブルは、ベッドの脇で小物などを置く際に使用する製品です。

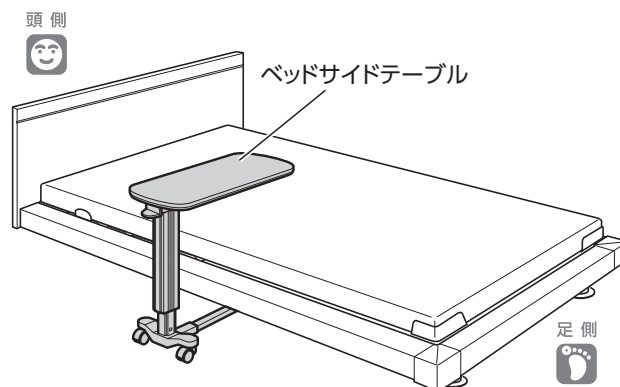
ベッドサイドテーブル適合表

ベッドサイドテーブル	KF-1900・KF-1920・KF-1930 KF-1950・KF-1960・KF-1970 KF-1924・KF-1934・KF-1954 KF-1964・KF-1974・KF-282
------------	---

サイドテーブル適合表

サイドテーブル	RF-30R/Y/W
---------	------------

3
モーターの場合サイドテーブルは、右図のようにベッドの下に差込むことができません。ベッド脇に置いて使用してください。




※イラストはベッドサイドテーブルで説明しています。

10 適合オプション

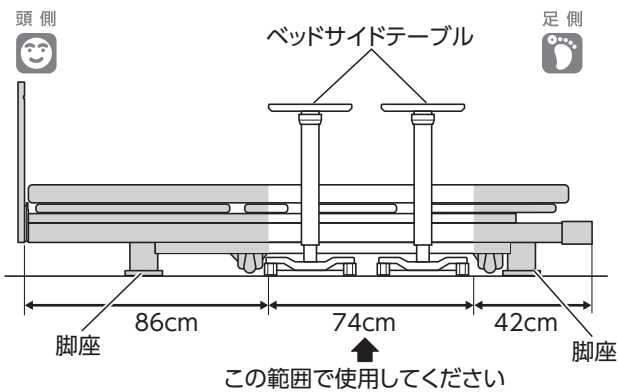
警告

ベッドサイドテーブルをベッドに設置しているときは、ベッドの操作をしないでください。背あげ・高さ調節などのベッド操作をするとベッドとベッドサイドテーブルの間にはさまれてけがをしたり、ベッドサイドテーブルやベッドが破損・変形したりするおそれがあります。ベッドの背・膝あげや高さ調節などをするときは、ベッドサイドテーブルをベッドから離してください。

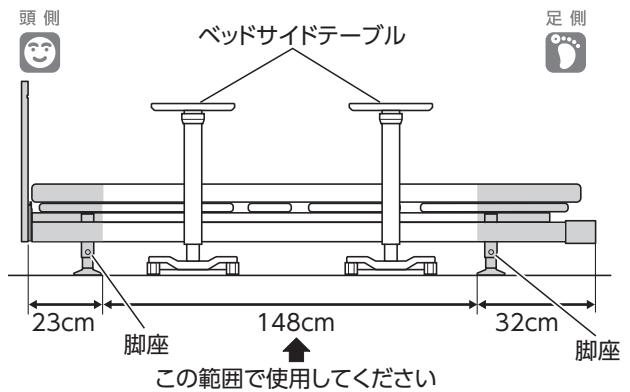
注意

下図は、ベッドサイドテーブル・サイドテーブルの使用範囲を示しています（部分は使用不可）。下図の範囲外で使用すると、ベッドサイドテーブル・サイドテーブルが破損・変形するおそれがあります。

3
モーター



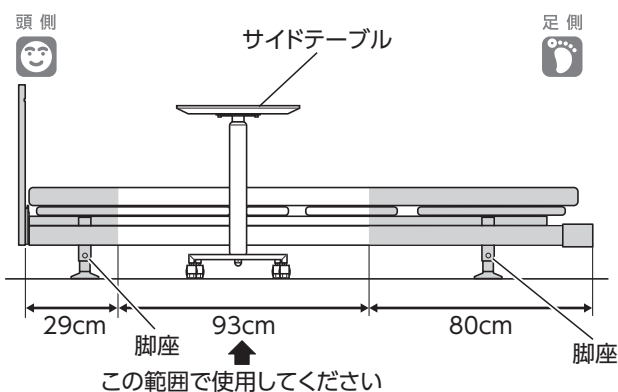
1+1
モーター



< ベッドサイドテーブル >

1+1
モーター

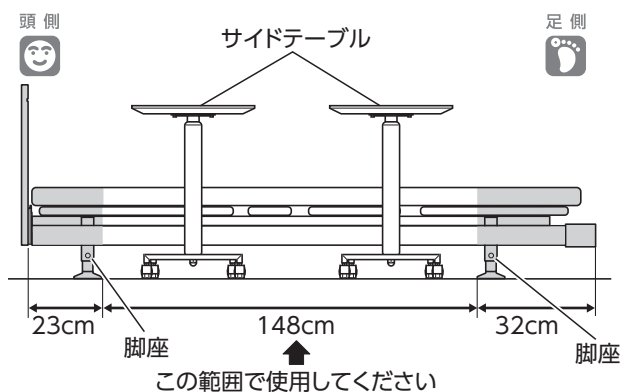
ベッド高さ[低]の場合



1+1
モーター


ベッド高さ[中・高]の場合

ハイトスペーサー・キャスターを取付けた場合



< サイドテーブル >



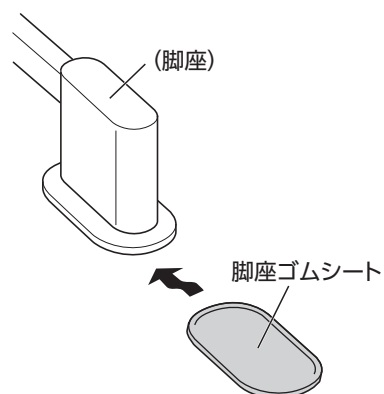
ベッドサイドレール・ベッド用グリップなどを併用する（設置している）場合、ベッドの高さが最高高さ付近では、ベッドサイドテーブルを使用できません。 

9.脚座ゴムシート 3 モーター

ベッド本体の滑り止めや、脚座やキャスターによる床面への傷つき防止用に使用します。

脚座ゴムシート適合表

脚座ゴムシート	KQ-P732
---------	---------

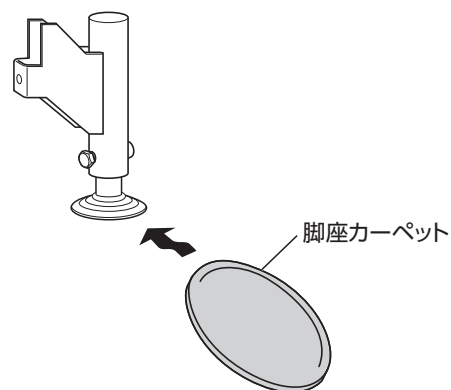


10.脚座カーペット

ベッド本体の滑り止めや、脚座やキャスターによる床面への傷つき防止用に使用します。

脚座カーペット適合表

脚座カーペット	KQ-P731
---------	---------



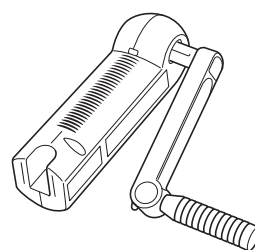
11.スマートハンドル

災害などによる停電時、ベッドの故障などの緊急時に、「背あげ/背下げ」「膝あげ/膝下げ」「高さ上げ」を行うことができます。

※ベッドの故障状況によっては、操作ができない場合があります。

スマートハンドル適合表

スマートハンドル	NN-2000
----------	---------



11 適合オプションの組合せと取付位置

適合オプションの組合せと取付位置は、下図を参照して正しく取付けてください。正しい組合せと取付位置を「○」で、誤った組合せと取付位置を「×」で表しています。



- 正しい組合せと取付位置については、全機種共通です。
- 各オプションにソフトカバー、クリアカバーおよびサクッとポケットを取付けた場合の正しい組合せと取付位置も同じです。
- ご不明な点がありましたら、直接弊社（☎裏表紙）までお問い合わせください。

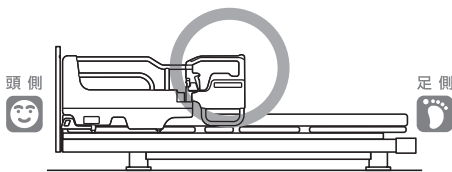
警告

ベッド用グリップやベッドサイドレールは、正しい組合せを確認した上でご使用ください。意図せぬすき間の発生により、けがをするおそれがあります。

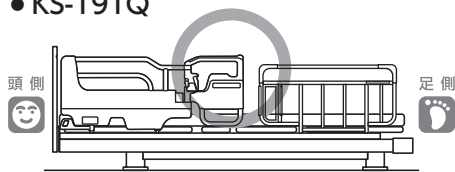
1. ベッド用グリップ（スイングアーム介助バー/サイドグリップ）を使用する場合

各オプションを頭側と足側で入れ替えた場合も同様です。

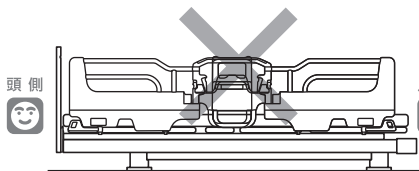
- KS-098A
- KS-099A/B



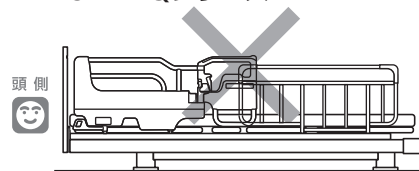
- KS-098A
- KS-099A/B
- +
- KS-191Q



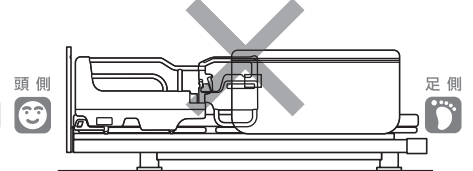
- KS-098A
- KS-099A/B
- +
- KS-098A
- KS-099A/B



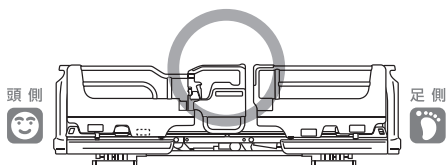
- KS-098A
- KS-099A/B
- +
- KS-161Qシリーズ
- KS-171Qシリーズ
- KS-111Qシリーズ



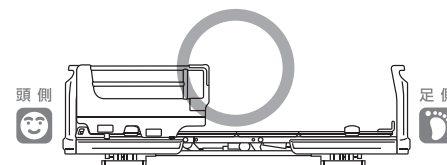
- KS-098A
- KS-099A/B
- +
- KS-019A



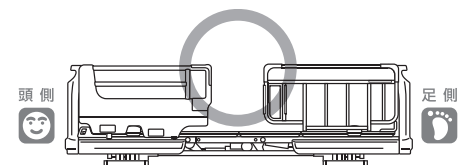
- KS-098A
- KS-099A/B
- +
- KS-030A



- KS-030A

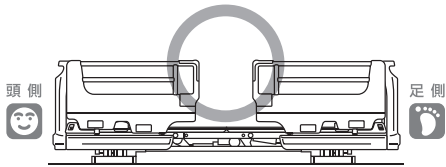


- KS-030A
- +
- KS-191Q

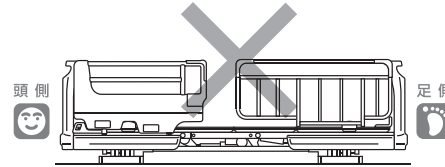


↓ 次ページに続く

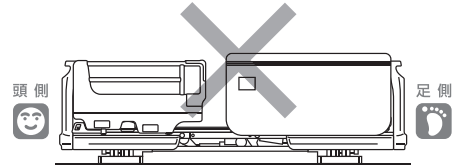
- KS-030A
+
● KS-030A



- KS-030A
+
● KS-161Qシリーズ
● KS-171Qシリーズ
● KS-111Qシリーズ



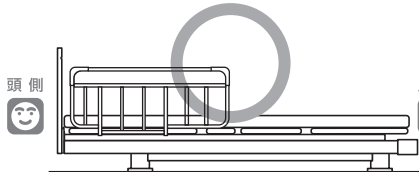
- KS-030A
+
● KS-019A



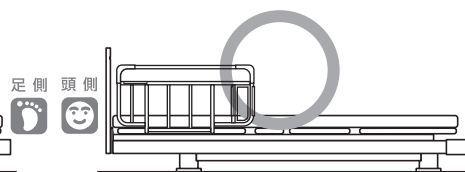
2. ベッドサイドレールを使用する場合

- 各オプションを頭側と足側で入れ替えた場合も同様です。
- 別シリーズのベッドサイドレールの組合せでは高さに差が生じる場合があります。

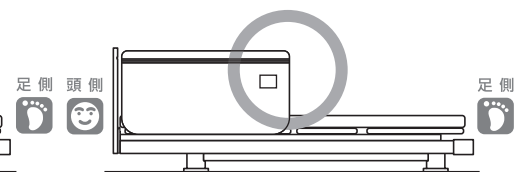
- KS-161Qシリーズ
● KS-171Qシリーズ
● KS-111Qシリーズ



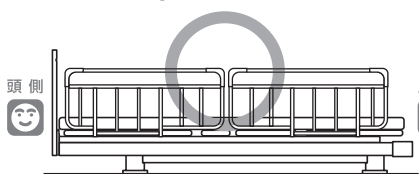
- KS-191Q



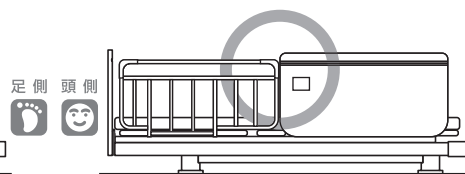
- KS-019A



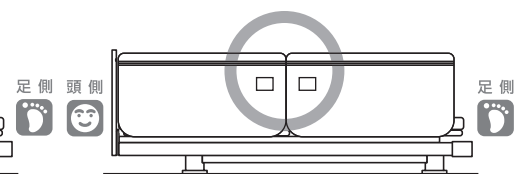
- KS-161Qシリーズ
● KS-171Qシリーズ
● KS-111Qシリーズ
+
● KS-161Qシリーズ
● KS-171Qシリーズ
● KS-111Qシリーズ



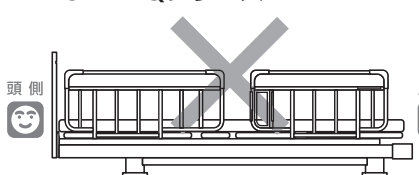
- KS-161Qシリーズ
● KS-171Qシリーズ
● KS-111Qシリーズ
+
● KS-019A



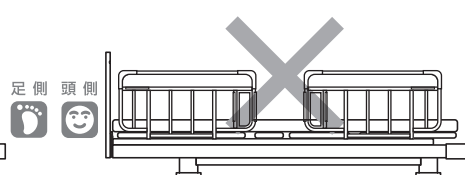
- KS-019A
+
● KS-019A



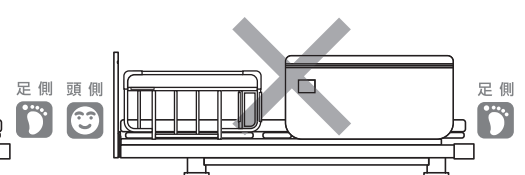
- KS-191Q
+
● KS-161Qシリーズ
● KS-171Qシリーズ
● KS-111Qシリーズ



- KS-191Q
+
● KS-191Q



- KS-191Q
+
● KS-019A



12 マットレス（別売）



- マットレスを設置しない状態では、ベッドを使用しないでください。ボトムのすき間や穴に手や足の指などがはさまれて、けがをするおそれがあります。
- このベッドには、弊社が指定する適合品のマットレスを組合せてご使用ください。弊社が指定する適合品以外のマットレスと組合せると、寸法や折れ曲がりの点で適合しないだけでなく、ベッドサイドレールやベッド用グリップなどにはさまれてけがをしたり、ベッドに負担をかけて故障の原因となったりします。

適合マットレス

専用マットレス

品名	品番	幅×長さ (cm)	厚さ (cm)
カルム コア	RM-E539	120×195	9
カルム アドバンス	RM-E589A	120×195	12

一般用マットレス

品名	品番	幅×長さ (cm)	厚さ (cm)
グレイクス1000	RB-ZA120G	120×195	15
スマートスリープライト	MW-C310N	120×195	9
スマートスリープベーシック	MW-C200N B9004	120×195	15.5
スマートスリープアクア	MW-C200N	120×195	15.5



- 詳細な取扱いは、マットレスに添付されている取扱説明書をご覧ください。
- マットレスはベッドの幅・長さにあわせたものをご使用ください。
- 仕様変更などにより、この取扱説明書の記述と一部異なる場合があります。ご不明な点は直接弊社までお問い合わせください。（裏表紙）

13 電動介護リフト（床走行式リフト）の使用上のご注意

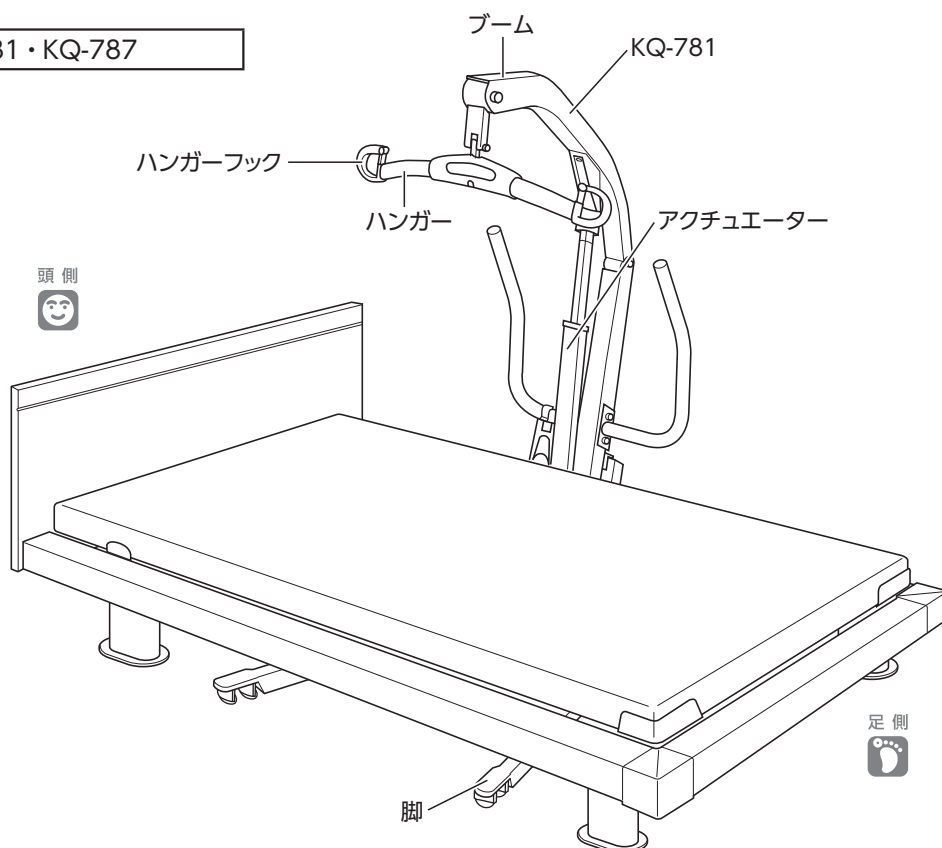
電動介護リフトは、ベッドから車いすへの移乗など、さまざまな移乗動作を補助する製品です。

警告

- 電動介護リフトに添付されている取扱説明書をお読みください。誤った使いかたをすると、思わぬけがをするおそれがあります。
- ベッド操作時および電動介護リフト操作時は、電動介護リフトの周囲に注意してください。
 - ・ ベッドとハンガーの間にはさまれたり、ハンガーに当たったりしてけがをするおそれがあります。
 - ・ ブームやハンガーが人に当たってけがをしたり、ベッドや家具などに当たり破損したりするおそれがあります。
 - ・ ハンガーフックがベッドサイドレールなどに引っ掛かり、電動介護リフトやベッドサイドレールなどが破損・変形するおそれがあります。
 - ・ ベッドと電動介護リフトの脚部やアクチュエーター部などが当たり、破損・変形するおそれがあります。
- 電動介護リフトの脚をベッドの下に差込んでいるときは、電動介護リフトのキャスターのロックを掛けないでください。ベッド操作のときに、ベッドと電動介護リフトの脚部やアクチュエーター部などが当たると、電動介護リフトが転倒してけがをしたり、ベッドや電動介護リフトが破損・変形したりするおそれがあります。
- 電動介護リフトの脚をベッドの下に差込むときは、電源コードを踏んだり乗り越えたりしないでください。電源コードが破損して、感電・火災のおそれがあります。

電動介護リフト適合表


電動介護リフト	KQ-781・KQ-787
---------	---------------

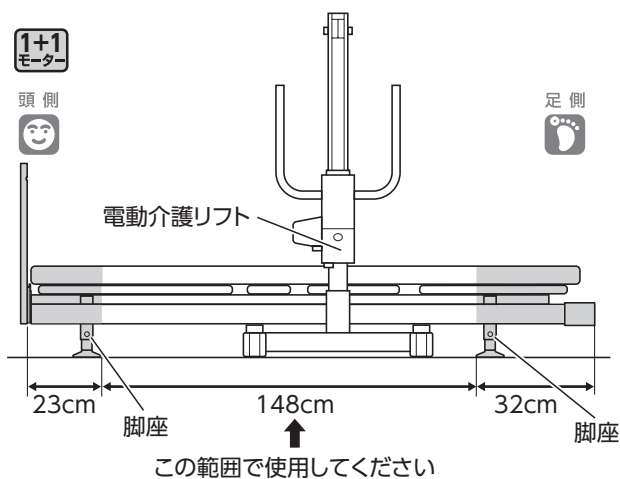
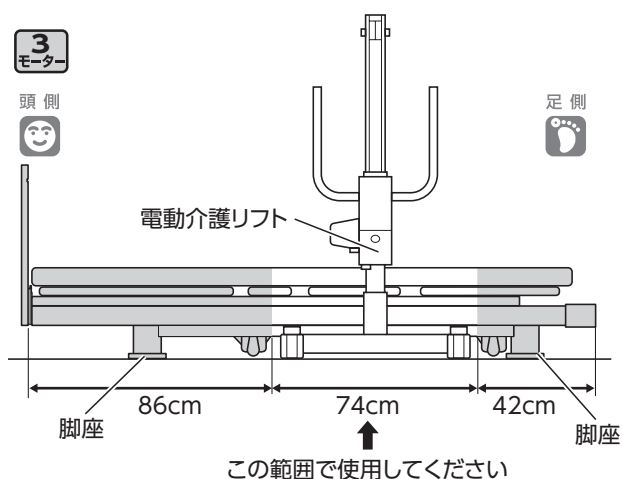


↓ 次ページに続く

13 電動介護リフト（床走行式リフト）の使用上のご注意

注意

右図は、電動介護リフトの使用範囲を示しています（部分は使用不可）。右図の範囲外で使用すると、電動介護リフトが破損・変形するおそれがあります。



ベッドにベッドサイドレールやベッド用グリップなどを併用する（設置している）場合、ベッドの高さが最高高さ付近では、電動介護リフトを使用できません。

1. 定期点検について

ベッドを安全にご使用いただくために、1年に1回は定期的に点検してください。使用の頻度や環境により製品は摩耗・劣化します。定期的に各部のゆるみ、可動部の動作、破損の有無などを点検してください。

- 点検項目は、「**4** 組立後の点検」(P.85～89ページ)をご覧ください。
- 異常が認められた場合や詳しい点検を希望される場合は、パラテクノコールセンター (P.裏表紙) までお問い合わせください。

2. 日常のお手入れについて

ベッドを快適にご使用いただくためには、日常のお手入れが大切です。下記の要領で、ベッドを清潔にしてください。

警告

- お手入れするときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。誤操作により、はさまれてけがをするおそれがあります。
- ベッドに水をかけて掃除しないでください。感電するおそれがあります。

注意

お手入れするときは、ベッド各部の突起部分でけがをしないように注意してください。

ベッド本体のお手入れ

■ 汚れの落とし方

- ① 水で薄めた中性洗剤にひたした布を、よくしぼって拭いてください。
- ② 水でひたした布をよくしぼって、残った洗剤分を拭き取ってください。
- ③ 乾いた布で残った水分を拭き取ってください。

■ 消毒のしかた

下記の消毒剤を、指定の濃度、消毒剤の取扱説明書などの指示に従ってご使用ください。

消毒剤	指定の濃度
消毒用エタノール	76.9～81.4%
塩化ベンザルコニウム (オスバンなど)	～0.2%
塩化ベンゼトニウム (ハイアミンなど)	～0.2%
グルコン酸クロルヘキシジン (ヒビテンなど)	～0.05%
次亜塩素酸ナトリウム (ミルトンなど)	～0.05%



オゾン殺菌器、オートクレーブ滅菌器などには対応できません。

注意

- 揮発性のもの (シンナー、ベンジン、ガソリンなど) やクレゾールは使用しないでください。変色・変質するおそれがあります。



- 消毒剤を使用する場合は、指定以外の薬品を使用しないでください。破損・変質のおそれがあります。
- 中性洗剤を使用した場合は、その後水拭きをしてください。水拭きをしないと樹脂の部分が割れるおそれがあります。

オプションのお手入れについて

各オプションに添付されている取扱説明書の指示に従ってください。

マットレスのお手入れについて

マットレスに添付されている取扱説明書の指示に従ってください。

滑り止めシートのお手入れについて

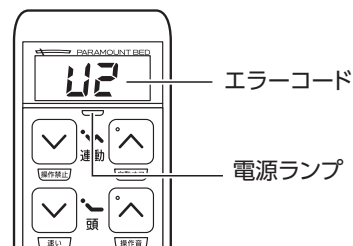
滑り止めシートの表面が汚れた場合、表面を傷つけないよう柔らかいスポンジと中性洗剤で洗い、水でよくすすいでから陰干ししてください。

15 故障かな？と思ったら


- 故障でない場合がありますので、修理を依頼される前にもう一度、以下の項目をチェックしてください。
- チェック・処置をしても正常に動作しない場合は、ただちにベッドの使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、パラテクノコールセンター（☎裏表紙）まで修理をご依頼ください。
- 以下の症状により、電動で背さげをできない場合は、手動またはスマートハンドルで背さげを行ってください。（☎33～36ページ）
- 故障や一時的異常の場合は、表示パネルにエラーコードが表示されることがあります。エラーコードを確認してください。



警告
地震・火災・水害などで被災したベッドは、パラテクノコールセンター（☎裏表紙）まで点検・修理をご依頼ください。感電・火災の原因となったり、ベッドの動作異常で、けがをしたりするおそれがあります。



状態 (症状)	手元スイッチの電源ランプ	手元スイッチのエラーコード	チェック	処置	参照ページ
操作ボタンを押してもベッドが動作しない	消灯	—	電源プラグはコンセントに差込まれていますか？	電源プラグをコンセントに差込んでください。	—
		—	電源プラグはコンセントに差込んでいるが、手元スイッチの電源ランプが消えていませんか？	コンセントに他の電気機器を接続して、電気がきていることを確認してください。	—
	緑で点灯	—	押した操作ボタンの操作選択ランプが消えていませんか？	操作禁止ボタンを操作して、操作ボタンを有効（操作可能）にしてください。	30
		—	手元スイッチの電源が「OFF」になっていませんか？	一度操作ボタンを押すことで、電源が「ON」になります。もう一度、操作ボタンを押してください。	20
	常時、赤で速い点滅（0.2秒ごと）	H1～H9	—	一度電源プラグを抜いて、手元スイッチの電源ランプが消えたことを確認して、もう一度コンセントに差直してください。	—
	ボタンを押したときだけ赤で遅い点滅（1秒ごと）	U0	操作ボタンを押したまま、電源プラグをコンセントに差込みませんでしたか？	押されている操作ボタンを離してください。	—
		U1	可動部分に障害物はありませんか？	障害物を取除いてから操作を行ってください。	—
		U2	手元スイッチのコネクターが抜けかけていませんか？	手元スイッチのコネクターを抜いて、差直してください。	82
			ベッド上で電子治療器などを使用していませんか？	通信状態の異常を知らせる保護機能が働いたと思われます。故障ではありません。電子治療器などを使用するときは、電源プラグを抜いてから使用してください。	—
	U3	—	—	一度電源プラグを抜いて、手元スイッチの電源ランプが消えたことを確認して、もう一度コンセントに差直してください。	—



状態 (症状)	手元スイッチの電源ランプ	手元スイッチのエラーコード	チェック	処 置	参照ページ
操作ボタンを押してもベッドが動作しない	ボタンを押したときだけ赤で遅い点滅 (1秒ごと)	U4	連続運転しましたか? (アクチュエーターを連続運転すると、運転時間制限が働き、動作が停止することがあります)	20~57分間放置してください。(放置せずに操作すると、再度エラーコードが表示されます)	-
		U5	-	一度電源プラグを抜いて、手元スイッチの電源ランプが消えたことを確認して、もう一度コンセントに差し直してください。	-
			アクチュエーターのコネクターが外れていませんか?	アクチュエーターのコネクターを差し直してください。	-
		U9	動作が停止した状態で、長い間 (30秒以上) ボタンを押し続けていませんか?	ボタンを離してから再度操作してください。	-
	-		一度電源プラグを抜いて、手元スイッチの電源ランプが消えたことを確認して、もう一度コンセントに差し直してください。	-	
	消灯	-	手元スイッチのコネクターがコントロールボックスから抜けていませんか?	手元スイッチのコネクターをコントロールボックスに差し込んでください。	82
操作したボタンと異なる部位が動作する	緑で点灯	-	頭 (足) の  ボタンを押したときに膝 (背) がさがりましたか?	角度制限機能が働いているため、故障ではありません。	-
		-	アクチュエーターが正しく配線されていますか?	アクチュエーターのコネクターを外し、正しく配線してから操作をしてください。	-
各ポジションが正常にとれない	-	-	可動部分に障害物はありませんか?	障害物を取除いてください。	-
ベッドの移動ができない (キャスター取付時のみ)	-	-	キャスターがロックされていませんか?	キャスターのロックを解除してください。	-
ヘッドボードが外れない	-	-	ボードストッパーが固定されていませんか?	ボードストッパーの固定を解除してください。	91
キューブ (宮付) ヘッドボードのコンセントで携帯電話の充電などができない	-	-	電源プラグは部屋のコンセントに差し込まれていますか?	電源プラグをコンセントに差し込んでください。	-

※修理のご依頼やお問い合わせのときは、製品識別表示ラベル (P.62・64・66ページ) に表示された番号もあわせてご連絡ください。

1.長期保管




お子様のいたずらなどによる予期せぬ事故や不具合を未然に防止するため、ベッドの電源プラグは、コンセントから抜いてください。

- 高温・多湿・低温・乾燥・ほこりの多い場所を避けてください。
温度-10～50℃、湿度30～90% RHの環境で保管してください。
 - 取扱説明書を紛失しないよう、大切に保管してください。
 - 滑り止めシートを膝ボトムと足ボトムから取外し、紛失しないよう大切に保管してください。
 - 背ボトム、膝ボトムを水平にしてください。
 - ベッドの高さを最低位置までさげてください。()
 - ベッドの上にはマットレス以外のものを載せないでください。
 - ベッドは壁に立て掛けたりせず、水平なゆかに水平のまま保管してください。
 - 電源プラグをコンセントから抜いて、電源コードをはさんだり踏んだりしない場所に束ねておいてください。
- ※使用を再開される場合は、( 85～89ページ) の手順に従って点検を行ってください。

2.移動（移設）



ボトムやボード、サイド／エンドフレーム、サイド／エンドパネルを持って移動すると、ベッドが落下し、けがをするおそれがあります。ベッドは分解してから移動してください。

- ベッドの分解、組立ては直接弊社 ( 裏表紙) までお問い合わせください。

1. ベッド本体

3
モーター

品番※1		RQ-137□S△	RQ-137□W△	RQ-137□B△	RQ-137□G△	RQ-137□M△
ボード形状		スクエア			ラウンド	
ボード色 (△) 詳細は下記色欄参照		B,C,E,F,G,J		枠: マットホワイト 面材: B,C,E,J	枠: マットブラウン 面材: B,C,F,J	枠: マットグレー 面材: B,C,E,G,J
サイドパネル色 (□)		1,4: ホワイトスパークル 2,5: ブラウンサンド 3,6: グレーアブストラクト				
ベッドスタイル (□)		1,2,3: ハリウッドスタイル 4,5,6: ヨーロピアンスタイル				
寸法 (cm)	a 全幅	130.5		132.5		130.5
	b 全長 () はヨーロピアンスタイル	203.5 (203.3)		204.8 (205.9)		213 (212.8)
	c 脚座間の長さ	140.6				
	d ボトム高さ	25~60				
	e ヘッドボード高さ	41.4		45.4		41.4
	f フットボード高さ (ヨーロピアンスタイルのみ)	31.4		33.4		31.4
製品質量 (本体+ボトム+サイド/エンドフレーム)		96kg				
モーター数		3モーター (背・膝・高さ)				
電源コード長さ		有効長さ3.45m				
ボード電源コード長さ		-				有効長さ1.2m
手元スイッチ		10ボタン				
主な材質	ボード	パーティクルボード, MDF, LVL, 強化紙シート, オレフィン系シート				
	ボトム	スチール製…電着・粉体塗装仕上げ (一部樹脂成形品)				
	本体フレーム	スチール製…電着・粉体塗装仕上げ (一部樹脂成形品)				
	サイド/エンドフレーム	スチール製…電着・粉体塗装仕上げ				
	補強金具 (ヨーロピアンスタイルのみ)	スチール製…電着・粉体塗装仕上げ				
	ベースフレーム	スチール製…電着・粉体塗装仕上げ (一部樹脂成形品)				
	マットレス止め (サイド/足側)	ポリプロピレン				
	サイド/エンドパネル・ コーナーカバー	ABS, オレフィン系シート				
滑り止めシート		PVC (表面)、ポリエステル (糸芯)				
最大利用者体重		138kg				
安全動作荷重※2		1700N (174kgf)				
最大マットレス厚※3		①12cm ②17cm				
動作保証条件		10~40℃ / 30~75%RH				
動作範囲	背あげ傾斜角度/所要時間	0~75[+7.5°, -5°] / 31秒 (普通)・25秒 (速い)				
	膝あげ傾斜角度/所要時間	0~30±3° / 12秒 (普通)・10秒 (速い)				
	昇降高さ調節量/所要時間※4	35cm / 36秒 (普通)・29秒 (速い)				
耐用期間		8年 [自己認証 (当社データ) による] ※ただし消耗部品は除く				

色欄	B	C	E	F	G	J
	ミディアムウォールナット	ダークオーク	ホワイトスパークル	ブラウンサンド	グレーアブストラクト	スモークアッシュ

※1) 品番の□と△には下記の内容が入ります

□: 1~6 △: B,C,E,F,G,J

例. RQ-1371SB ⇒ ・サイドパネル色 (1): ホワイトスパークル ・ベッドスタイル (1): ハリウッドスタイル
・ボード色 (B): ミディアムウォールナット

※2) 安全動作荷重: ベッドを安全に使用できる荷重。(利用者体重とマットレスやオプションなどの付帯物の合計荷重)

※3) ベッドサイドレール・ベッド用グリップ使用時に適合する弊社製の最大マットレス厚

① ベッドサイドレール (KS-161Q・191Qシリーズ) 使用時。

② ベッド用グリップ (KS-098A・KS-099A/B・KS-030A)、ベッドサイドレール (KS-171Q・KS-111Qシリーズ・KS-019A) 使用時。

注) JIS規格を満たす最大マットレス厚は以下の通りです。

●KS-161Q・191Qシリーズ: 15cm

●KS-098A・KS-099A/B・KS-030A・KS-111Qシリーズ: 17cm

●KS-171Qシリーズ・KS-019A: 21cm

※ 上記製品を組合せて使用する場合は、寸法が小さいものを基準にしてください。

※KS-161Q・KS-191Q・KS-171Q・KS-111Qシリーズの詳細につきましては、41ページの「適合表」を参照してください。

※4) 所要時間はあげるときの時間です。さげるときに、ゆかからボトム上面までの高さが31cmに達した時点で安全性確保のため警告音が鳴り一旦停止します。

再度、高ささげボタンを押すと警告音を繰り返し鳴らしながら低速で最低高さまでさがるため、所要時間は異なります。

1+1
モーター

品番*1		RQ-117□S△	RQ-117□W△	RQ-117□B△	RQ-117□G△	RQ-117□M△
ボード形状		スクエア	ラウンド			キューブ (宮付)
ボード色 (△) 詳細は下記色欄参照		B,C,E,F,G,J	枠: マットホワイト 面材: B,C,E,J	枠: マットブラウン 面材: B,C,F,J	枠: マットグレー 面材: B,C,E,G,J	B,C,E,F,G,J
サイドパネル色 (□)		1,4: ホワイトスパークル 2,5: ブラウンサンド 3,6: グレーアブストラクト				
ベッドスタイル (□)		1,2,3: ハリウッドスタイル 4,5,6: ヨーロピアンスタイル				
寸法 (cm)	a 全幅	130.5	132.5			130.5
	b 全長 () はヨーロピアンスタイル	203.5 (203.3)	204.8 (205.9)			213 (212.8)
	c 脚座間の長さ	158				
	d ボトム高さ	25/29/33				
	e ヘッドボード高さ	41.4	45.4			41.4
	f フットボード高さ (ヨーロピアンスタイルのみ)	31.4	33.4			31.4
製品質量 (本体+ボトム+サイド/エンドフレーム)		73kg				
モーター数		1+1モーター (背・膝)				
電源コード長さ		有効長さ3.45m				
ボード電源コード長さ		-				有効長さ1.2m
手元スイッチ		8ボタン				
主な 材質	ボード	パーティクルボード, MDF, LVL, 強化紙シート, オレフィン系シート				
	ボトム	スチール製…電着・粉体塗装仕上げ (一部樹脂成形品)				
	本体フレーム	スチール製…電着・粉体塗装仕上げ (一部樹脂成形品)				
	サイド/エンドフレーム	スチール製…電着・粉体塗装仕上げ				
	補強金具 (ヨーロピアンスタイルのみ)	スチール製…電着・粉体塗装仕上げ				
	マットレス止め (サイド/足側)	ポリプロピレン				
	サイド/エンドパネル・ コーナーカバー	ABS, オレフィン系シート				
	滑り止めシート	PVC (表面)、ポリエステル (糸芯)				
最大利用者体重		138kg				
安全動作荷重*2		1700N (174kgf)				
最大マットレス厚*3		①12cm ②17cm				
動作保証条件		10~40℃ / 30~75%RH				
動作 範囲	背あげ傾斜角度/所要時間	0~75[+7.5°, -5°]/31秒 (普通)・25秒 (速い)				
	膝あげ傾斜角度/所要時間	0~30±3°/12秒 (普通)・10秒 (速い)				
耐用期間		8年 [自己認証 (当社データ) による] ※ただし消耗部品は除く				

色欄	B	C	E	F	G	J
	ミディアム ウォールナット	ダークオーク	ホワイト スパークル	ブラウン サンド	グレー アブストラクト	スモークアッシュ

※1) 品番の□と△には下記の内容が入ります

□: 1~6 △: B,C,E,F,G,J

例. RQ-1171SB ⇒ ・サイドパネル色 (1): ホワイトスパークル ・ベッドスタイル (1): ハリウッドスタイル
・ボード色 (B): ミディアムウォールナット

※2) 安全動作荷重: ベッドを安全に使用できる荷重。(利用者体重とマットレスやオプションなどの付帯物の合計荷重)

※3) ベッドサイドレール・ベッド用グリップ使用時に適合する弊社製の最大マットレス厚

① ベッドサイドレール (KS-161Q・191Qシリーズ) 使用時。

② ベッド用グリップ (KS-098A・KS-099A/B・KS-030A)、ベッドサイドレール (KS-171Q・KS-111Qシリーズ・KS-019A) 使用時。

注) JIS規格を満たす最大マットレス厚は以下の通りです。

●KS-161Q・191Qシリーズ: 15cm

●KS-098A・KS-099A/B・KS-030A・KS-111Qシリーズ: 17cm

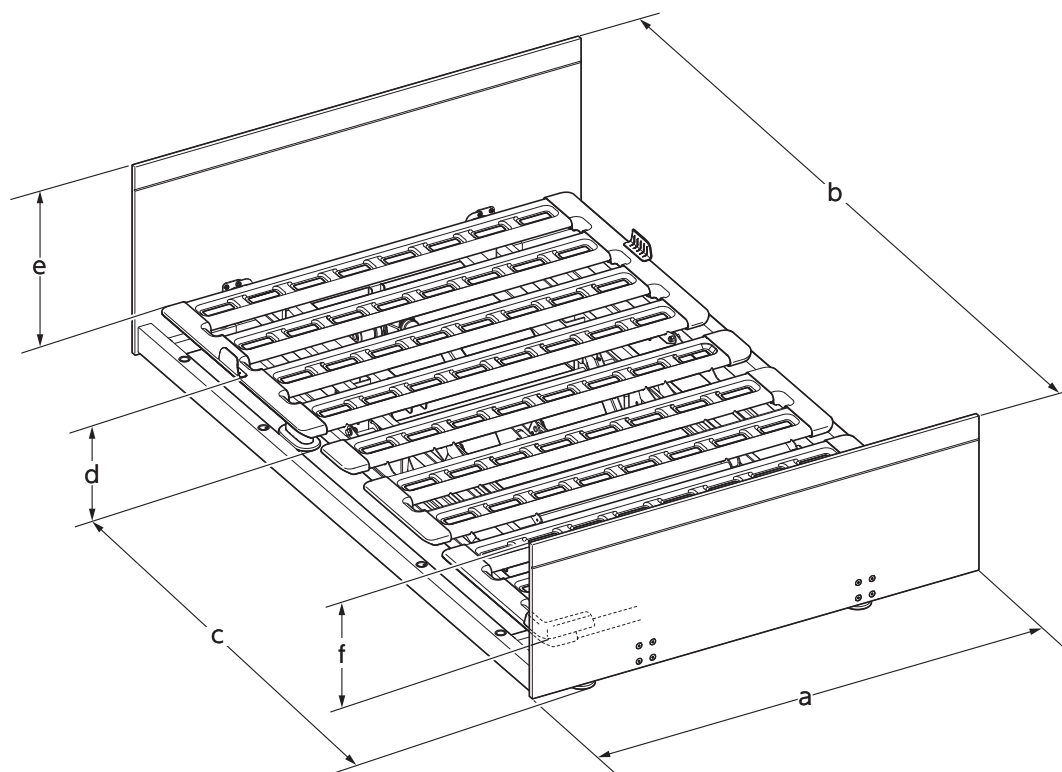
●KS-171Qシリーズ・KS-019A: 21cm

※ 上記製品を組合せて使用する場合は、寸法が小さいものを基準にしてください。

※ KS-161Q・KS-191Q・KS-171Q・KS-111Qシリーズの詳細につきましては、41ページの「適合表」を参照してください。

各部の寸法

a～fの寸法は、56～57ページの表に記載しています。



項 目		箇 所
a	全幅	最大外形寸法
b	全長	最大外形寸法
c	脚座間の長さ	脚座の中心間長さ
d	ボトム高さ	ゆか～ボトム上面 (最低高さ～最高高さ)
e	ヘッドボード高さ	ボトム上面～ヘッドボード上端
f	フットボード高さ	ボトム上面～フットボード上端





2.電装品

形 式	リニアアクチュエーター (DCモーター)
電源電圧、周波数	AC100V、50/60Hz
消費電力	背あげ：85W以下 膝あげ：125W以下 高さ調節：170W以下 連動動作：220W以下
待機電力	2W以下
最大連続使用時間	3分 (休止時間 57分※)

※) ベッドを最大連続使用時間 (3分) 動作させた場合、電装品を過熱から保護するための時間。

組立・分解方法

もくじ

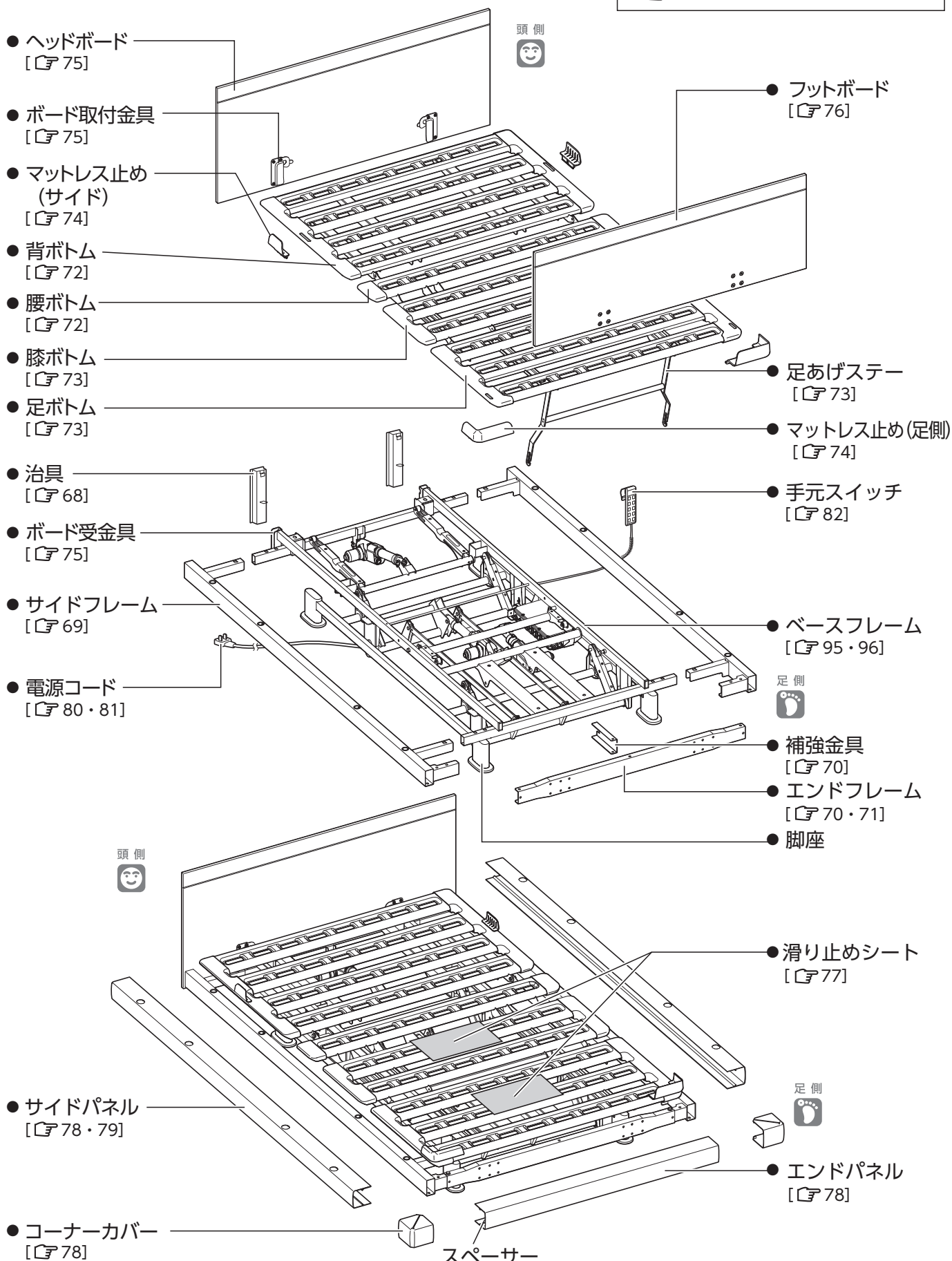
1 各部の名称	61	4 組立後の点検	85~89
2 梱包部品の確認	62~67	5 ベッドの分解方法	
3 ベッドの組立方法		1. 分解作業前の準備	90
1. 本体の設置	68	2. 滑り止めシートの取外し	90
2. サイド/エンドフレームの取付け	69	3. ボードの取外し	91
2-1. サイドフレームの取付け	69	3-1. ヘッドボードの取外し	91
2-2. エンドフレームの取付け	70・71	3-2. フットボードの取外し (ヨーロピアンスタイルのみ)	91
3. ボトムの取付け	72	4. サイド/エンドパネル・コーナーカバーの 取外し	91
3-1. 背・腰ボトムの取付け	72	5. マットレス止めの取外し	92
3-2. 膝・足ボトムの取付け	73	5-1. マットレス止め (サイド) の取外し	92
4. マットレス止めの取付け	74	5-2. マットレス止め (足側) の取外し	92
5. ボードの取付け	75	6. ボトムの取外し	92
5-1. ヘッドボードの取付け.....	75	6-1. 膝・足ボトムの取外し	92・93
5-2. フットボードの取付け (ヨーロピアンスタイルのみ)	76	6-2. 背・腰ボトムの取外し	93
6. 滑り止めシートの設置	77	7. サイド/エンドフレームの取外し	94
7. サイド/エンドパネル・コーナーカバーの 取付け	77~79	8. ベースフレームの取外し ()	95・96
8. コード類の配線	80	9. 付属部品と分解したユニットの保管	96
8-1. 電源コードの配線	80・81		
8-2. 手元スイッチコードの配線	82		
9. キャスター (別売) の取付け	83		
9-1. 	83		
9-2. 	83		
10. 脚の高さ調節 	84		

アフターサービス裏表紙

1 各部の名称

※イラストは **3** モーター

このマークの数字は、説明のあるページを示しています。



2 梱包部品の確認

2

梱包部品の確認

梱包部品の確認

■開梱後、下記の部品がすべて揃っていること、破損していないことを確認してください。万一、部品の不足や破損があった場合には、直接弊社までご連絡ください。

注意

- 移動したりするときは、2人以上で作業を行ってください。背や腰などを痛めるおそれがあります。
- 組立ての際には、手や指をはさまないように注意してください。けがをするおそれがあります。

※ () 内の数字は、梱包材を含む質量です。

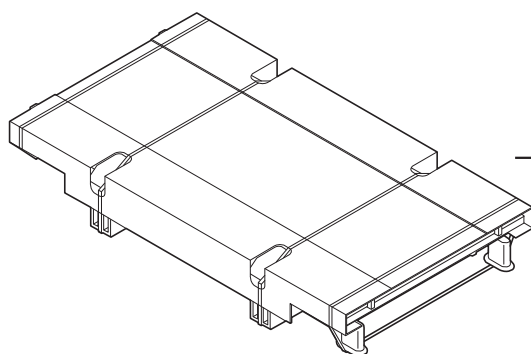
① 本体

3
モーター

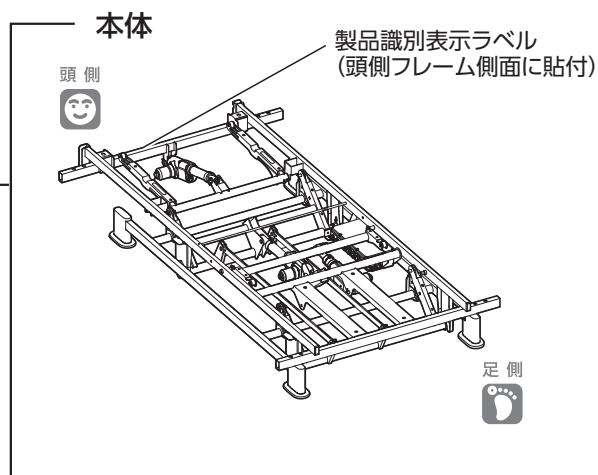
RQ13700
50kg (54kg)

1+1
モーター

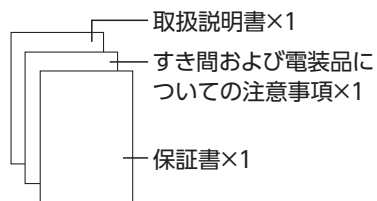
RQ11700
27kg (33kg)



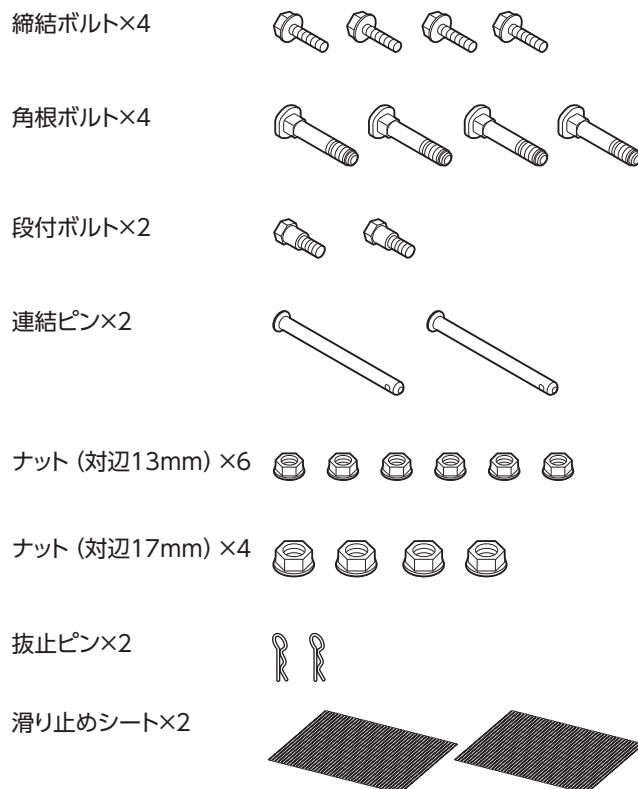
192×103×29 (cm)



付属品



組立付属部品



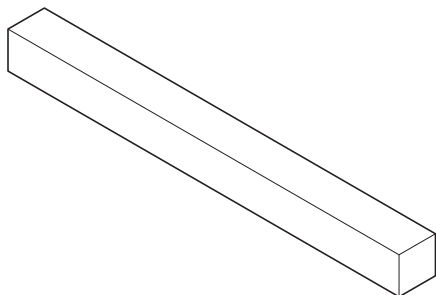
2 梱包部品の確認

2

梱包部品の確認

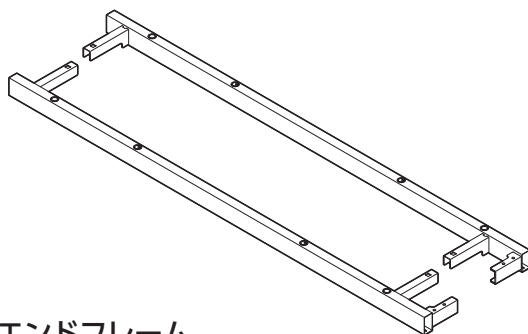
② サイドフレームセット

RQ10700S
16kg (19kg)

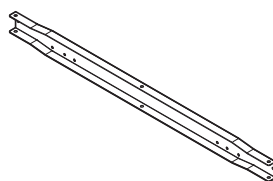


208×27×30 (cm)

サイドフレーム

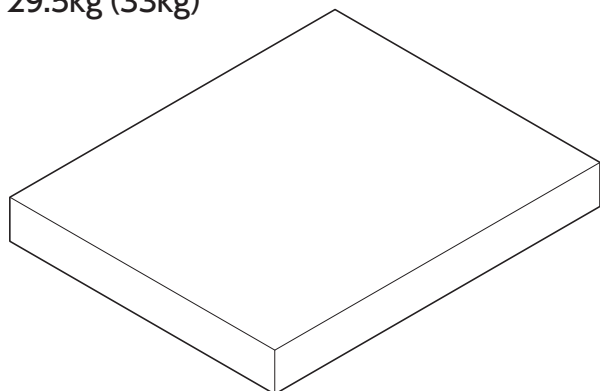


エンドフレーム



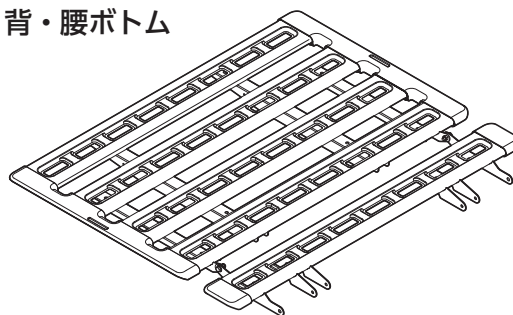
③ ボトムセット

RQ10700U
29.5kg (33kg)

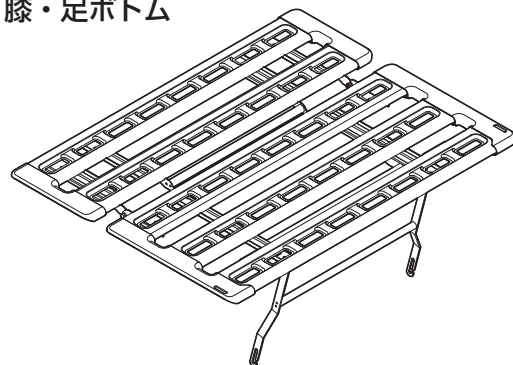


123×107×15 (cm)

背・腰ボトム

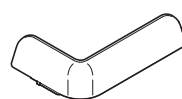


膝・足ボトム

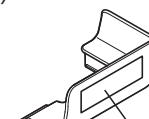


組立付属部品

マットレス止め (足側)



右×1



左×1

社名ロゴ

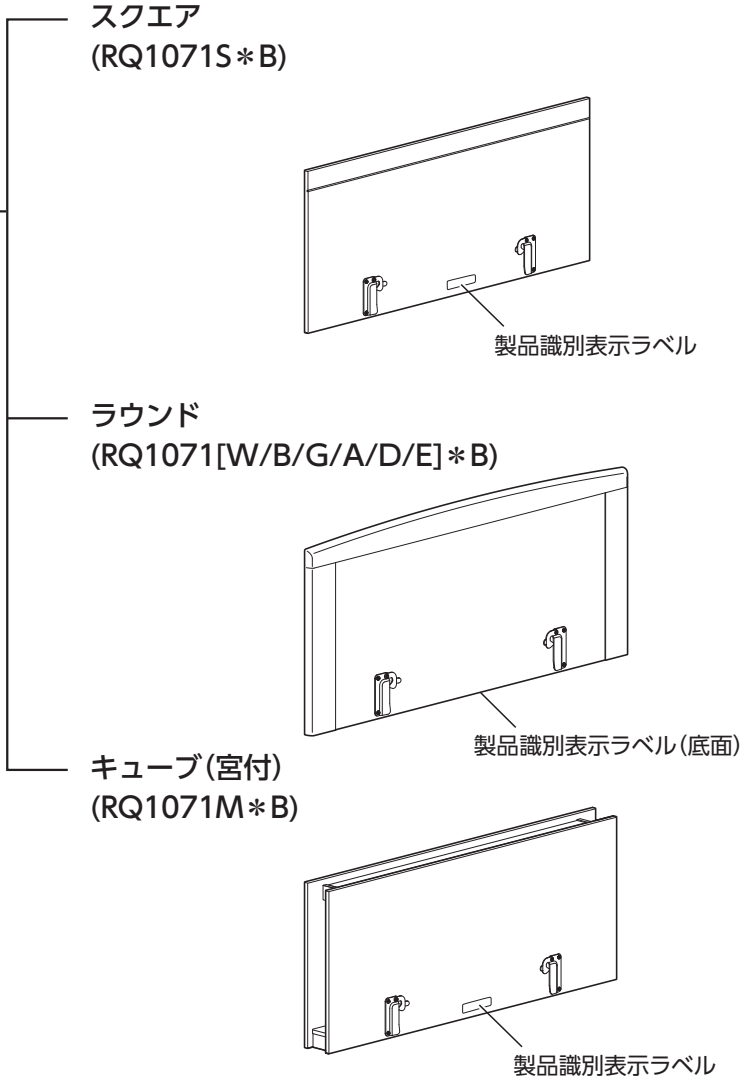
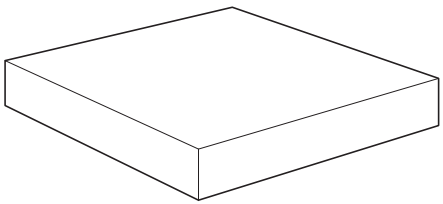
マットレス止め (サイド) ×2



ハリウッドスタイル

④ボードセット

RQ1071**B



ヘッドボード

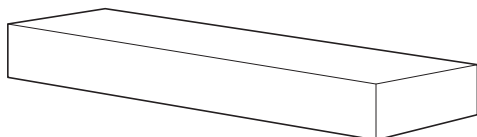
ボード	品番	サイズ	質量
スクエア	RQ1071S*B	141×68×7 (cm)	8 (11kg)
ラウンド	RQ1071[W/B/G/A/D/E]*B	142×70×8 (cm)	11 (14kg)
キューブ (宮付)	RQ1071M*B	146×74×16 (cm)	17 (22kg)

2 梱包部品の確認

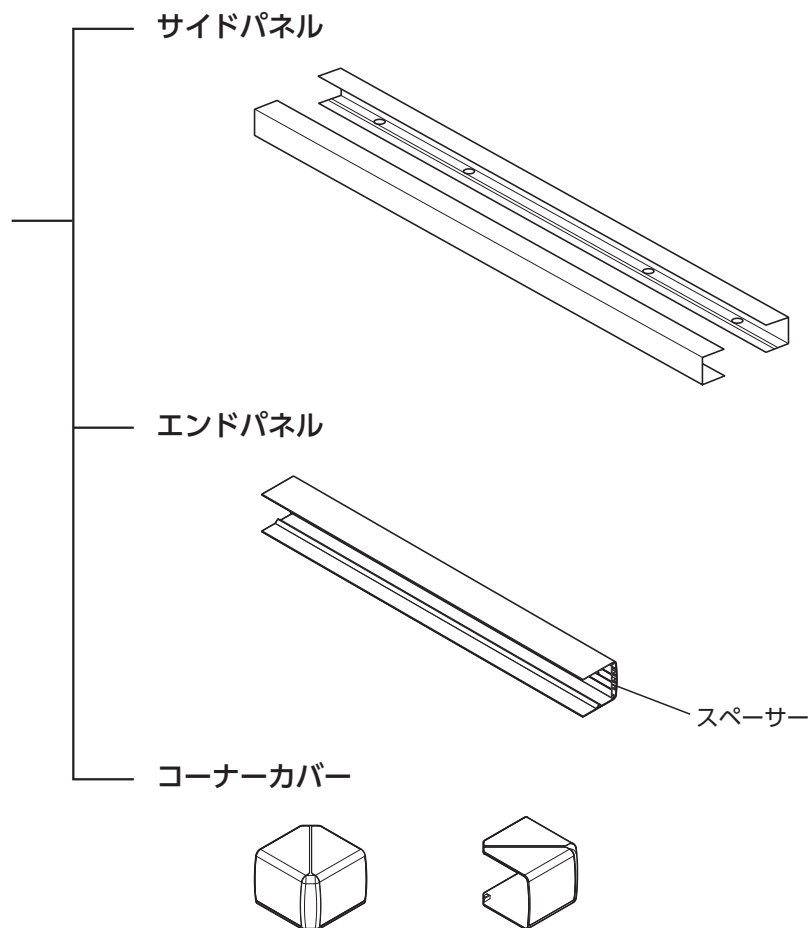
⑤ サイドパネルセット

RQ107*0P

3.5kg (4.5kg)



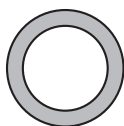
205×21×10.5 (cm)



開梱時に、エンドパネルのスペーサーがずれていたり、外れていたりする場合があります。エンドパネルを取付ける際は、スペーサーを正しい向きで取付けてください。

エンドパネルのスペーサー取付け

【正しい】

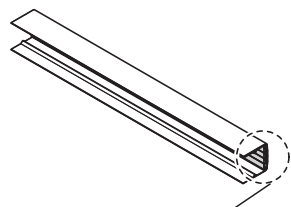


ツメが引っ掛かっている (2ヶ所)



エンドパネル

スペーサー

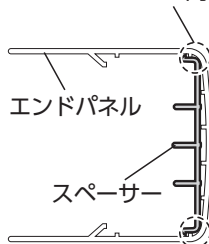


スペーサーがずれていない

【間違い】

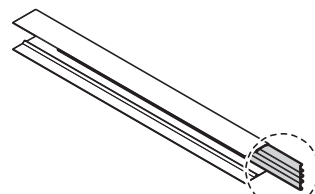


スペーサー向きが逆



エンドパネル

スペーサー

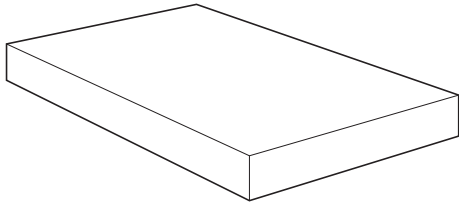


スペーサーがずれている

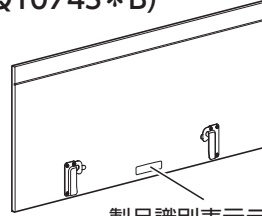
ヨーロッパスタイル

④ボードセット

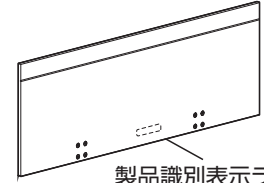
RQ1074**B



スクエア
(RQ1074S*B)



製品識別表示ラベル



製品識別表示ラベル
(裏側)

六角穴付ボルト×8



六角穴付ナット×8



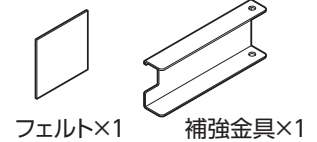
シール×12 (予備×4)



締結ボルト×2



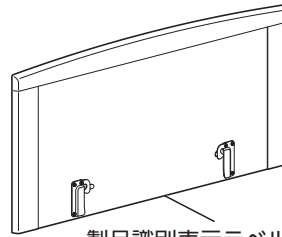
ナット×2



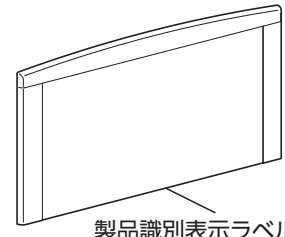
フェルト×1

補強金具×1

ラウンド
(RQ1074[W/B/G/A/D/E]*B)



製品識別表示ラベル(底面)



製品識別表示ラベル(底面)

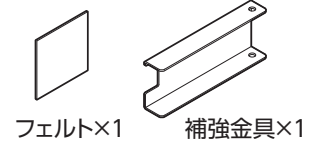
六角穴付ボルト×4



締結ボルト×2



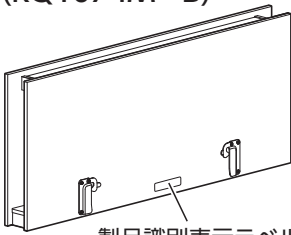
ナット×2



フェルト×1

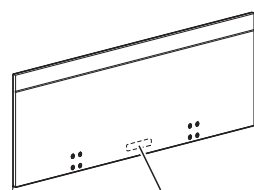
補強金具×1

キューブ(宮付)
(RQ1074M*B)



製品識別表示ラベル

ヘッドボード



製品識別表示ラベル
(裏側)

フットボード

六角穴付ボルト×8



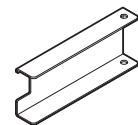
六角穴付ナット×8



シール×12 (予備×4)



フェルト×1



補強金具×1

締結ボルト×2



ナット×2

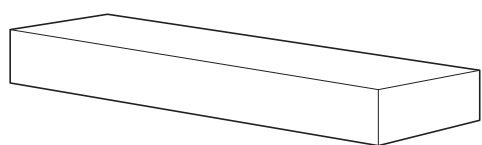


ボード	品番	サイズ	質量
スクエア	RQ1074S*B	141×68×8 (cm)	14 (18kg)
ラウンド	RQ1074[W/B/G/A/D/E]*B	142×70×11 (cm)	18 (21kg)
キューブ(宮付)	RQ1074M*B	146×74×18 (cm)	23 (30kg)

⑤ サイドパネルセット

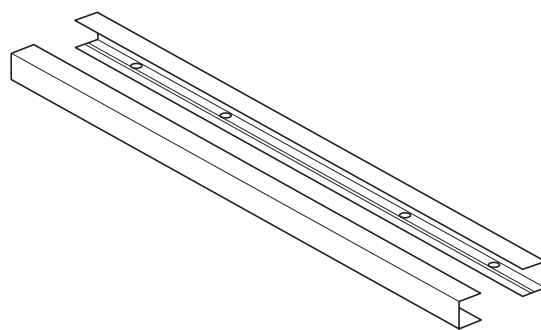
RQ103*0P

2.5kg (3kg)



205×11×10.5 (cm)

サイドパネル



3 ベッドの組立方法

■ベッドの組立ては、専門の配送業者が行います。

警告

組立作業は2人以上で行ってください。ベッドを持ち上げる作業でバランスが崩れけがをしたり、ベッドが破損・変形したりするおそれがあります。

注意


組立作業は、ベッドの近くに壁やものがない場所で行ってください。ベッドが壁やものなどに当たり、破損するおそれがあります。

1. 本体の設置

注意

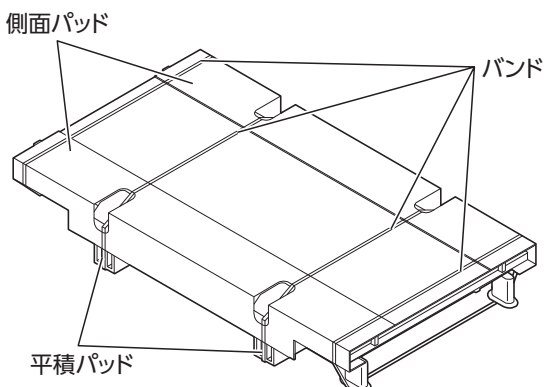
- 治具を取外すときは、しっかりと治具を抑えてください。治具が落下し、ゆかを傷つけるおそれがあります。
- 畳やじゅうたんなどの上で長期間使用する場合は、脚座の下に敷物（脚座ゴムシートKQ-P732・脚座カーペットKQ-P731：別売など）を敷いてください。じゅうたんなどがへこむおそれがあります。

① 本体を、脚座が下の状態でゆかに置く。

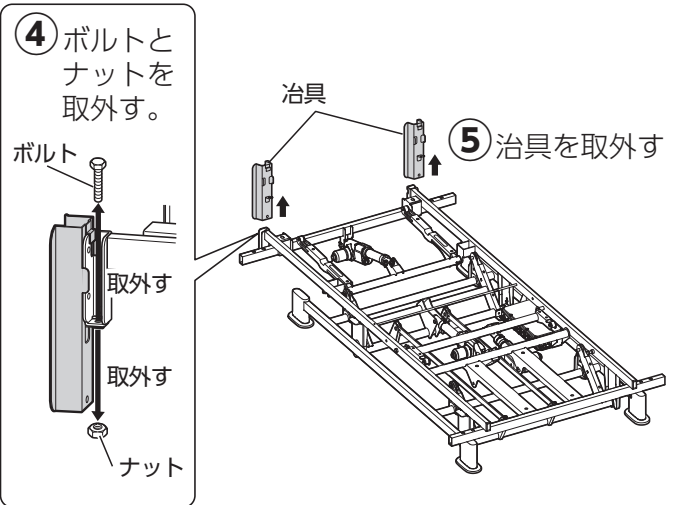
 **注記！** ベッドをゆかに置く際に、ゆかを傷つけないように注意してください。

③ 本体を持ち上げながら、本体を覆っているゴム付ポリ袋を取外す。

② 下図のバンドを取外し、側面パッドと平積パッドを取外す。



使用する工具 スパナ (対辺13mm)



- キャスターを取付ける際は、この段階で取付けてください。
- キャスターは、「キャスターの取付け」(P83ページ) および、キャスターの取扱説明書に従って正しく取付けてください。
- 取外した治具は使用しません。破棄してください。

3 ベッドの組立方法

2. サイド/エンドフレームの取付け

2-1. サイドフレームの取付け

警告

サイド/エンドフレームは指定の取付位置にボルトで確実に固定してください。

- 誤った位置で使用すると、ベッドとベッドサイドレール・ベッド用グリップなどの間に意図せぬすき間ができ、はさまれてけがをするおそれがあります。
- 取付けが不完全な場合、サイド/エンドフレームががたついたり外れたりして、けがをするおそれがあります。

注意

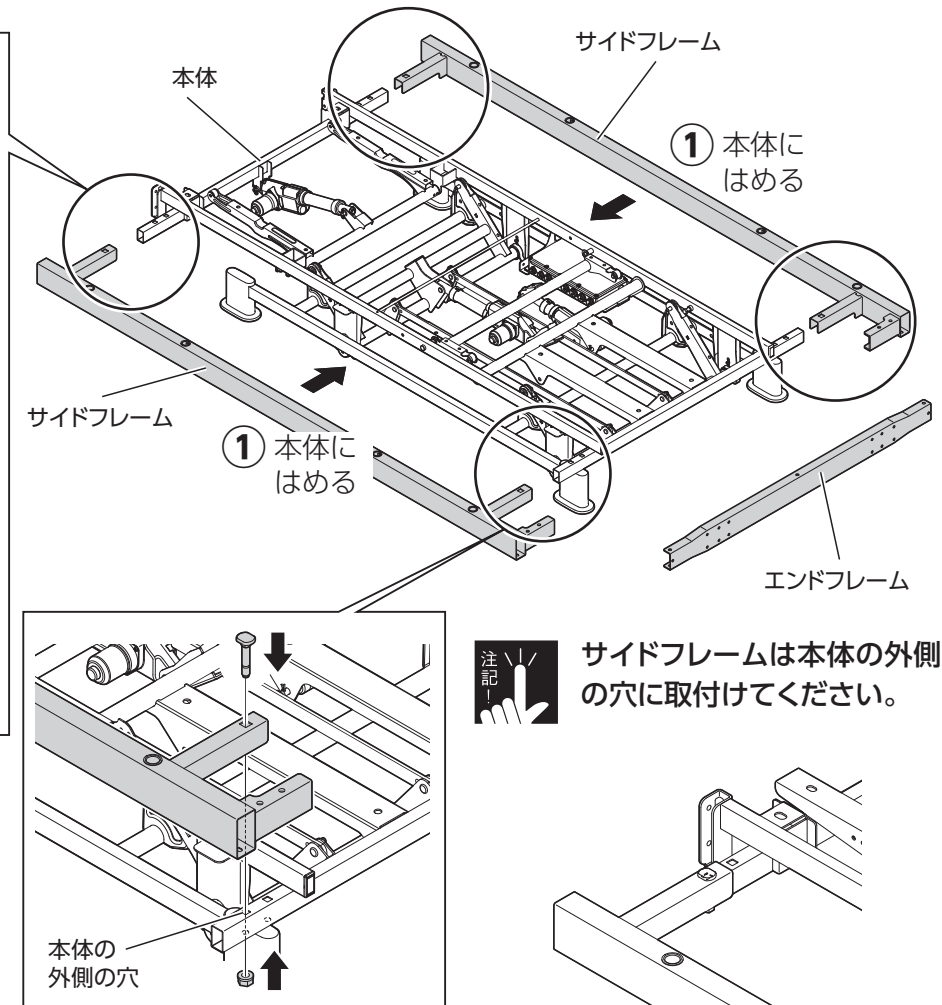
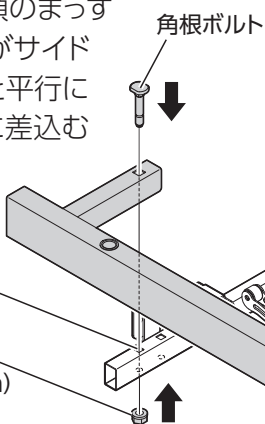
仮止め状態のサイドフレームやエンドフレームに寄り掛かったり、体重をかけたりしないでください。サイドフレームやエンドフレームが落下して、けがをするおそれがあります。

② 角根ボルトとナット
(対辺17mm) で本体に
仮止めする。(4ヶ所)

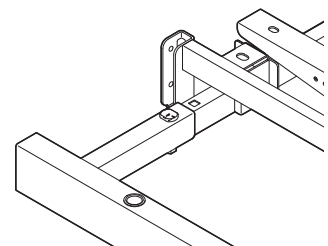
ボルトの頭のまっすぐな部分がサイドフレームと平行になるように差し込む

本体の外側の穴

ナット
(対辺17mm)



サイドフレームは本体の外側の穴に取付けてください。



この時点で角根ボルトをしっかり締めてしまうと、エンドフレームが取付けられない場合があります。

2-2.エンドフレームの取付け

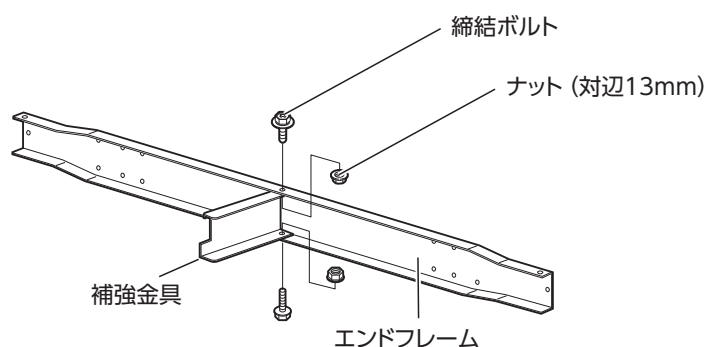


警告

- 補強金具は指定の取付位置にボルトで確実に固定してください。
- フェルトはエンドフレームを取付けた際に補強金具が当たる位置に貼付けてください。その際に、フェルトは浮きがないようにしっかりと貼ってください。
取付けが不完全な場合、フットボードとベッドサイドレール・ベッド用グリップなどの間に意図せぬすき間ができ、はさまれてけがをするおそれがあります。
- フェルトがはがれて、貼り直せない場合は、新しいフェルトを入手してください。
詳細は、パラテクノコールセンター（☎裏表紙）までご連絡ください。

ハリウッドスタイルは手順③から行ってください。

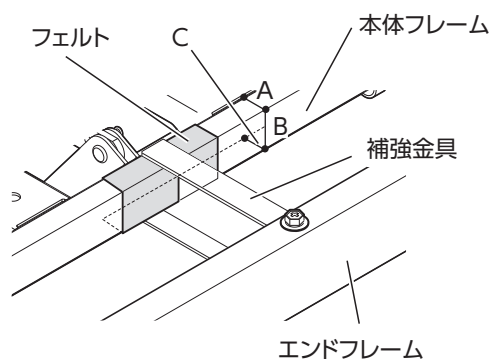
<ヨーロッパスタイルのみ>



- ① 補強金具を図の向きで、エンドフレームに締結ボルトとナット（対辺13mm）で仮止めする。（上下2ヶ所）



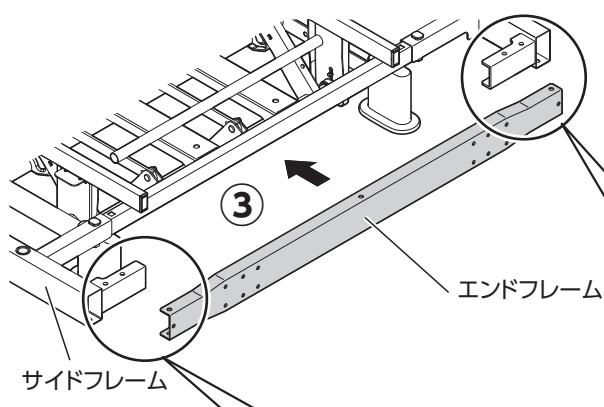
補強金具と組立部品はボードセットに付属されています。



- ② フェルトを本体フレームの補強金具が当たる位置に貼る。
※貼付面は3面（A～B～C）

3 ベッドの組立方法

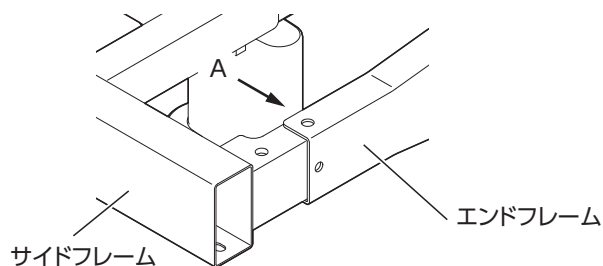
<ハリウッドスタイル・ヨーロピアンスタイル共通>



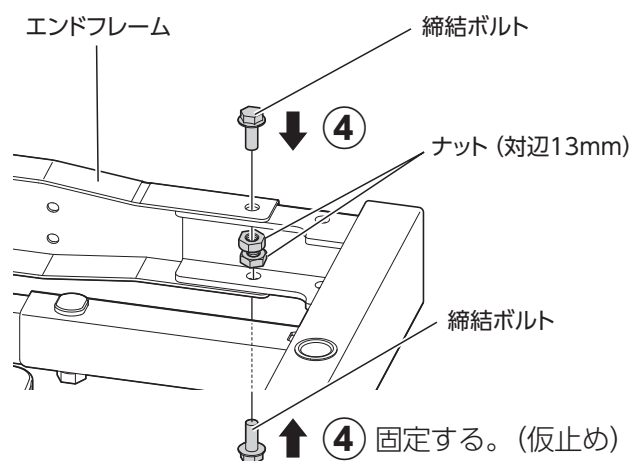
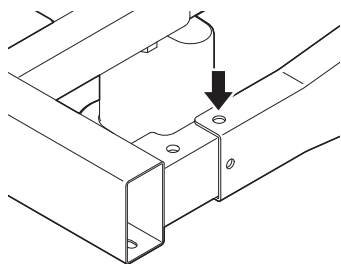
③ エンドフレームをサイドフレームにはめる。

※ヨーロピアンスタイルの場合、エンドフレームには補強金具が付いています。

④ 締結ボルトとナット (対辺13mm) でエンドフレームを仮止めする。
(左右、上下2ヶ所：計4ヶ所)



注記 エンドフレームはサイドフレームの指定の穴に取付けてください。



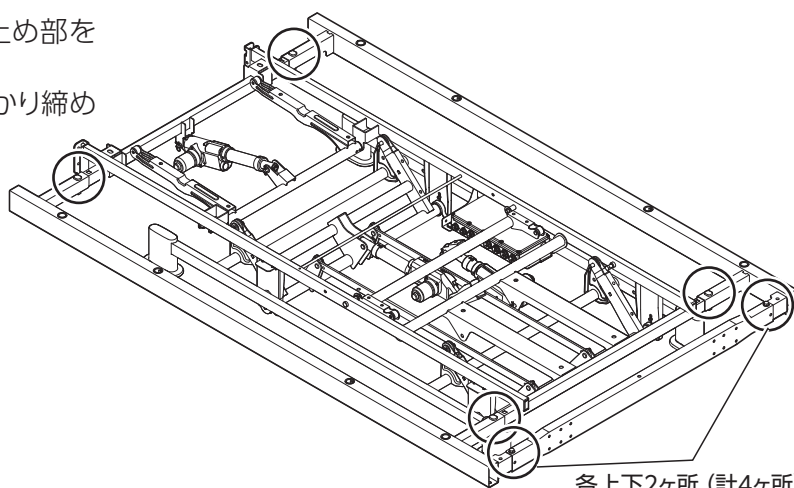
矢视图-A

⑤ サイドフレームとエンドフレームの仮止め部を
しっかり締めて固定する。

※ヨーロピアンスタイルのみ補強金具もしっかり締め
て固定する。

サイドフレーム：4ヶ所 (手順②参照)

エンドフレーム：4ヶ所 (手順④参照)

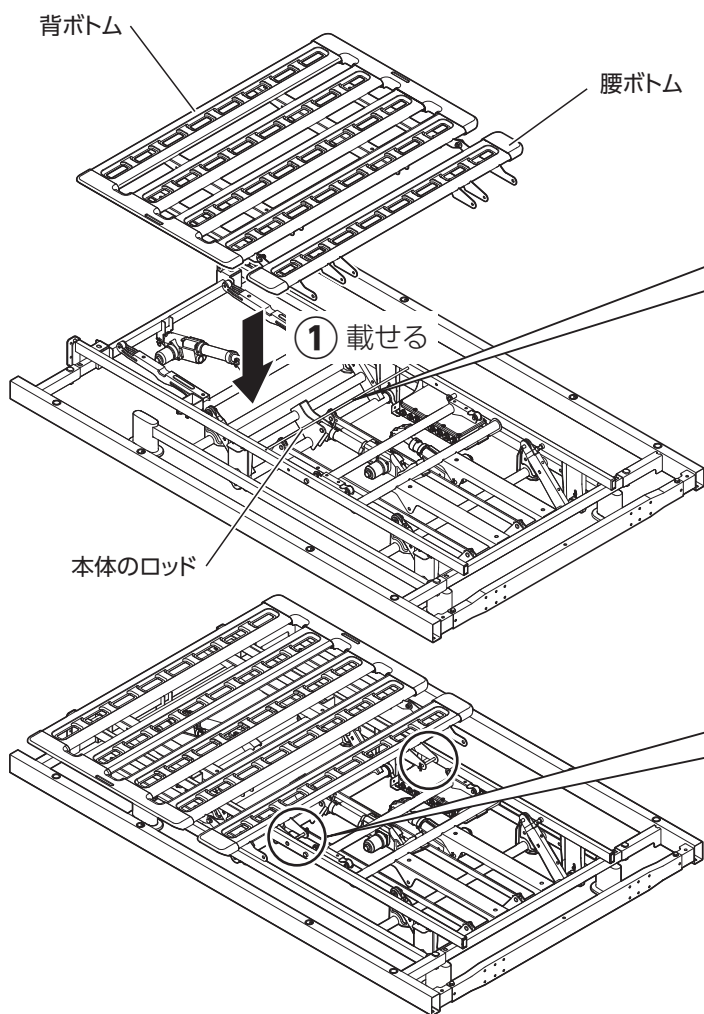
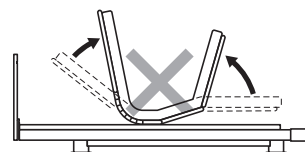


3.ボトムを取付け

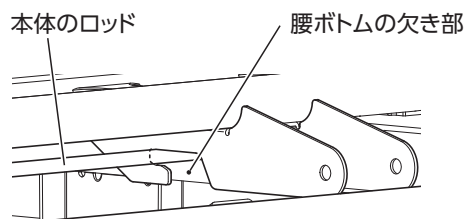
3-1.背・腰ボトムの取付け

注意

背ボトム、足ボトムを持ちあげて逆に反らせたり、必要以上に曲げたりしないでください。破損・変形のおそれがあります。

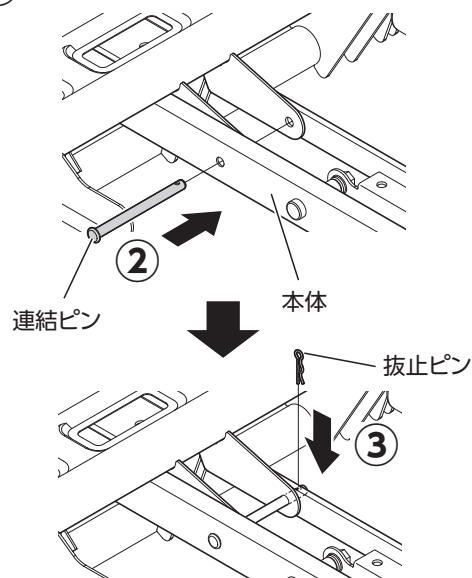


① 腰ボトムの欠き部に本体のロッドが入るように本体に載せる。



② 連結ピンを図のように外側から内側に差込む。

③ 抜止ピンを確実に取付ける。



連結ピンは外側から内側へ差込んでください。

警告

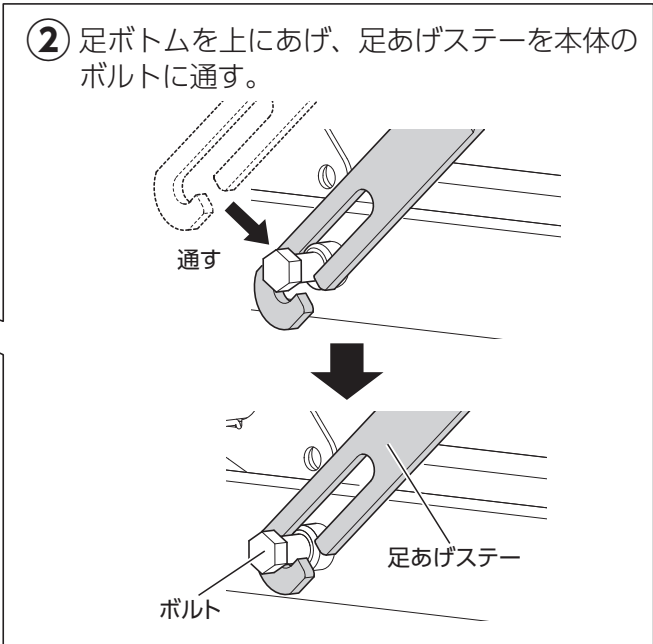
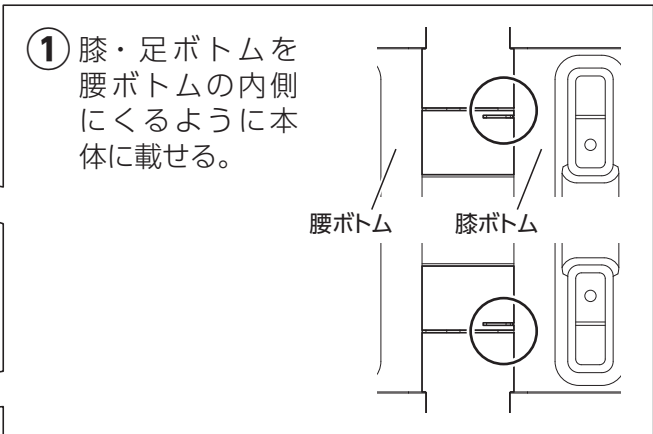
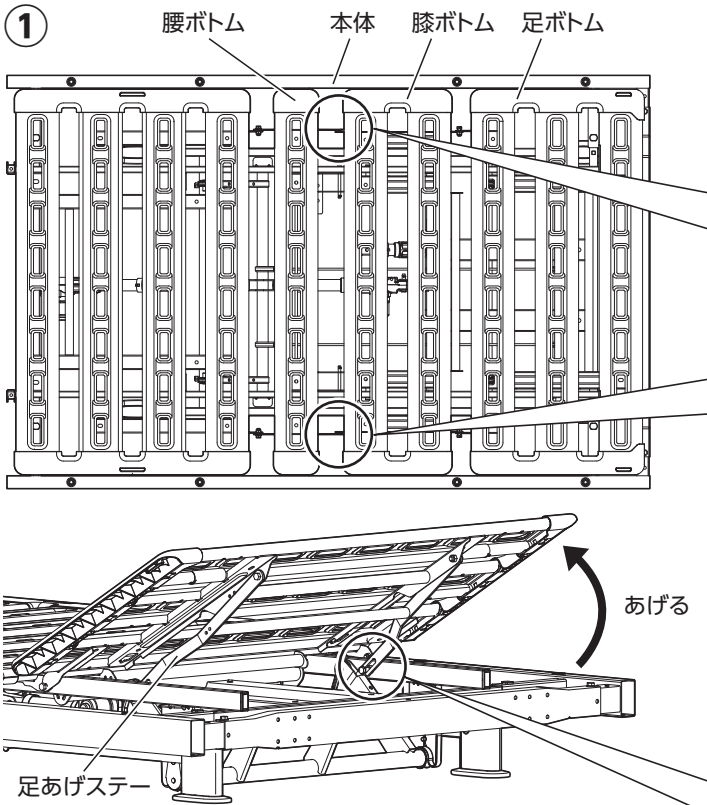
連結ピンはしっかりと差込み、抜止ピンを確実に取付けてください。取付けが不完全な場合、ベッドが破損し、けがをするおそれがあります。

3 ベッドの組立方法

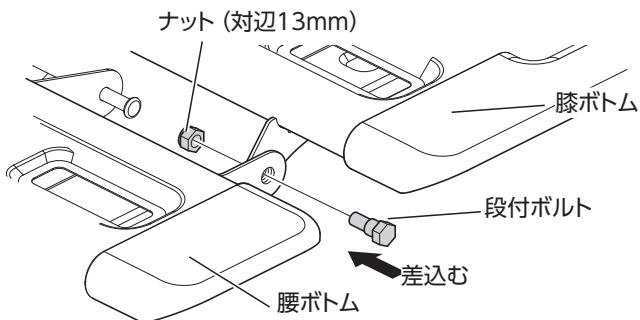
3-2. 膝・足ボトムを取付け

注意

- 足ボトムの足あげステーを確実に指定の位置に取付けてください。取付けが不十分な場合、膝・足ボトムが不意に落下してけがをしたり、膝あげ動作の際にベッドが破損したりするおそれがあります。
- 腰ボトムと膝ボトムは段付ボルトとナットで確実に固定してください。取付けが不完全な場合、膝あげ動作ががたついたり外れたりして、けがをするおそれがあります。



注意
 結合部を中心にボトムが動きます。手などをはさまないように注意してください。



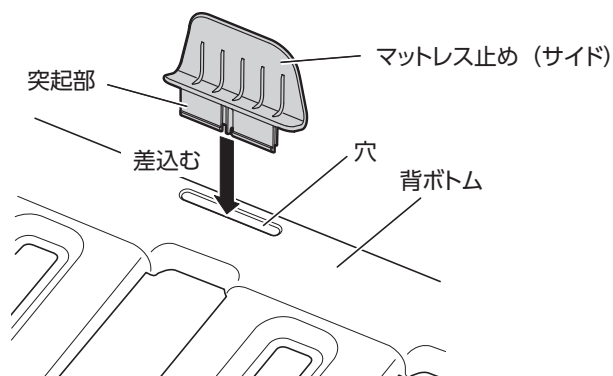
③ 腰ボトムと膝ボトムを段付ボルトとナット (対辺13mm) で固定する。(2ヶ所)

注意 段付ボルトは外側から内側へ差込んでください。

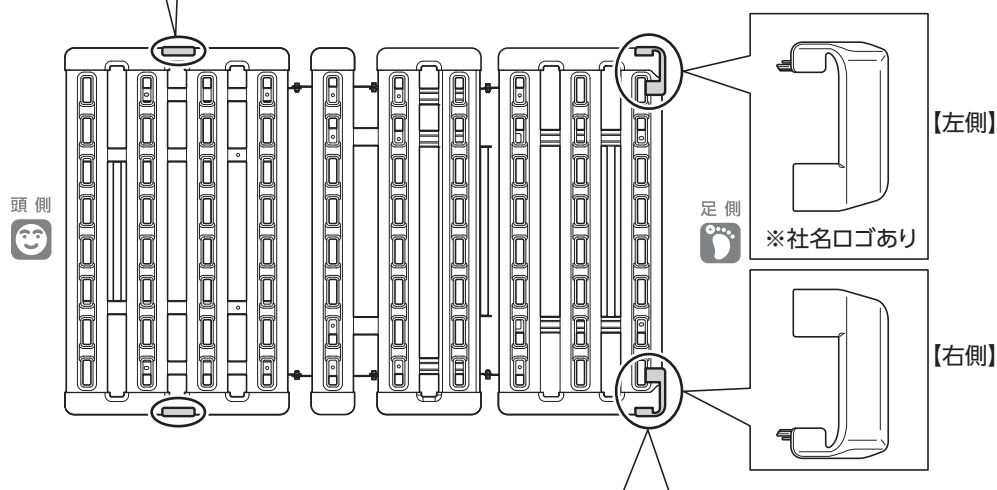
4. マットレス止めの取付け

<マットレス止め (サイド) の取付け>

突起部を「カチッ」と音がするまで差込む。
(左右各1ヶ所)



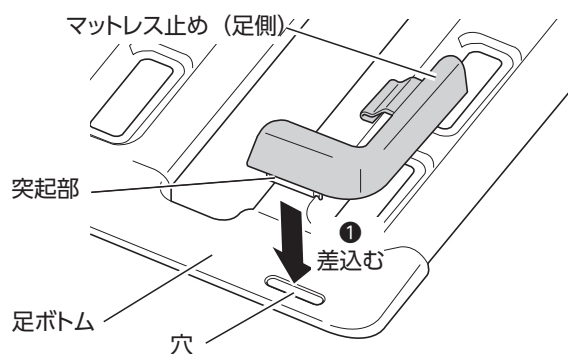
マットレス止め (サイド) の取付け後、内から外へ軽く押し、確実に取付いていることを確認してください。



<マットレス止め (足側) の取付け>

① 突起部を「カチッ」と音がするまで差込む。

② ツメを足ボトムに通気穴に入れ、通気穴のふちに差込む。

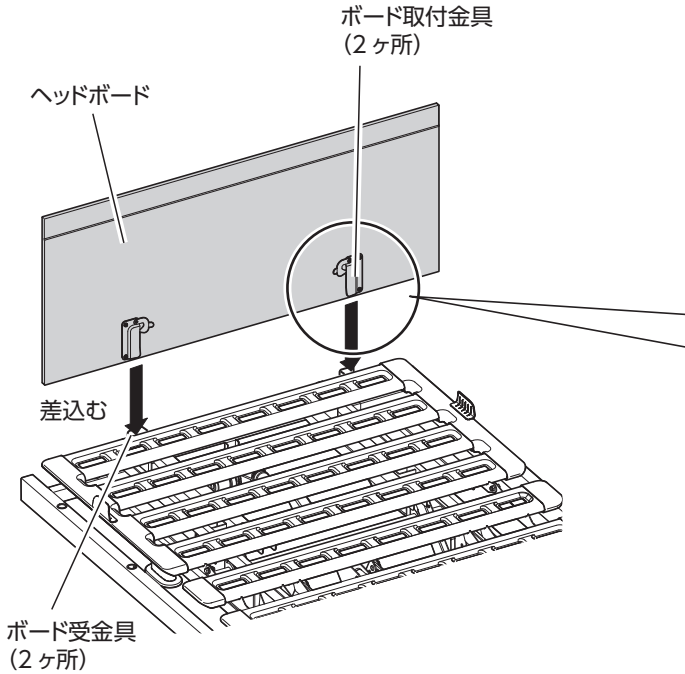


- 社名ロゴが記載されているマットレス止め (足側) を左側に取付けてください。
- マットレス止め (足側) の取付け後、内から外へ軽く押し、確実に取付いていることを確認してください。

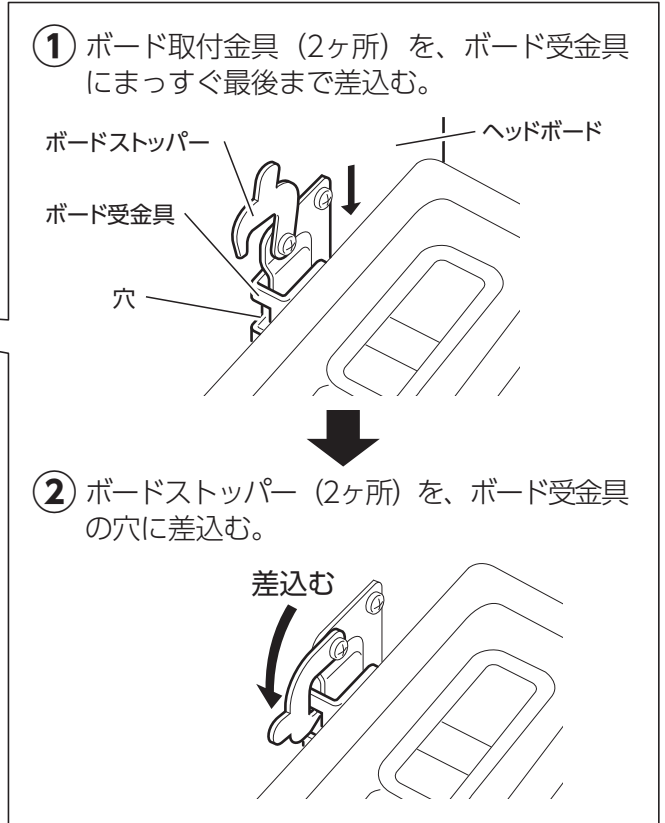
3 ベッドの組立方法

5.ボードの取付け

5-1.ヘッドボードの取付け

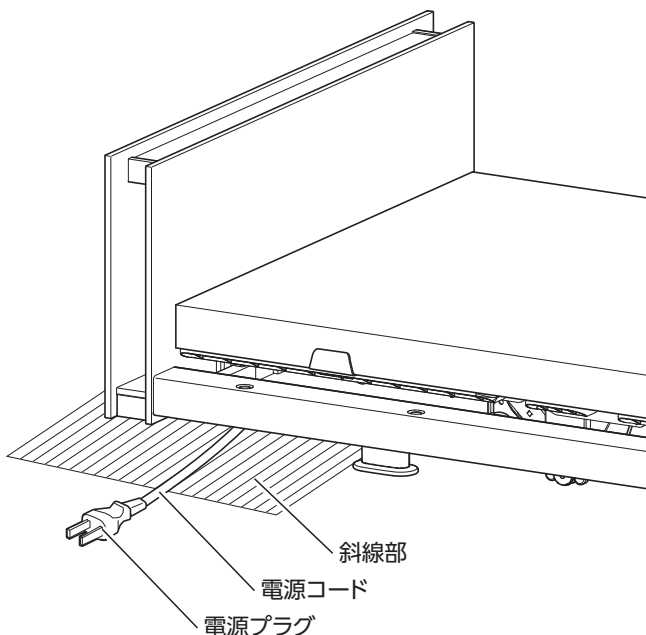


ボードストッパーがボード受金具の穴に、確実に掛かっていることを確認してください。



<キューブ (宮付) の場合>

ベッドに取付けた後、電源コードの配線が必要です。下図を参照して、斜線部の範囲内に配線してください。



3 モーターの場合は、ベッドの高さを最高高さまで上げてから配線してください。

警告

- 電源コードは正しく配線してください。断線や破損のおそれがあります。電源コードが破損すると感電・火災のおそれがあります。

注意

キューブ (宮付) を取付けする際は、ケーブル類の上にキューブ (宮付) を置かないでください。ケーブル類が破損するおそれがあります。

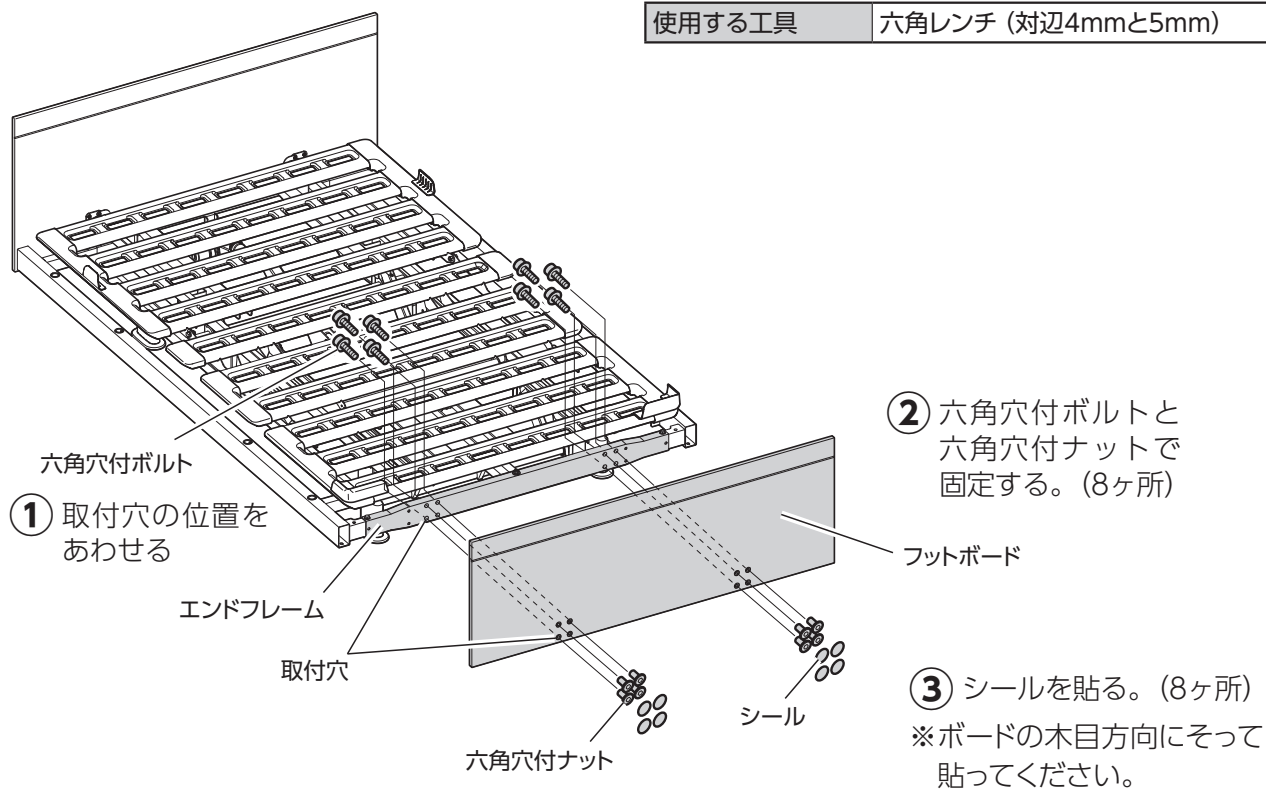
5-2. フットボードの取付け (ヨーロッパスタイルのみ)



- フットボードを取付ける際は、フットボードをしっかりと持ってください。
- 六角穴付ボルトと六角穴付ナットが確実に締付けられていることを確認してください。

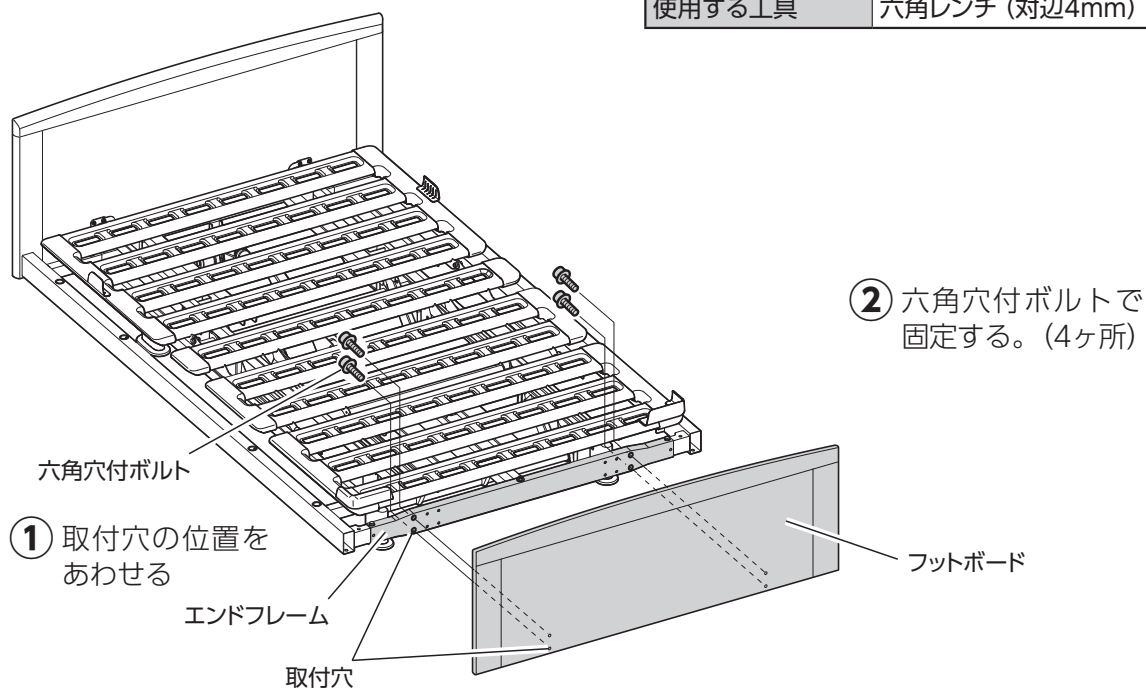
<スクエア・キューブ (宮付) の場合>

使用する工具	六角レンチ (対辺4mmと5mm)
--------	-------------------



<ラウンドの場合>

使用する工具	六角レンチ (対辺4mm)
--------	---------------



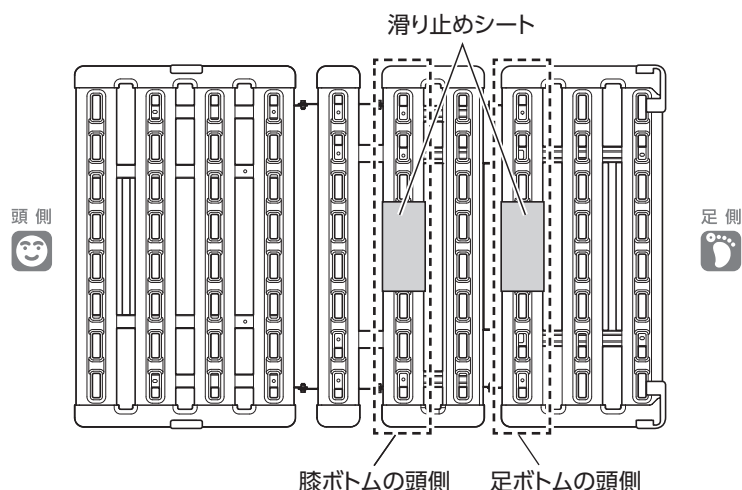
6. 滑り止めシートの設置

注意

- 滑り止めシートはシワが寄らないようにまっすぐ敷いてください。破損の原因となります。
- マットレスを載せたり移動したりするときは、マットレスを滑り止めシートの上で滑らせたり、引きずったりしないでください。滑り止めシートがずれたり、破損したりするおそれがあります。
- 定期的に滑り止めシートの状態を確認し、位置がずれていたり、シワが寄ったり折れ曲がったりしている場合は、滑り止めシートを敷き直してください。正しく敷かれていないと、十分な効果が得られなかったり、滑り止めシートがベッド動作部にはさまれて、破損したりするおそれがあります。
- 滑り止めシートは指定の用途以外には使用しないでください。滑り止めシートが破損するおそれがあります。

滑り止めシートを下図の位置に敷く。(2ヶ所)

- ・ 膝ボトムの頭側中央
- ・ 足ボトムの頭側中央



滑り止めシートが正しく敷かれていることを確認してください。

7. サイド/エンドパネル・コーナーカバーの取付け

警告

サイド/エンドパネル・コーナーカバーは確実に取付けてください。確実に取付いていない状態で使用すると、思わぬけがをしたり、ベッドが破損したりするおそれがあります。

注意

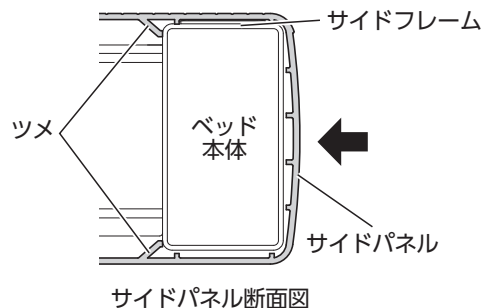
一度取付けたサイド/エンドパネル・コーナーカバーを取外す場合は十分注意して行ってください。無理に取外そうとすると、破損したり外れやすくなったりします。

ハリウッドスタイル

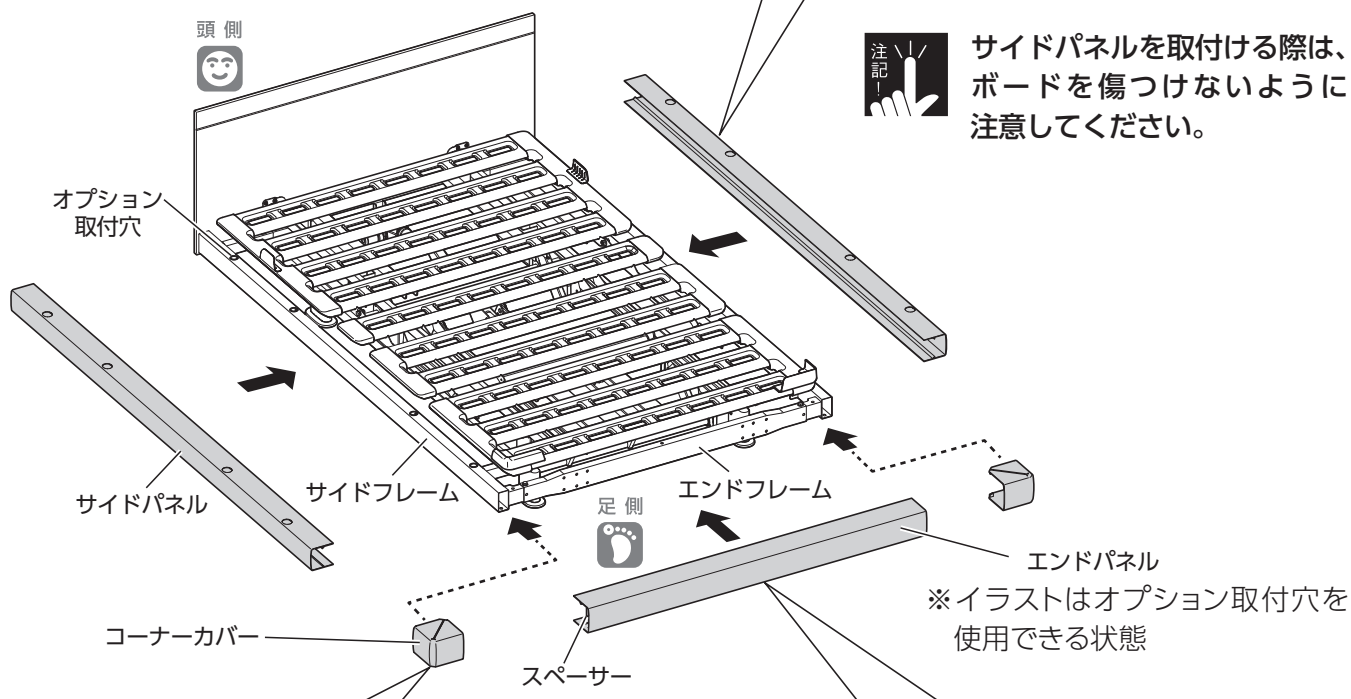
①

【サイドパネルの取付け】
ツメがサイドフレームに引っ掛かるまで、
押込む。(左右各 1 ヶ所)

※オプション取付穴を使用する場合は、
サイドパネルの穴を上側にして取付
けてください。

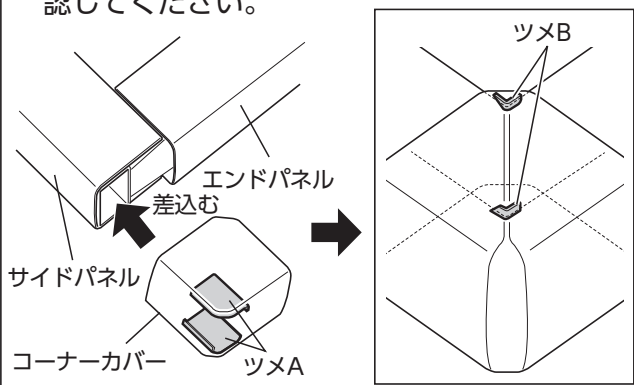


サイドパネルを取付ける際は、
ボードを傷つけないように
注意してください。



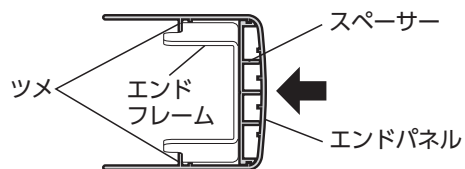
③

【コーナーカバーの取付け】
ツメ A をサイドフレームの中に差込む。
(左右各 1 ヶ所)
※取付け後、ツメ B がサイドパネルとエンド
パネルに確実に引っ掛かっていることを確
認してください。



②

【エンドパネルの取付け】
ツメがエンドフレームに引っ掛かるまで、押込む。



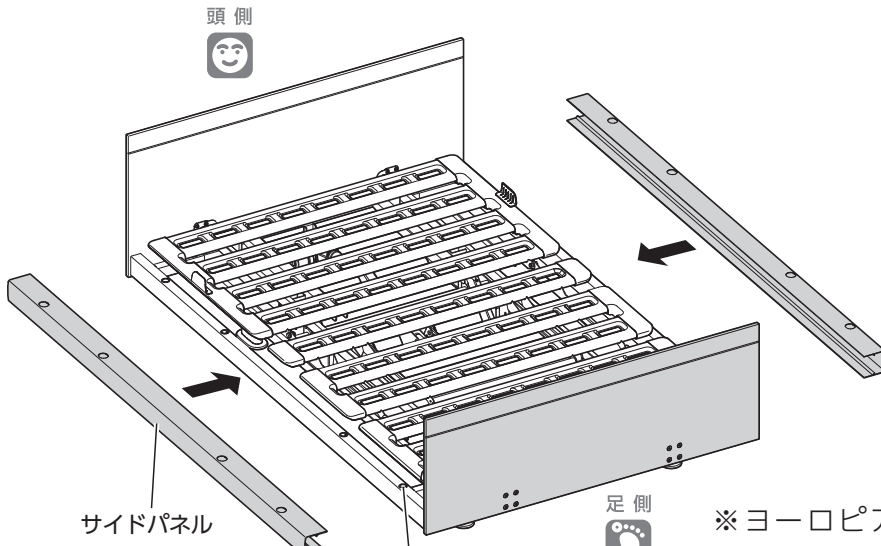
スペーサーがエンドパネルに正しく
取付けられているか確認してください。
(P.65 ページ)

注意

ちゅうい
コーナーカバーの左右の向きに注意して取付け
てください。左右を取付け間違えると、破損・
変形の原因となります。

3 ベッドの組立方法

ヨーロピアンスタイル



サイドパネル

オプション
取付穴

※ヨーロピアンスタイルには、エンドパネルと
コーナーカバーはありません。

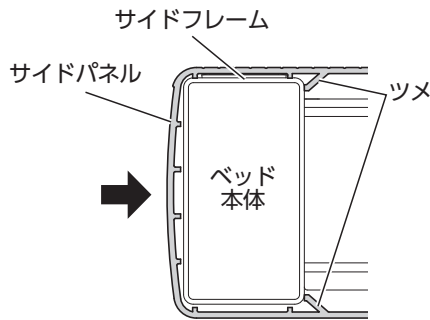


サイドパネルを取付ける際は、ボード
を傷つけないように注意してください。

※イラストはオプション取付穴を使用できる状態

ツメがサイドフレームに
引っ掛かるまで、押込む

※オプション取付穴を使
用する場合は、サイド
パネルの穴を上側にし
て取付けてください。



サイドパネル断面図

8.コード類の配線

8-1.電源コードの配線

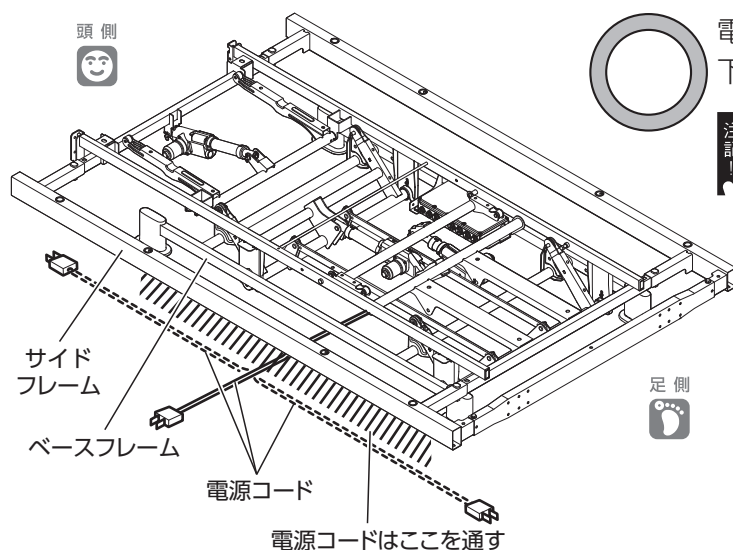
■コンセントの方向にあわせて配線してください。

警告

電源コードは正しく配線してください。断線や破損のおそれがあります。電源コードが破損すると感電・火災のおそれがあります。

- ベースフレームの上側を通したり内側に入り込んだりしないように配線してください。
- 脚座やキャスターなどで踏まないように配線してください。
- ベッドの高さを最高高さまであげた状態でも突っ張らないように配線してください。
- ベッドの可動部（背あげリンク・膝あげリンク・ハイローリンク）にはさまれたり、掛かったりしないように配線してください。
- ベッドの内側に電源コードのたるみがないように配線してください。
- 組立て作業中は電源プラグをコンセントに差込まないでください。誤操作によりベッドが動作して、けがをすることがあります。

正しい例



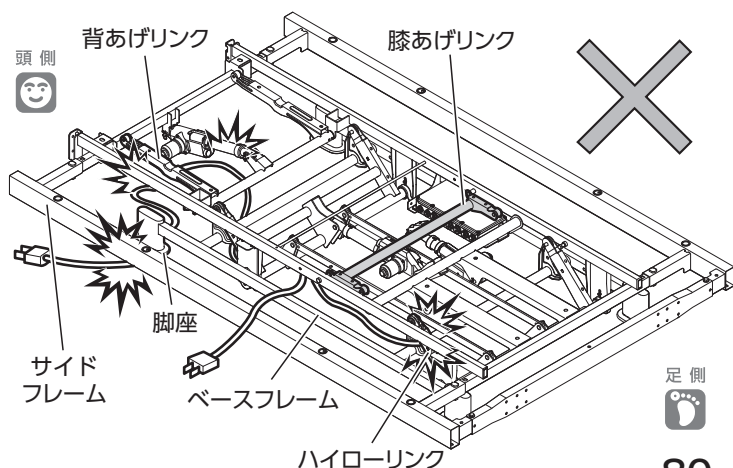
3 モーター

電源コードを、ベースフレームとサイドフレームの下側を通してベッド外側に出す。



余ったコードがベースフレームの内側に入り込まないように、注意して配線してください。

誤った例

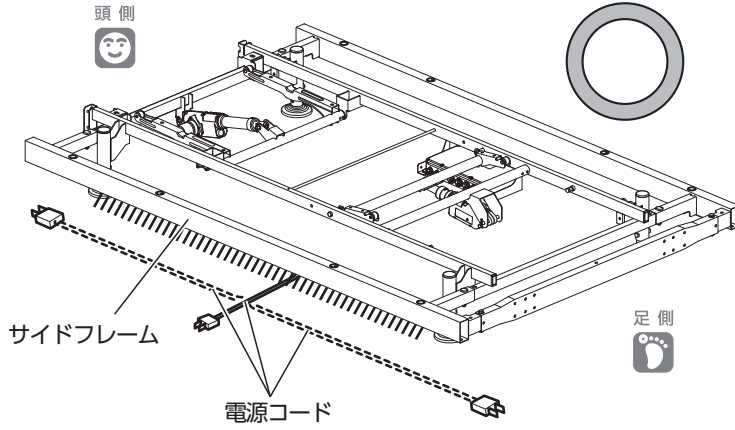


3 ベッドの組立方法

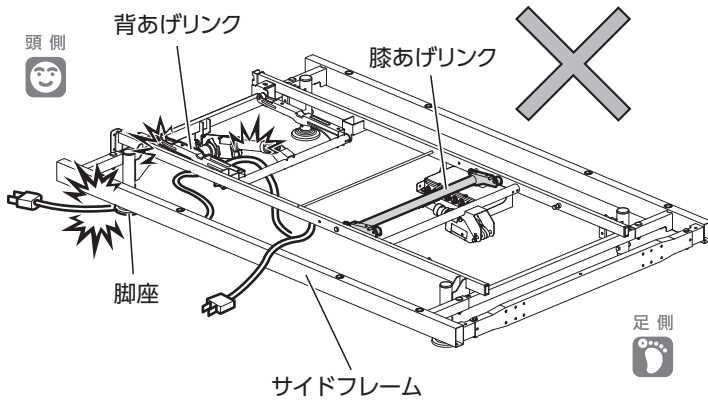
正しい例

1+1
モーター

電源コードをサイドフレームの下側から出す。



誤った例



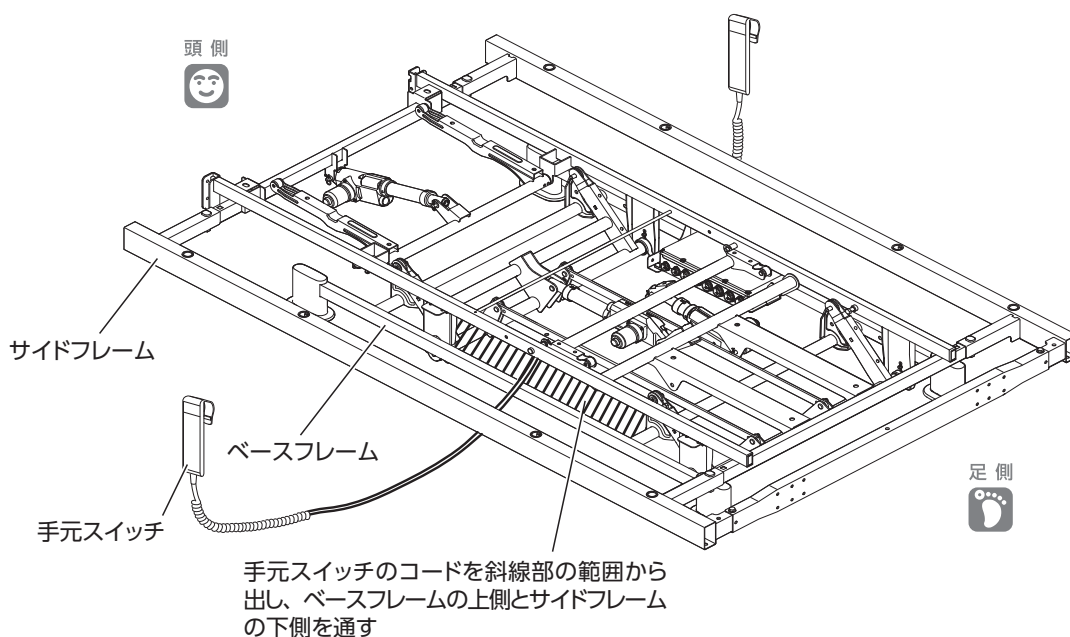
8-2.手元スイッチコードの配線

注意

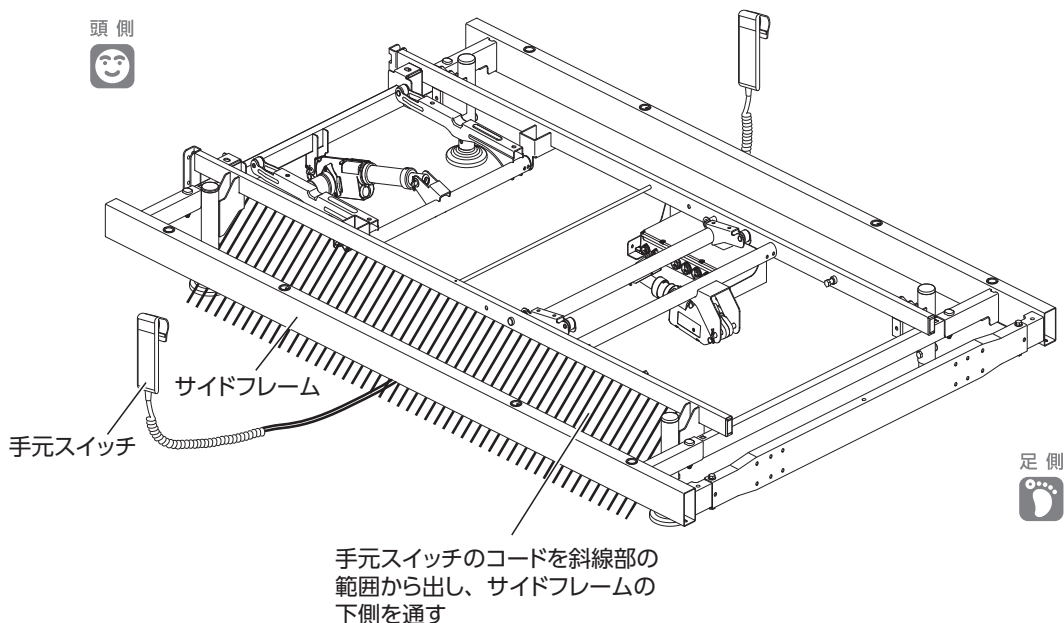
手元スイッチコードは正しく配線してください。断線や破損のおそれがあります。

- ベッドの可動部（背あげリンク・膝あげリンク・ハイローリンク）にはさまれたり、掛かったりしないように配線してください。
- 脚座やキャスターなどで踏まないように配線してください。

3
モーター



1+1
モーター



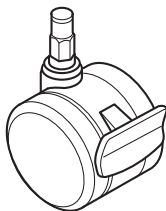
9. キャスター（別売）の取付け



滑りやすいゆか材（フローリングなど）の上で使用する場合は、キャスターKQ-39A・KQ-38A（別売）の下に敷物（脚座ゴムシートKQ-P732・脚座カーペットKQ-P731：別売など）を敷いてください。使用中にベッドが動き、転倒してけがをするおそれがあります。

9-1. 3

キャスターKQ-39A（別売）

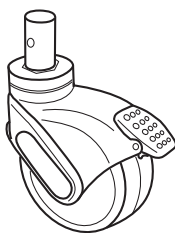


キャスターを取付ける場合は、脚座・プッシュリベットを使用しませんので、紛失しないように保管してください。

- ① **5** ベッドの分解方法」(P.90～96ページ)を参照して、ベースフレームのみの状態にする。
- ② キャスターKQ-39A（別売）の取扱説明書に従って、正しく取付ける。
※ボトム上面までの高さは、脚座を取付けた場合と変わりません。

9-2. 1+1

キャスターKQ-38A（別売）



キャスターを取付ける場合は、脚座を使用しませんので、紛失しないように保管してください。

- ① **5** ベッドの分解方法」(P.90～96ページ)を参照して、ボトムを取外した状態にする。
- ② キャスターKQ-38A（別売）の取扱説明書に従って、正しく取付ける。
※ボトム上面までの高さが、11.5cm高くなります。

10.脚の高さ調節 1+1 モーター

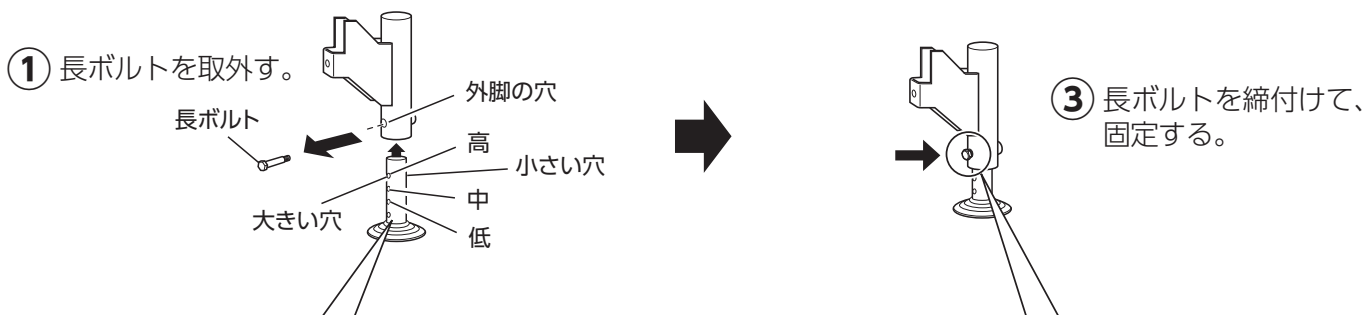
警告

脚の^{けい}高さは、4ヶ所すべて同じ高さにしてください。脚の高さが異なると、ベッドが傾きけがをしたり、ベッドが破損したりするおそれがあります。

注意

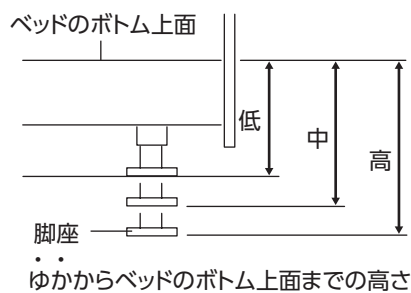
組立ての際、ベッドの下に柔らかい布を敷いて組立ててください。ゆかを傷つけるおそれがあります。

使用する工具 スパナ (対辺13mm)

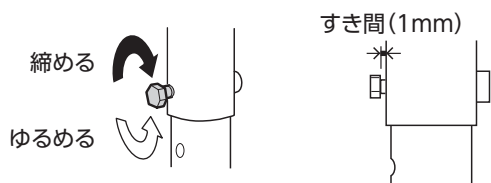


② お好みの高さに調節する。

※ベッドの高さ (脚の高さ) は下図のように3段階に調節することができます。



低	中	高
25cm	29cm	33cm



- 長ボルトは確実に締付けてください。ただし、ボルト頭と外脚との間にすき間(上図参照)ができるのが適正な状態です。
- 締付けた後、脚にゆるみやがたつきがないことを確認してください。

4 組立後の点検

4

組立後の点検

■ ベッドの組立が終わりましたら、ベッドに人が乗っていないことを確認の上、下記のチェックシートで点検してください。(P 85~89ページをコピーしてお使いください)

- 定期点検のときも、このチェックシートを使用してください。
- 異常が認められた場合や詳しい点検をご希望される場合は、パラテクノコールセンター (P 89ページ) までお問い合わせください。
- キャスターなどのオプションをご使用の場合は、各製品の「取扱説明書」をご覧ください。

警告

組立て後は点検を行ってください。組立てが不十分な状態で使用すると、けがや故障のおそれがあります。

注意

点検作業をしているときに異常音や振動が生じた場合は、すぐにベッドの使用を中止し、パラテクノコールセンター (P 89ページ) までご連絡ください。

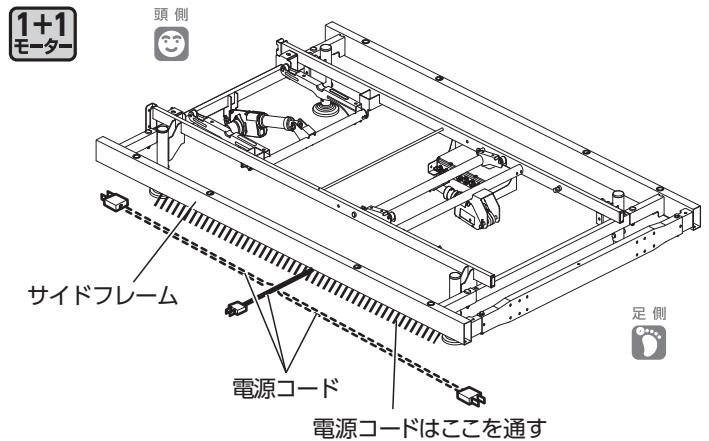
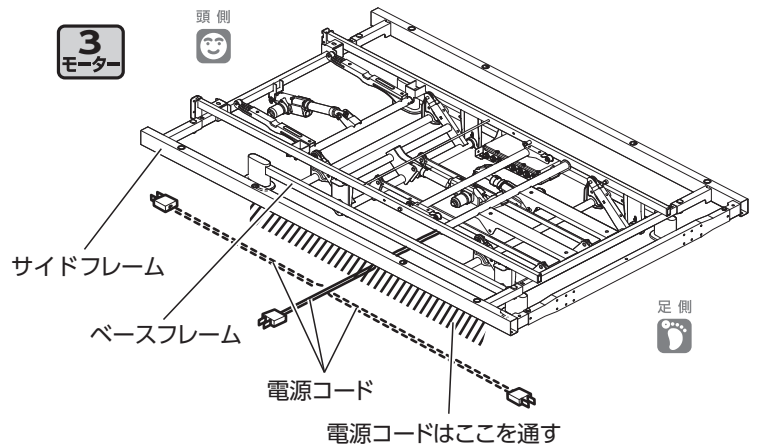
チェックシート

1 電源コードの確認



- ベースフレームとサイドフレームの下側を通過していますか? **3** モーター
- サイドフレームの下側を通過していますか? **1+1** モーター
- ベッドの可動部に接触していませんか?
- 脚座やキャスターなどで踏んでいますか?
- ベッドの内側にコードのたるみがありませんか?

はい

いいえ → 80・81ページ

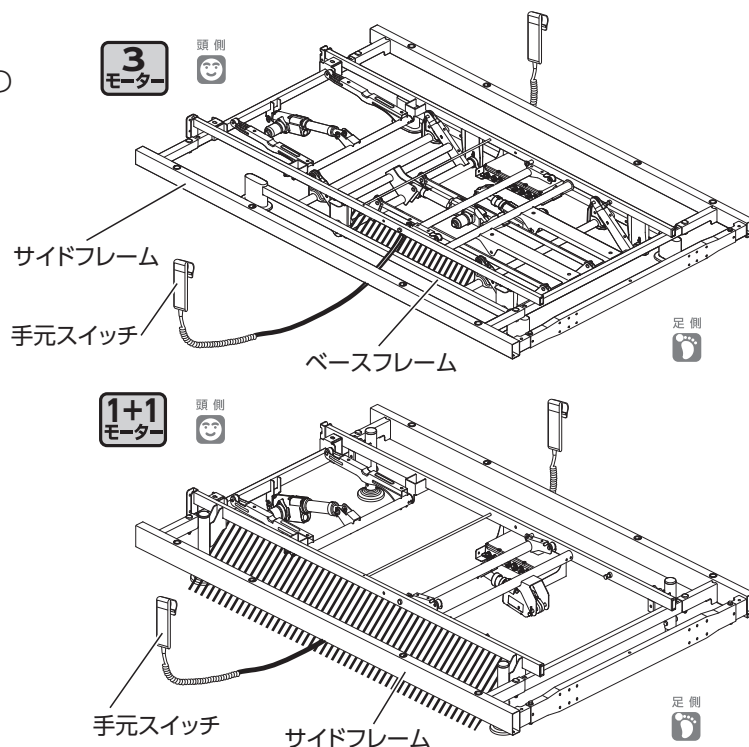


2 手元スイッチコードの確認

- ベースフレームの上側とサイドフレームの下側を
通っていますか? 
- サイドフレームの下側を
通っていますか? 
- ベッドの可動部に接触していませんか?
- 脚座やキャスターなどで踏んで
いませんか?

はい

いいえ → 82ページ



3 コード類の傷

プラグやコード類に傷などありませんか?

はい

いいえ → パラテクノコールセンター (☎ 89ページ) へ連絡

4 ボトムの固定

- 腰ボトムが本体と連結ピンで固定されていますか?

はい

いいえ → 72ページ

- 腰ボトムと膝ボトムがボルトでしっかり固定されて
いますか?

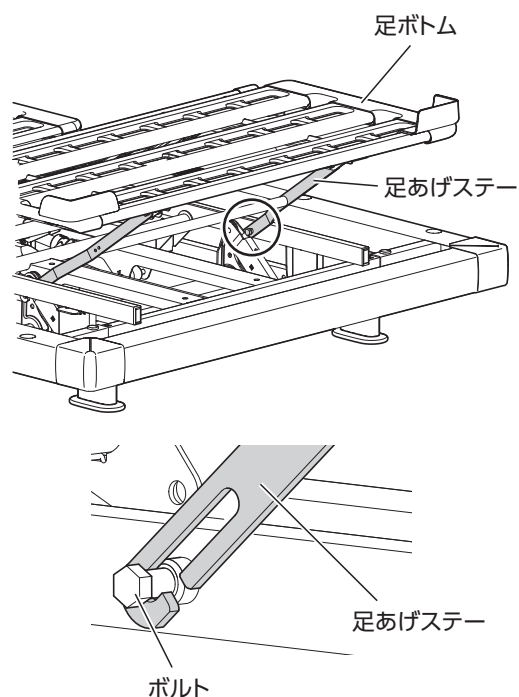
はい

いいえ → 73ページ

- 足ボトムの足あげステーがベッドに付いていますか?

はい

いいえ → 73ページ



4 組立後の点検

5 サイド/エンドフレームの固定

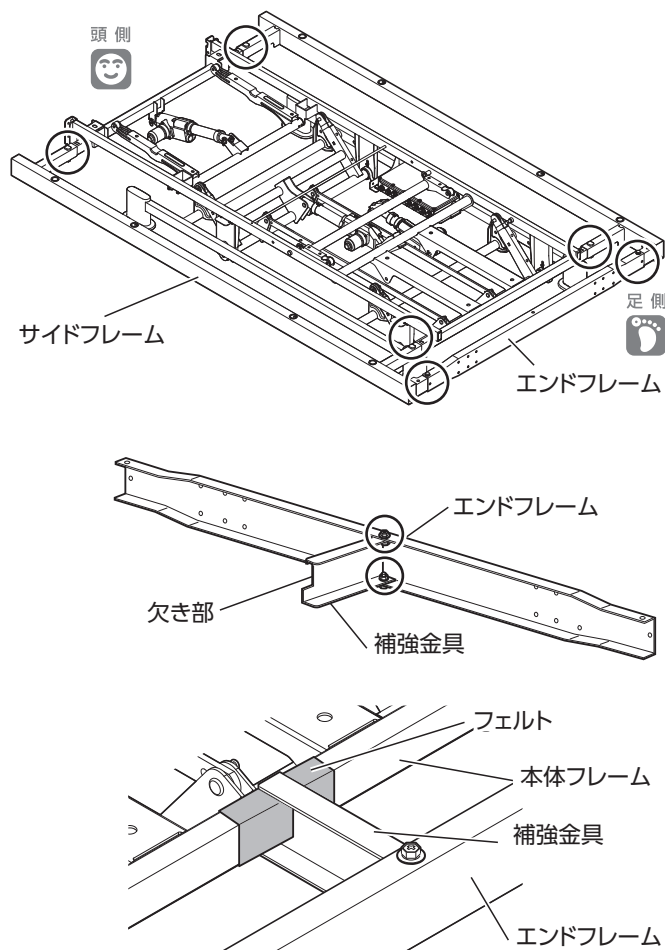
- サイド/エンドフレームが確実に締結されていますか？
サイドフレーム：4ヶ所
エンドフレーム：4ヶ所（左右、上下2ヶ所）

<ヨーロッパスタイルのみ>

- 補強金具がエンドフレームに確実に締結されていますか？（上下2ヶ所）
- 補強金具の欠き部が本体フレームにしっかりと入っていますか？
- フェルトが、本体フレームの補強金具が当たる位置に貼られていますか？
- フェルトが本体フレームに浮きなく貼られていますか？

はい

いいえ → 69～71ページ

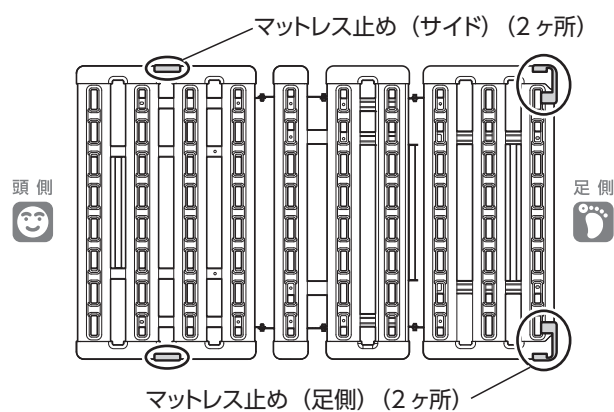


6 マットレス止めの取付け

ボトムにしっかりと取付けられていますか？

はい

いいえ → 74ページ

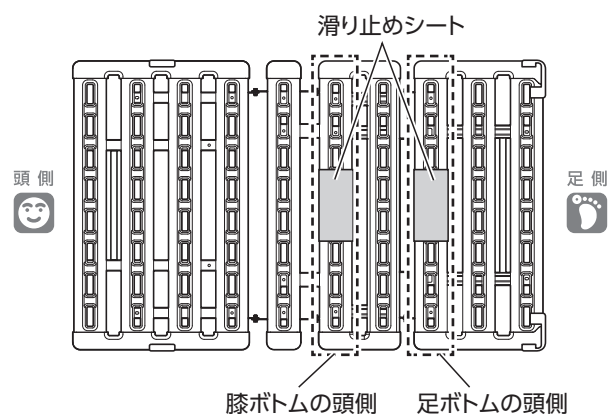


7 滑り止めシートの設置

- 正しい位置に敷いてありますか？
- シワが寄ったり、折れ曲がったりしていませんか？

はい

いいえ → 77ページ

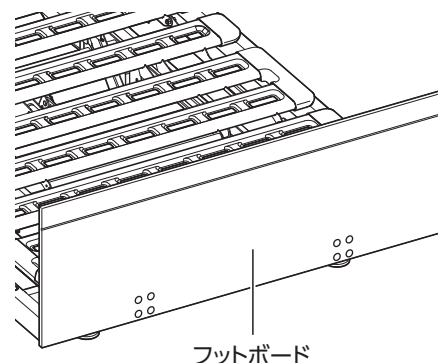


8 ボードの取付け状況の確認 (頭側・足側)

- ヘッドボードのボード取付金具がボード受金具にしっかりと入っていますか? (頭側2ヶ所)
- ヘッドボードのボードストッパーがボード受金具の穴に確実に掛かっていますか? (頭側2ヶ所)
- フットボードはボルトで確実に締結されていますか?
スクエア・キューブ (宮付) : 足側8ヶ所
ラウンド : 足側4ヶ所
※ヨーロッパスタイルのみ
- いちじるしいがたつきがないですか?

はい

いいえ → 75・76ページ



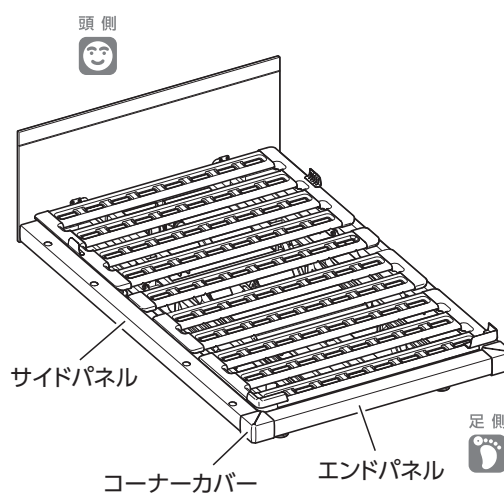
フットボード

9 サイド/エンドパネル・コーナーカバーの固定

- サイドパネルがしっかりと取付けられていますか?
(左右各1ヶ所)
- エンドパネルがしっかりと取付けられていますか?
(1ヶ所) ※ハリウッドスタイルのみ
- コーナーカバーがしっかりと取付けられていますか?
(左右各1ヶ所) ※ハリウッドスタイルのみ

はい

いいえ → 77~79ページ



10 手元スイッチの確認

電源プラグをコンセントに差し込むと手元スイッチの電源ランプが緑色に点灯しますか?

はい

いいえ → 20ページ

11 操作時の確認

手元スイッチで「らくらくモーション」「背あげ」「膝あげ」「高さ調節」の操作を最大まで行ったとき、以下の異常がありませんか?

異常ない

異常音がある → パラテクノコールセンター (☎ 89ページ) へ連絡

※場所や状態によってはお客様で注油を行うことができます。

動作しない (電源ランプが点滅する) → 53・54ページ

ベッドが家具などに当たる → ベッドを移動するか、障害物を取除いてください。

4 組立後の点検

4

組立後の点検

12 ベッド・電装品の傷や変形

- ボトムやフレーム・パネルなどに、傷や変形がありませんか？
- 手元スイッチに、傷や破損がありませんか？

- ない
- ある → パラテクノコールセンター（下記）へ連絡

13 ラベルのはがれ

ラベルがはがれたり、文字が見えなくなったりしていませんか？

- いいえ
- はい(はがれている・文字が見えない) → パラテクノコールセンター（下記）へ連絡

14 ベッドの滑り

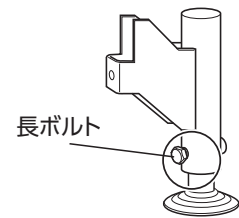
ベッドを前後・左右から押したとき、容易に滑りませんか？

- 滑らない
- 滑る → 脚座の下に敷物（脚座ゴムシート KQ-P732・脚座カーペットKQ-P731：別売など）を敷いてください。

15 脚の高さ調節確認

- 脚の高さは4ヶ所すべて同じ高さですか？
- 長ボルトのゆるみはないですか？

- ない
- ある → 84ページ



調整・点検が必要な場合は、パラテクノコールセンターまでお問い合わせください。

パラテクノコールセンター  **0120-54-8639**

【受付時間】 平日8:00～18:00 / 土・日・祝日9:00～17:00（年始は休業いたします）

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について、詳しくは裏表紙の「アフターサービス」をご覧ください。

5 ベッドの分解方法


注意

- ベッドの分解は手順に従って行ってください。手順通りに行わないと、コード類が断線したり、ベッドが破損・変形したりするおそれがあります。
- キャスター (KQ-39A・KQ-38A) を使用している場合は、キャスター (KQ-39A・KQ-38A) を固定状態 (回転しない状態) にしてから作業を行ってください。固定状態になっていないと、分解作業中にベッドが動いて思わぬけがをすることがあります。


1. 分解作業前の準備



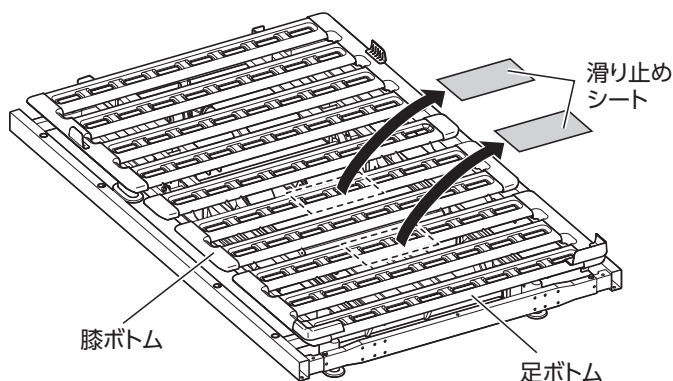
取外した連結ピン・スナップピンなどは、紛失しないように保管してください。

- ① キャスター (KQ-39A・KQ-38A) を取付けている場合は、キャスターを固定状態にする。
- ② オプション取付穴にベッドサイドレール・ベッド用グリップを取付けている場合は、取外す。
- ③ 寝具・マットレスなどをベッドから降ろす。
- ④ 電源プラグをコンセントに差し込む。
- ⑤ ベッドの高さを最低高さまでさげる。 
- ⑥ 背ボトムと膝ボトムを水平にする。
- ⑦ 電源プラグをコンセントから抜く。

警告

ベッドの分解は、ベッドの高さを最低高さまで下げた状態で行ってください。ベッドがあがった状態で分解しますと、部品の落下などにより思わぬけがをしたり、故障したりするおそれがあります。 

2. 滑り止めシートの取外し



滑り止めシートを、膝ボトムと足ボトムから取外してください。(2ヶ所)

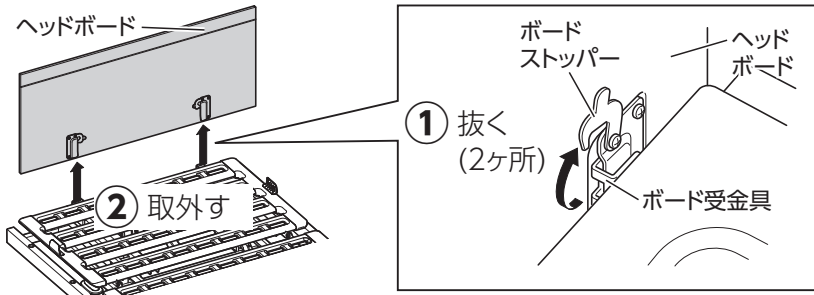


取外した滑り止めシートは、紛失しないように保管してください。

5 ベッドの分解方法

3. ボードの取外し

3-1. ヘッドボードの取外し



注意

取外したキューブ (宮付) をゆかなどに置く際は、ケーブル類をつぶさないようにしてください。ケーブル類が破損するおそれがあります。

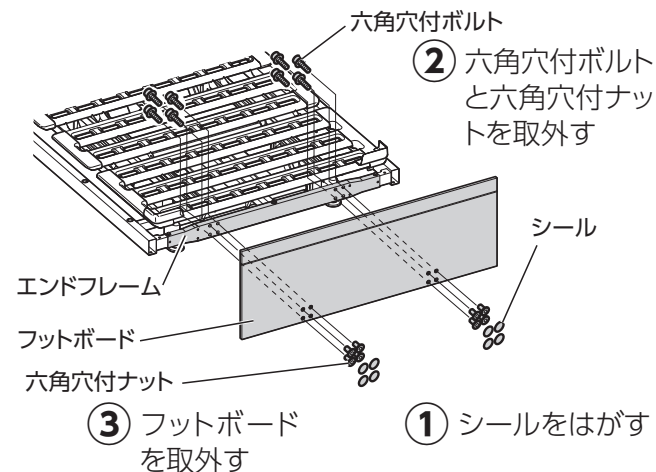
3-2. フットボードの取外し (ヨーロッパスタイルのみ)



フットボードを取外す際は、フットボードをしっかりと持ってください。

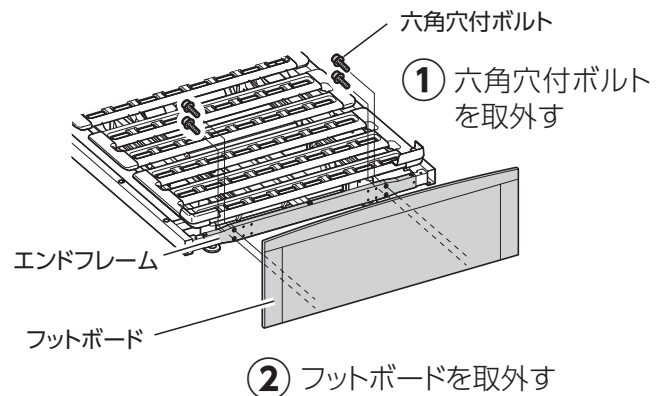
<スクエア・キューブ (宮付) の場合>

使用する工具	六角レンチ (対辺4mmと5mm)
--------	-------------------



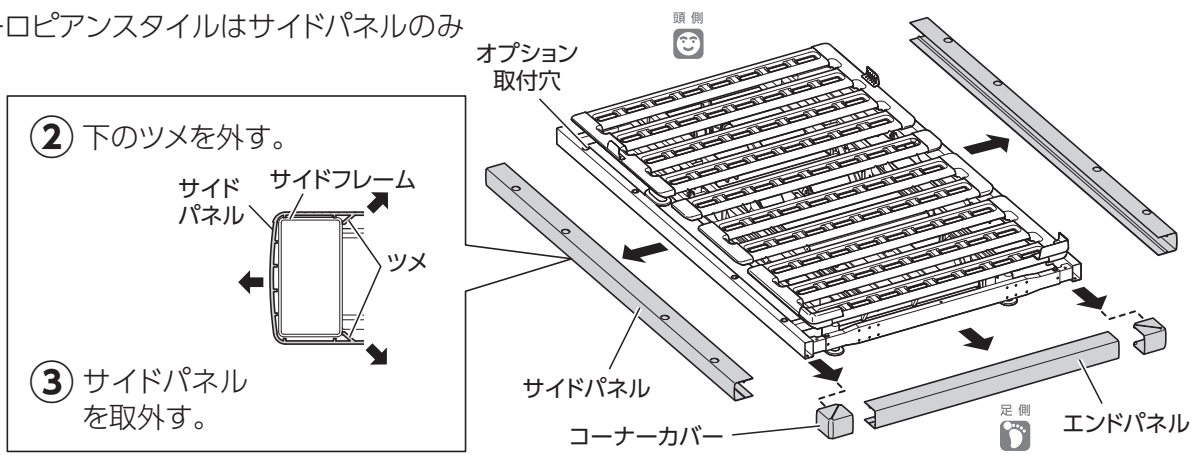
<ラウンドの場合>

使用する工具	六角レンチ (対辺4mm)
--------	---------------



4. サイド/エンドパネル・コーナーカバーの取外し

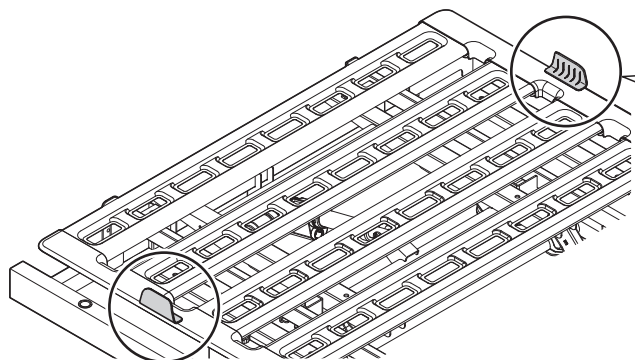
※ヨーロッパスタイルはサイドパネルのみ



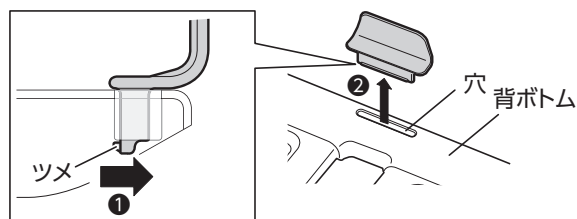
- ① コーナーカバー内側上下のツメBを外し、コーナーカバーを取外す (P. 37・38ページ)
- ④ サイドパネルと同じ手順でエンドパネルを取外す

5. マットレス止めの取外し

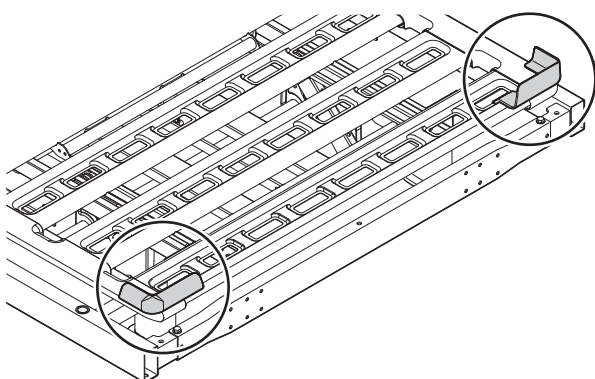
5-1. マットレス止め (サイド) の取外し



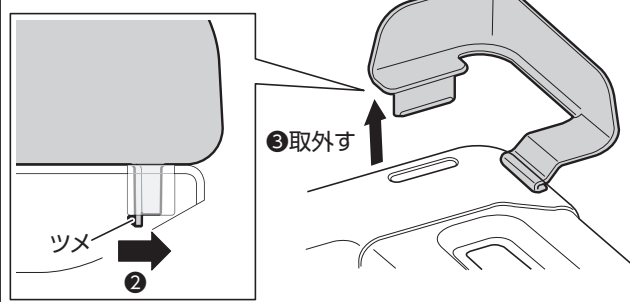
- ① マットレス止め (サイド) のツメを外側に引く。(左右各1ヶ所)
- ② 取外す。



5-2. マットレス止め (足側) の取外し

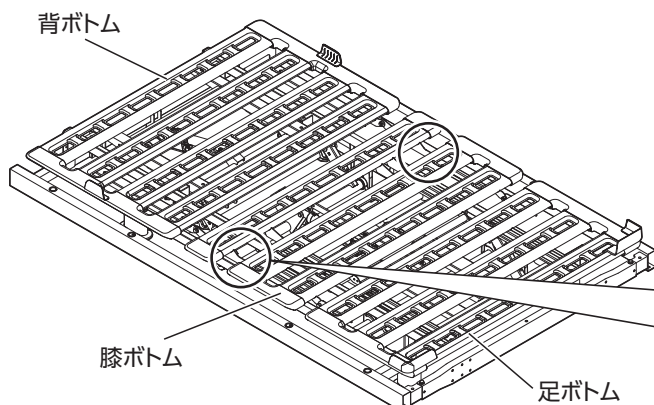


- ① スライドさせ、ツメを取外す。(左右各1ヶ所)
- ② マットレス止め (足側) のツメを外側に引く。
- ③ 取外す。

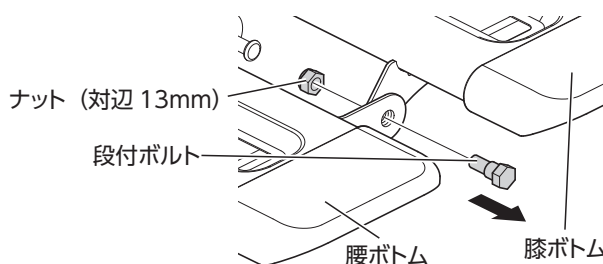


6. ボトムの取外し

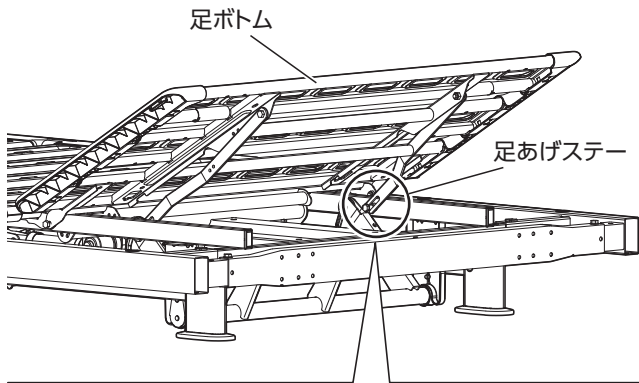
6-1. 膝・足ボトムの取外し



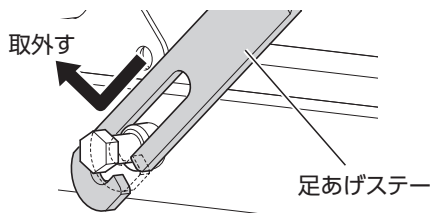
- ① 段付ボルトとナットを取外す。(左右各1ヶ所)



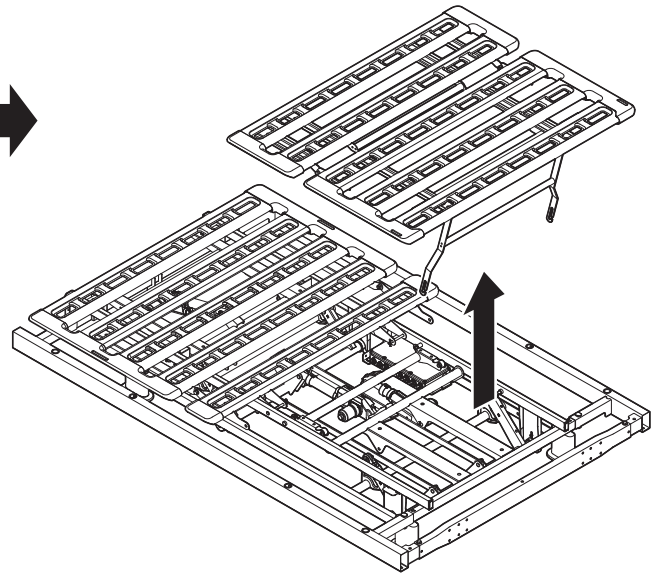
5 ベッドの分解方法



② 足ボトムをあげながら足あげステーを取外す。

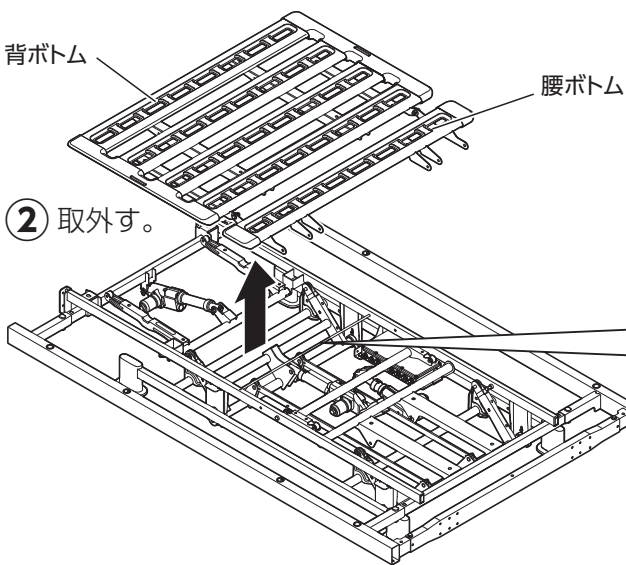


③ 足あげステーを手で支えながら、膝・足ボトムを取外す。



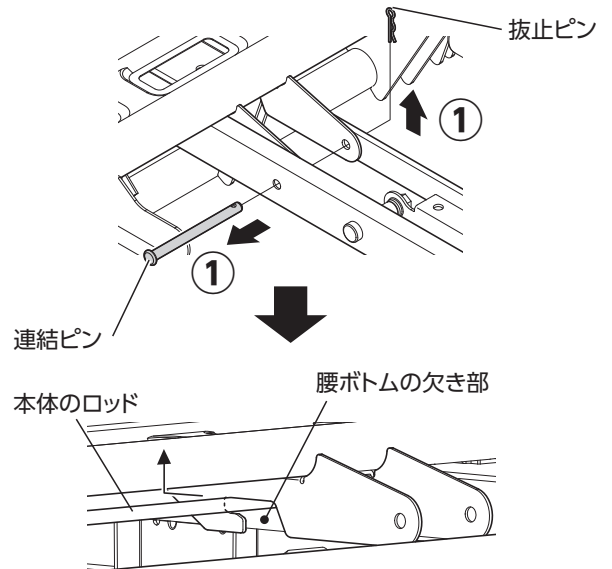
注記 取外した段付ボルト・ナット (対辺13mm) は紛失しないように保管してください。

6-2.背・腰ボトムの取外し



② 取外す。

① 抜止ピン・連結ピンを図のように取外し、腰ボトムの欠き部を本体のロッドから取外す。



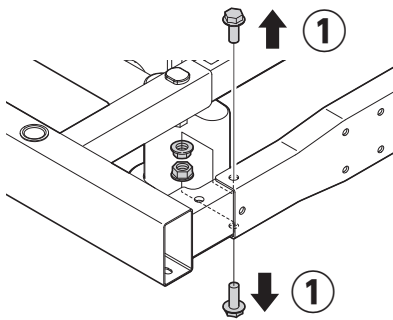
注記 取外した抜止ピン・連結ピンは紛失しないように保管してください。

7. サイド/エンドフレームの取外し

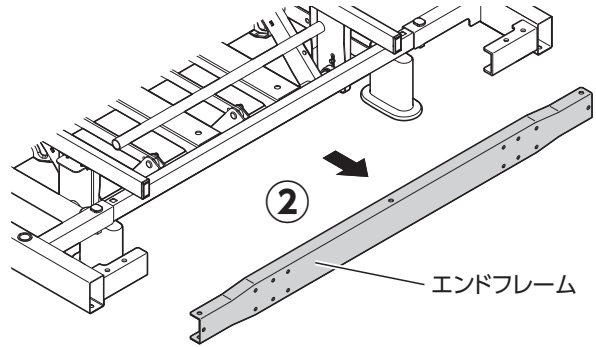


- 角根ボルトや締結ボルトを取外すときは、サイド/エンドフレームを手で支えてください。
- 取外した締結ボルト・ナット (対辺13mm) と、角根ボルト・ナット (対辺17mm) は紛失しないように保管してください。

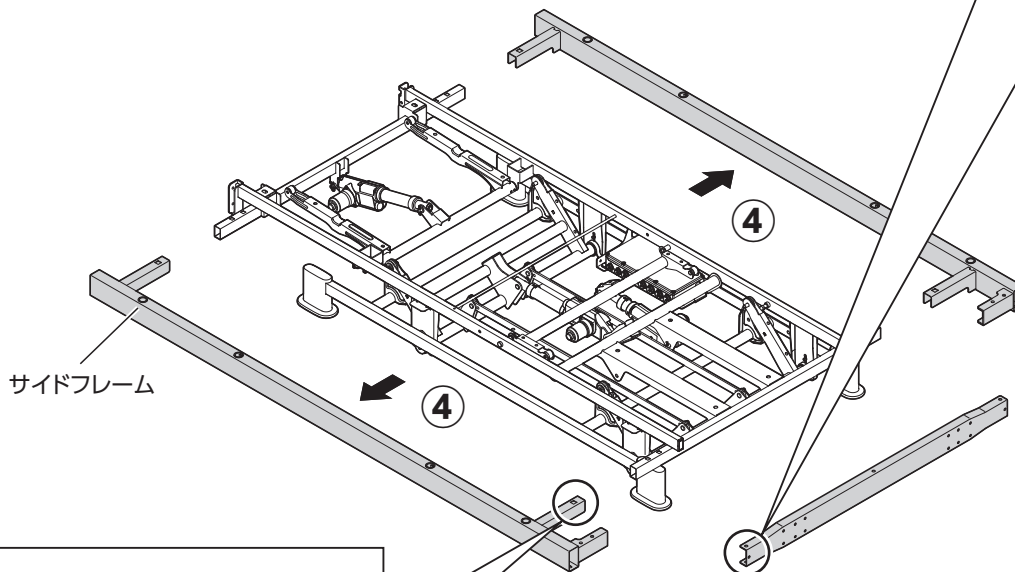
① 締結ボルトとナット (対辺13mm) を取外す。



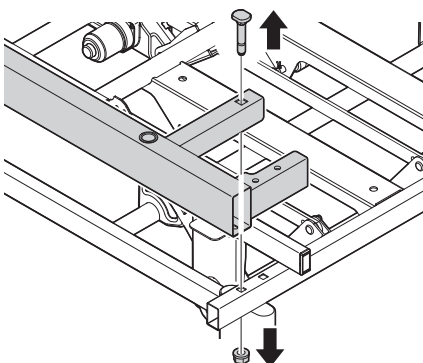
② エンドフレームを取外す。



※ヨーロピアンスタイルの場合、エンドフレームには補強金具が付いています。



③ 角根ボルトとナット (対辺17mm) を取外す。



④ サイドフレームを取外す。

5 ベッドの分解方法

8. ベースフレームの取外し (3 モーター)

〈スナップピンの抜きかた〉

- ペンチ、プライヤー (小) ではさんで引っ張るかドライバーの先で引っ掛けると取外しが容易です。



取外した連結ピン、スナップピンは紛失しないように保管してください。

5 ベッドの分解方法

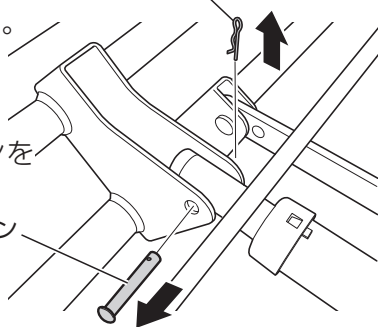
〈ハイローアクチュエーター先端部〉

- ① スナップピン
を取外す。

- ② 連結ピンを
取外す。

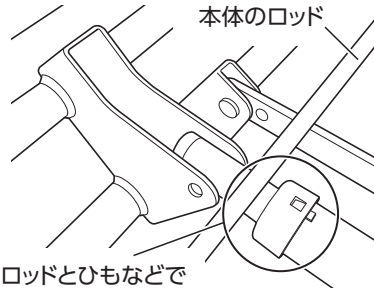
連結ピン

スナップピン

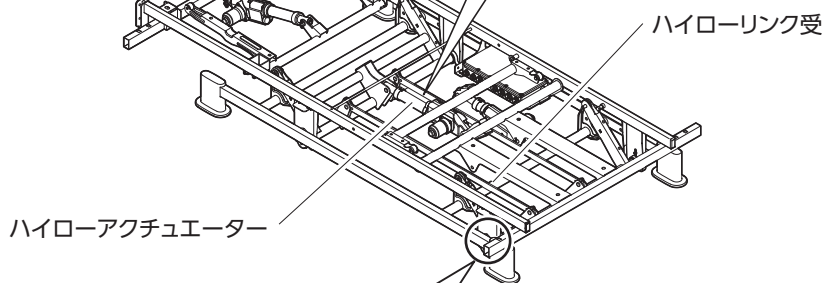


- ③ アクチュエーター先端部、電源コード、手元スイッチをひもなどで本体フレームや本体のロッドに固定する。

本体のロッド



本体のロッドとひもなどで
固定する



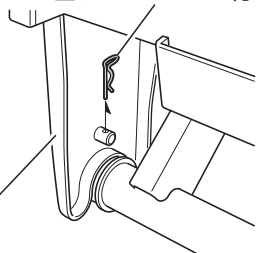
〈ハイローリンク受裏側〉

- ④ 曲げスナップピン (小) を取外す。(4ヶ所)

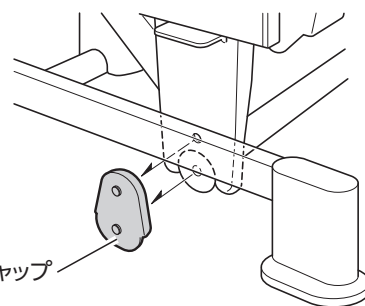
- ⑤ リンク受キャップを取外す。(4ヶ所)

曲げスナップピン(小)

ハイローリンク受

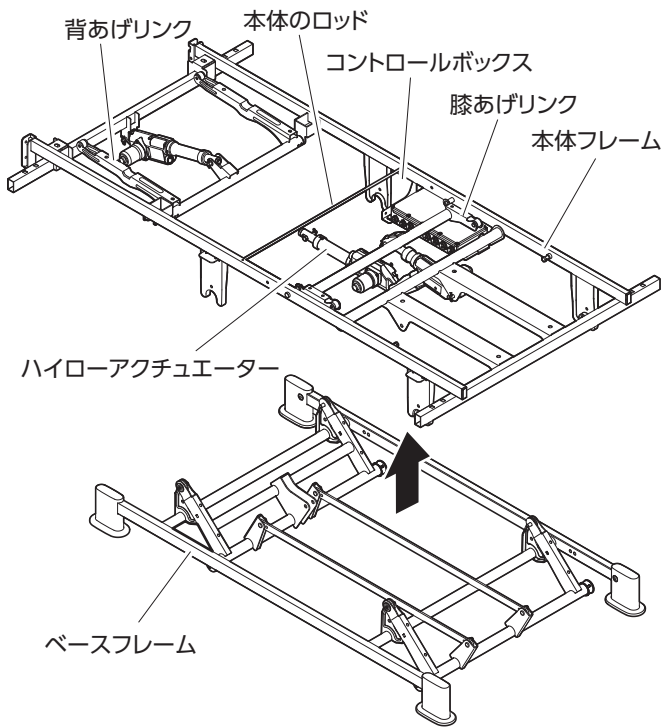


リンク受キャップ



取外したリンク受キャップ、曲げスナップピン (小) は紛失しないように保管してください。

⑥ 本体フレームを持ちあげ、取外す。



- ベースフレームから本体フレームを取外す際には、電源コード、手元スイッチコードがベースフレームに引っ掛からないように注意してください。
- 本体フレームの取付けは、取外しと逆の手順で行ってください。

注意

- 膝あげリンクや本体のロッド、コントロールボックス周辺部を持たないでください。けがや破損の原因となります。
- ベースフレームから本体フレームを取外す際は、背あげリンク、膝あげリンク、ハイローアクチュエーターがしっかりと固定されていることを確認してください。けがや破損の原因となります。

9. 付属部品と分解したユニットの保管

■ 付属品、組立付属部品、その他部品の保管

ベッドを分解した後、本取扱説明書および組立付属部品、その他の部品は袋などに入れて保管してください。

アフターサービス

1. 保証書

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ日」などの記入をお確かめになり、記載内容をよくお読みいただき大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

販売店名・お買い上げ日の記入が無い場合は、品番・販売店・お買い上げ日が確認できるように、製品をお買い上げの領収書などを保証書と一緒に保管してください。

2. 修理を依頼されるとき

取扱説明書の「**15** 故障かな?と思ったら」(P.53・54ページ)に従って調べてください。それでも直らないときは、ベッドの電源プラグをコンセントから抜いて、弊社製品の修理受付窓口であるパラテクノコールセンター(下記参照)までご連絡ください。

■連絡していただきたい内容

- 品名、品番、製品識別表示ラベルの番号(ラベルの貼付位置はP.62~67ページ)
- お買い上げ日 ●故障または異常の内容(できるだけ詳しく) ●お名前、ご住所および電話番号

■消耗部品について

- 手元スイッチは消耗部品です。

保証期間内のとき

保証書の記載内容に基づき無償で修理いたします。ただし、保証期間内でも修理が有償になる場合があります。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間が過ぎているとき

修理により使用できる製品については、ご希望により有償で修理いたします。

3. 部品の最低保有年数

弊社ではこのベッドの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間を製造打ち切り後8年としております。

4. アフターサービスについてご不明な場合

パラテクノコールセンターまでお問い合わせください。

パラテクノコールセンター ☎0120-54-8639

受付時間: 平日8:00~18:00 / 土・日・祝日9:00~17:00(年始は休業いたします)

【パラテクノ株式会社について】

弊社製品の修理や保守点検などの各種サービスを実施する会社です。

〈パラマウントベッド株式会社 直営店〉

眠りギャラリー TOKYO 〒104-0031	東京都中央区京橋1丁目6番1号三井住友海上テブコビル1階	☎(03)5250-1515(代)
眠りギャラリー SAPPORO 〒060-0062	札幌市中央区南2条西13丁目318番地11	☎(011)219-8800(代)
眠りギャラリー NAGOYA 〒461-0001	名古屋市東区泉1丁目20番17号	☎(052)963-6800(代)
眠りギャラリー OSAKA 〒550-0001	大阪市西区土佐堀2丁目3番33号7階	☎(06)6443-6565(代)
眠りギャラリー FUKUOKA 〒812-0013	福岡市博多区博多駅東3丁目14番20号	☎(092)461-0666(代)

〈パラマウントベッド株式会社〉

本社 〒136-8670	東京都江東区東砂2丁目14番5号	☎(03)3648-1111(大代)
東京支店 〒136-8670	東京都江東区東砂2丁目14番5号	☎(03)3648-1171(代)
札幌支店 〒060-0062	札幌市中央区南2条西13丁目318番地11	☎(011)271-1181(代)
仙台支店 〒984-0015	仙台市若林区卸町2丁目3番地の3	☎(022)239-5211(代)
さいたま支店 〒336-0967	さいたま市緑区美園3丁目23番1	☎(048)878-0100(代)
横浜支店 〒194-0004	東京都町田市鶴間5丁目3番33号	☎(042)795-8800(代)
名古屋支店 〒461-0001	名古屋市東区泉1丁目20番17号	☎(052)963-0600(代)
大阪支店 〒550-0001	大阪市西区土佐堀2丁目3番33号	☎(06)6443-8791(代)
広島支店 〒733-0011	広島市西区横川町3丁目8番5号	☎(082)293-1311(代)
福岡支店 〒812-0013	福岡市博多区博多駅東3丁目14番20号	☎(092)461-1131(代)